

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

ヘルベルト・フォン・カラヤン



指揮者
オーストリア
1908.4.5~1989.7.16

第1期
◎第1回◎



アニフより仰ぎみる“伝説の山”ウンターズベルク

「今の発展の完了を見たいのです。なぜなら完全に出来るまでは、まだ時間がかかります。もしできるなら五年か八年間、私を凍結してもらいたいです。」
カール一世のすぐれた遺徳を示す復活

一九三八年に始まるヘルベルト・フォン・カラヤンのディスコグラフィは第二次世界大戦終結の一年を除いて半世紀の

偉大な人物のすぐれた業績は、時を越えて後世に伝わり、後の時代でも人々に渴望される。ほんとうに価値のあるものは永劫にわたってその生命を決して失うことはない。

※

※

不死の人

ザルツブルク近郊のウンターズベルク（標高一八五三）に、今でも土地の人々に広く伝わる不思議な伝承がある。それは、カール一世（シャルルマーニュノカール大帝、在位七六八〜八一四）の復活伝説である。この山の洞窟の奥深く、カール大帝は王女とともに一万の騎士と十萬の兵士に守られて眠りにについていると

いう。大帝の白銀の髭は高価な真珠で結ばれ、今も伸び続けており、王座の前の大理石の円卓を三廻りするまで魔法は解けないという。ヨーロッパ各地の山岳や洞窟には数多くの伝承・伝説の類いが存在する。もちろん現代科学からすればあり得ないことには違いないのだが、人々は魔法によって眠りつづけている大帝が再び目覚め祖国の危機を救ってくれるとの「復活伝説」を信じ続けている。カール二世の在世中のすぐれた業績、いわゆる「カロリング・ルネサンス」はキリス

ト教の教化を目的としたものではあったが、その文化政策は広く諸民族の文化と融合しヨーロッパ文化の揺籃を築く事となった。
ザルツブルクの子細な地図をみるとウンターズベルクの西南側にアーヘンコッブという地点があるが、たぶんそこが伝説の場所なのであろう（カール一世の正式な埋葬場所はアーヘン宮廷内の墓所である）。このウンターズベルクより僅か十数kmほどしか離れていない「アニフ」という村の教会の片隅にヘルベルト・フォン・カラヤンが眠っている。



アニフに新設されたソニーのCD工場の開所式のテープ・カットに臨むカラヤン



CDを手にとるカラヤン。ハードにも強い関心を示し、何時でもその最先端技術を自分のものにしていた。

長きにわたり切れ目なく続いている。その録音量の多さはここで述べるまでもなく他の演奏者たちより突出して抜きでている。

本号より第一期の連載を始めるディスクグラフィはカラヤンが指揮して記録に残したレコードについて、その規格番号を可能な限り集め、さらにブライヴエート盤と映像での収録作品表（フィルモグラフィ）を加えて『初出アルバムのカツプリング』で形を録音順に配列した総合的な録音歴・映像歴の俯瞰である。

ここで既存のカラヤンのディスクグラフィについて触れておきたいと思う。まず外国での伝記本の、エルンスト・ホイサーマン（ドイツ初版六八年・第二版七八年）、ポール・ロビンソン（イギリス七八年）、ジャック・ロルセイ（フランス七八年）の巻末に付随した簡略なものがある。さらに、エミール・ペラウエルの写真集（ドイツ八九年）の巻末にも簡単なものがある。またまとめた刊行物としてはアンソニー・ウィリアムズ（イギリス七八年）が編年体にとめたのが最初で、ほぼ基本的な事項を満たしている。もう

ひとつは、英国フルトヴェングラー協会（フット）のジョン・ハント会長の私家本（八七年）で、これはフィルハーモニア管弦楽団の編年体のディスクグラフィと合わさっての作曲家別の配列（ABC順）になっている。さらにアレン・サンダーズ編の『ウォルター・レグ ディスクグラフィ』（イギリス八四年）に詳細を極めるレグとのレコーディング・データが含まれている。

日本ではフリードリヒ・ヘルツフェルトの伝記本の巻末にレコード目録がついたのが最初で（七一年朝日出版社）、次に前記のポール・ロビンソンの邦訳本の巻末にディスクグラフィがついた（作曲家のアイウエオ順七七年音楽之友社）。また、『レグ&シュヴァルツ Copp 回想録』コードラ・おもて（八六年音楽之友社）にもフィルハーモニア管弦楽団との詳しい記録がある。独立したものとしては、黒田恭一著の『カラヤン・カタログ 303』（七六年オン・ブックス音楽之友社）が編年体配した最初で、これは姉妹誌『ステレオ』への連載「盤歴カラヤン」（七四年四月号から七五年十二月号まで）をまとめたもので、日本でのカラヤン・ディスクグラフィの先駆をなすもので重要な位置をしめるのだが、欠落が数多くあり、そのうえ他の指揮者のものまで混入するなど、錯綜がはなはだしい。また、音楽之友社のCDブック、アーティスト・シリーズ⑧「ヘルベルト・フォン・カラヤン」（浅里公三編九一年）にも現役盤を示す一覧表がついている。また本誌別冊の「カラヤン&ベルリン・フィル」

（八一年）にも前記の「カタログ303」の形を踏襲した一覧表がついた。また、写真集「カラヤンの世界」（学習研究社七七年）にも現役盤のディスクグラフィがついている。さらに、日本公演のたびにレコード会社が製作したカラヤンだけを扱ったパンフレットの類も有用な資料として、盤歴を示すおまかな体裁をなしている。その中でも最近ポリドールの特典として配られた、浅里公三編（八四年）と小林宗生編（九〇年）の二つの小冊子がコンパクトなまとまりをみせており、未発売のものなども加えて各々特色を出したが、どちらもいくつかの欠落を生じてたことはいへん残念である。

※ ※

今回のディスクグラフィは、今までに連載が終了した他の演奏家のディスクグラフィとの体裁を整えるため種々の制約と制限を設けざるを得なかったことをはじめにお断りしておく。

まずディスクのみの掲載のため、ミュージック・テープはすべて割愛せざるを得なかった。カセット・テープ、オーブ・リール、ハトラック・カートリッジ・テープなどがこれにあたり、映像における三五ミリ、八ミリ・フィルム、カセットのユーマチック及びポインチ・ビデオ、一般家庭用でのベータ（XIIを含む）・VHS方式等も同様の扱いにした。さらにブライヴ録音のブライヴエート盤はイタリア・アメリカを中心に知り得る範囲を収録したが、正規の録音のもの無許可発売盤はこれを一切除外した。また、限定された特定範囲内への配布のもの

（クラブ・エディション/リミテッド・エディション）や学校教育用として、一般には入手できないもの（エデュケーション・エディション）さらに出版社系の刊行物に付随するもの（レコード・ブックやCDブックなど）も対象外とした。また、各レコードを国別に分けることも省略させてもらった。アメリカ・ドイツ（統一前の東ドイツは除く）・イギリス・フランス・イタリアと日本以外の国については、わかる範囲内で国名を記した。途中、機会をみて国別の規格番号の一覧表を付したいとも考えている。

予定では、三期にわけてヘルベルト・フォン・カラヤンの全ての録音を網羅するディスクグラフィを考えており、幾年にもわたる連載になるはずで、その間にも番号がえの再発や新しい企画ものなど、数多くの新しいディスクが出て来るだろうし、ブライヴエート盤に至っては毎月のように増え続けることが予想される。連載の始めから欠落・誤記の責任を回避するわけではないが、順次補遺・訂正を行って完結時には完璧なディスクグラフィをめざすつもりでいるので、読者の皆様の御批評と叱正をお待ちしている。また、ブライヴエート盤の細部の目付の確定などについては、イギリスのデヴィット・ラムボン氏はじめ数人の方に協力を仰いでいることを付け加えておく。

次回回は、「ウルムでの始動」と題してウルム公文書館のシュベツカー博士提供の詳細な資料によって、ウルム時代のカラヤンの足跡をたどってみたいと思う。



ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊



[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(〔P〕)、ディレクター(〔D〕)、レコーディング・エンジニア(〔E〕)、マトリックス番号(〔M〕)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の〔V〕は映像作品を示す。
- レコード番号はSP、EP、LP(10インチを含む)、CD、LDの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- LP期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータをつけた。
- オペラ全曲盤よりのアリア・曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

①J.シュトラウス/ワルツ「芸術家の生涯」

- ベルリンpo.
- ▶1940年2月ベルリン
- M 886-7
- CD: F28G 20213
- SP: 独ポリドール 67585
- CD: 423 528-2, 423 525-2(セット番号)

①ドヴォルザーク/交響曲第9番短調「新世界より」

- ベルリンpo.
- ▶1940年3月ベルリン
- M 890-5/900-5
- CD: F28G 20213
- SP: 独ポリドール 67519-24, 67447-52, 69268-73
- CD: 423 528-2, 423 525-2(セット番号)

①スメタナ/交響詩「モルダウ」

- ベルリンpo.
- ▶1940年6月ベルリン
- M 1482/883-5
- CD: F28G 20215
- SP: 独ポリドール 67583-4, 69081-2, 仏ポリドール 67583-4, イチェトラ RR 8033-4
- LP: LPEM 19 078
- CD: 423 530-2, 423 525-2(セット番号)

①ワグナー/楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕前奏曲(部分)

- ベルリン国立歌劇場o.
- ▶1941年5月24日パリ, シャイヨー宮
- LD: TE S152, LSZS 009191
- ※戦時中のドイツのニュース・フィルムより編集された「世紀の指揮者大音楽会」の中にある映像。ヴィニフレッド・ワグナーを迎えてのバリ・シャイヨー宮でのベルリン国立歌劇場管弦楽団演奏会より、50秒ほどの若き日のカラヤンを見ることの出来る唯一の記録である。なおこの演奏会の2日前、パリで楽劇「トリスタンとイゾルデ」全曲を指揮している。

①J.シュトラウス/ワルツ「皇帝円舞曲」作品437

- ベルリンpo.
- ▶1941年6月6日ベルリン
- M 1483-4
- CD: F28G 20213
- SP: 独ポリドール 67649, イフォニット 96082
- CD: 423 528-2, 423 525-2(セット番号)

0, 96037

CD: 423 526-2, 423 525-2(セット番号)

①チャイコフスキー/交響曲第6番短調「悲愴」

- ベルリンpo.
- ▶1939年4月15日ベルリン
- M 1189-1200
- LD: ULX 3002E
- CD: F28G 20215
- SP: 独ポリドール 67499-504, 67280-5, 69236-41, イフォニット 96039-44
- LP: TC-9055
- CD: 423 530-2, 423 525-2(セット番号)

※1938年の秋に録音されたフルトヴェングラー指揮ベルリンpoの同曲盤の対抗盤として制作されたものと考えられる。なお、これも前にベルリンpoとの2度目の演奏会の曲目として取り上げたものの翌日の録音になる。収録日は1日のみを示す。



▲TC-9055(チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」)

①ケルビーニ/楽劇「アナクレオン」序曲

- ベルリン国立歌劇場o.
- ▶1939年4月ベルリン
- M 1117/9
- CD: F28G 20216
- SP: 独ポリドール 67514, 仏ポリドール 673-4
- CD: 423 531-2, 423 525-2(セット番号)

①ワグナー/楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第3幕前奏曲

- ベルリン国立歌劇場o.
- ▶1939年4月ベルリン
- M 1115-6
- CD: F28G 20211
- SP: 独ポリドール 67527, イフォニット 96038
- CD: 423 526-2, 423 525-2(セット番号)

①モーツァルト/歌劇「魔笛」K.620序曲

- ベルリン国立歌劇場o.
- ▶1938年12月9日ベルリン
- M: 825-6
- SP: S 4005
- LP: 78MG 9012
- CD: F28G 20216
- SP: 独ポリドール 67465, 英デッカ LY 6145, イフォニット 91093
- LD: DG 2810 076
- CD: 423 531-2, 423 525-2(セット番号)

※12月8日グスタフ・グリュンゲルトの演出による全曲上演をベルリン国立歌劇場で起こった。その翌日の午後、この「序曲」の録音がおこなわれた。演奏会曲目やオペラ上演目録とレコーディング曲目が密接に隣合っているカラヤンの録音計画はその経歴の最初から実行されている。



▲67465(モーツァルト/歌劇「魔笛」序曲)

①ヴェルディ/楽劇「運命の力」序曲

- ベルリン国立歌劇場o.
- ▶1939年2月ベルリン
- M ①827-8②1000-1③5-6
- SP: E 234
- CD: F28G 20216
- SP: 独ポリドール 67446, イフォニット 96035
- CD: 423 531-2, 423 252-2(セット番号)

※アンソニー・ウィリアムズのディスコグラフィによると3種類のマトリックス番号が存在するという。編者の手元にあるものは③である。①のマトリックス番号は「魔笛」序曲と続いている。

①ワグナー/楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕前奏曲

- ベルリン国立歌劇場o.
- ▶1939年2月ベルリン
- M 1020-1
- CD: F28G 20211
- SP: 独ポリドール 67532, 仏ポリドール 67532, イフォニット 9112

- ▶1943年9月15日アムステルダム、コンセルトヘボウ
M2494-7
CD: F28G 20211
SP: 独ボリドール 68181-2, 69182-3
仏ボリドール 68182-3
CD: 423 526-2, 423 525-2(セット番号)



▲68181-2(ベートーヴェン「レオノーレ」序曲第3番)

◎R. シュトラウス/交響詩「ドン・ファン」作品20

- アムステルダム・コンセルトヘボウ。
▶1943年9月16~17日アムステルダム、コンセルトヘボウ
M2498-502
CD: F28G 20212
SP: 独ボリドール 68127-9S, 69286-8
LP: DL 9529
CD: 423 527-2, 423 525-2(セット番号)

◎ブルックナー/交響曲第8番より第4楽章

- ベルリン国立歌劇場。
▶1944年ベルリン
LP: Dissona RR 391, RR 508
CD: HUNT CD705
※ラジオ番組「ドイツの巨匠の音楽」のために録音された実験的ステレオ録音。放送予定日とされる11月19日の新聞には、この録音でなくフルトヴェングラー指揮のウィーンpoの同曲となっている。推測だが2日前のウィーン・ライブが放送されたものと思われる。もちろん、この第4楽章とフルトヴェングラー/ウィーンpoとの演奏(オールセン番号103)は別ものである。カラヤンがこの録音に技術的に不服で放送を許可しなかったとも伝えられている。ハント盤にはおわりに5秒ほどの拍手が入っている。また、オーケストラの名称も異なる文献があり、帝国ブルックナー管弦楽団(ブリーベルク)とする説もある。第1~3楽章の存在は確認されていない。

◎ベートーヴェン/交響曲第8番へ長調作品93

- ウィーンpo。
▶1946年9月13~15日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
Eウォルター・レグ
Eダグラス・ラター
MCHAX 200-5
SP: ZE 33-5
LP: EAC 30102
CD: TOCE 5980-3
SP: LX 988-90, LX 8557-9, LFX 824-6, LFX 8557-9, LVX 48-50
LP: EL 51, RLS 7714, 1C 137 54 37 0-3
CD: CDS 763 326-2

- ▶1942年10月トリノ
M1959-62
CD: F28G 20216
SP: 独ボリドール 68154-5, 69266-7, 仏ボリドール 68154-5
CD: 423 531-2, 423 525-2(セット番号)

◎ヴェルディ/歌劇「椿姫」第1幕前奏曲/第3幕前奏曲

- EIAR(トリノ放送)so。
▶1942年10月トリノ
CD: F28G 20216
SP: 独ボリドール 68156
CD: 423 531-2, 423 525-2(セット番号)

◎J. シュトラウス/喜歌劇「ジプシー男爵」序曲

- ベルリンpo。
▶1942年10月21日ベルリン
M1975-6
CD: F28G 20216
SP: 独ボリドール 67997, 独BASF 98 22177
LP: 独アカンタ MA 22177, KB 22177, SONOR 98 256 901-8
CD: 423 531-2, 423 525-2(セット番号)

◎J. シュトラウス/喜歌劇「こうもり」序曲

- ベルリンpo。
▶1942年12月ベルリン
M1977-8
CD: F28G 20213
SP: 独ボリドール 68043, 仏ボリドール 516817
CD: 423 528-2, 423 525-2(セット番号)

◎ブラームス/交響曲第1番八短調作品68

- アムステルダム・コンセルトヘボウ。
▶1943年9月6日~11日アムステルダム、コンセルトヘボウ
M2477-87
CD: F28G 20212
SP: 独ボリドール 68175-80, 69176-81
CD: 423 527-2, 423 525-2(セット番号)

◎ウェバー/歌劇「魔弾の射手」序曲

- アムステルダム・コンセルトヘボウ。
▶1943年9月13日アムステルダム、コンセルトヘボウ
CD: F28G 20216
SP: 独ボリドール 68354-5S
CD: 423 531-2, 423 525-2(セット番号)

◎R. シュトラウス/楽劇「サロメ」より7つのヴェールの踊り

- アムステルダム・コンセルトヘボウ。
▶1943年9月14日アムステルダム、コンセルトヘボウ
M2492-3
CD: F28G 20212
SP: 独ボリドール 68126
CD: 423 527-2, 423 525-2(セット番号)

◎ベートーヴェン/「レオノーレ」序曲第3番作品72a

- アムステルダム・コンセルトヘボウ。



▲67649(J.シュトラウス 皇帝円舞曲)

◎ベートーヴェン/交響曲第7番イ長調作品92

- ベルリン国立歌劇場。
▶1941年6月ベルリン
M1492-5/85-87/90-1/88-9
CD: F28G 20211
SP: 独ボリドール 68001-10S, 67643-8S, 69230-5
CD: 423 526-2, 423 525-2(セット番号)

◎モーツァルト/交響曲第40番短調K.550

- EIAR(トリノ放送)so。
▶1942年10月トリノ
CD: F28G 20214
SP: 独ボリドール 67983-5, 69171-3
CD: 423 529-2, 423 525-2(セット番号)

◎モーツァルト/交響曲第35番二長調K.385「ハフナー」

- EIAR(トリノ放送)so。
▶1942年10月トリノ
M1941-5
CD: F28G 20214
SP: 独ボリドール 67986-8S, 69104-6S, イチテラ RR 8035-7
LP: DL 9513
CD: 423 529-2, 423 525-2(セット番号)

◎モーツァルト/交響曲第41番八長調K.551「ジュビター」

- EIAR(トリノ放送)so。
▶1942年10月トリノ
M1952-7
CD: F28G 20214
SP: 独ボリドール 67993-6, 69363-6
CD: 423 529-2, 423 525-2(セット番号)



▲67993-6(モーツァルト 交響曲第41番「ジュビター」)

◎ロッシーニ/歌劇「セミラミデ」序曲

- EIAR(トリノ放送)so。

- チャイコフスキー／幻想序曲「ロメオとジュリエット」
■ウィーンpo.
▶1946年10月28～29日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター
MCHAX 235-40
L P : EAC 30112
C D : TOCE 5980-3
S P : LX 1033-5, LX 8583-5, LFX 72 0-2, GQX 11184-6, LCX 105-7
C D : CMS 763 326-2

- J. シュトラウス／喜歌劇「ジプシー男爵」序曲
■ウィーンpo.
▶1946年10月29～30日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター／アンソニー・グリフィス
MCHAX 241-2
L P : ZE 42
L P : EAC 30110
S P : LX 1009, LFX 773, GQX 11139, LVX 4

- J. シュトラウス／ワルツ「皇帝円舞曲」作品437
■ウィーンpo.
▶1946年10月30日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター／アンソニー・グリフィス
MCHAX 243-4
L P : ZE 40
L P : EAC 30111
C D : TOCE 5980-3
S P : LX 1021, GQX 11148, CCX 108, LVX 2, AAL 28, LFX 913
C D : CDS 763 326-2

- J. シュトラウス／ワルツ「芸術家の生涯」作品316
■ウィーンpo.
▶1946年10月30日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター／アンソニー・グリフィス
MCHAX 245-6
L P : ZE 64
E P : EW 22
L P : EAC 30111
S P : LX 1012, GQX 11173, LZ 217, LVX 3, ALL 28, LFX 936
E P : SEBQ 101, SEL 1503, ERBF 10 9



▲自らのディスクを手を持つカラヤン、CDの贈呈式、84年10月20日東京プラザホテルにて。

- フィス
MCHAX 224
C D : TOCE 5980-3
S P : CDS 763 326-2

- モーツァルト／セレナード第13番長調 K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
■ウィーンpo.
▶1946年10月21～22日ウィーン、ブラームス・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター
MCHAX 225-8
L P : ZE 10-11, LW 103
L P : WL 5065, EAC 30108
S P : LX 1293-4, LFX 823-3, GQX 11 157-8, LZ 215-6, LCX 134-5, LVX 9-10
L P : ML 54370, ML 4370, 1C 153 03 200-5, 2C 153 03 200-5

- モーツァルト／ディヴェルティメント第17番 K.384より「アダージョ」(第4楽章)
■ウィーンpo.
▶1946年10月22日, 1947年12月13日ウィーン、ブラームス・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター／アンソニー・グリフィス
MCHAX 229/388
C D : TOCE 5980-3
S P : CDS 763 326-2

- モーツァルト／歌劇「後宮からの逃走」K.384より「あらゆる苦しみが待ちうけていて」
■エリザベート・シュヴァルツコップ(S)
ウィーンpo.
▶1946年10月23日ウィーン、ブラームス・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター
MCHAX 230-1
C D : TOCE 6742-3
L P : RLS 763, 0C 151 43 160-3, RL S 7714, RLS 154 6133, 1C 137 54 370-3, XIG 8011, FID 2143
C D : CDH 763 708-2



▲IC 137 54 370-3M(75歳記念アルバム、ウィーン・フィルのセット)



▲「75歳記念アルバム」ウィーン・フィルのセットをシュヴァルツコップに手渡すカラヤン。

- シューベルト／交響曲第9番長調 D.944「ザ・グレート」
■ウィーンpo.
▶1946年9月15～17, 19～20日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター
MCHAX 206-17
L P : EAC 30104
S P : LX 1138-43, LX 8644-9, GQX 1 1130-5, GQX 11271-6, LFX 818-23
L P : ML 4631, 1C 153 03 200-5, RM D 1014, 2C 153 03 200-5, ML 5 4631



▲ML4631(シューベルト 交響曲第9番「ザ・グレート」)

- モーツァルト／交響曲第33番変ロ長調 K.319
■ウィーンpo.
▶1946年10月18～19日ウィーン、ブラームス・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター／アンソニー・グリフィス
MCHAX 218-22
L P : WL 5065
L P : EAC 30107
C D : TOCE 5980-3
S P : LX 1006-8, LX 8568-70, LFX 7 81-3, LVX 84-6, M 778
L P : ML 54370, ML 4370, 33FCX 14 5, 33QCX 145, C 90633
C D : CDS 763 326-2

- モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」K.492序曲
■ウィーンpo.
▶1946年10月21日ウィーン、ブラームス・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター／アンソニー・グリフィス
MCHAX 223
L P : EAC 30107
C D : TOCE 5980-3
S P : LX 1008, LX 8568, LFX 783, GQX 11169, LVX 86, M 778
L P : RLS 7714, 1C 153 03 200-5, 1 C 137 54 370-3, 2C 153 03 20 0-5
C D : CDS 763 326-2

- モーツァルト／6つのドイツ舞曲 K.600より第5番長調「カナリア」、3つのドイツ舞曲 K.605より第3番長調「そりあそび」
■ウィーンpo.
▶1946年10月21日ウィーン、ブラームス・ザール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター／アンソニー・グリ

ヘルベルト・フォン・カラヤン



指揮者
オーストリア
1908.4.5~1989.7.16

第1期
◎第2回◎

完璧を求めて果敢な挑戦を開始した新任指揮者 佐々木豊——著

ウルムでの始動

一九二九年一月二十二日、ベルンハルト・パウムガルトナーはカラヤンにモーツァルト音楽院管弦楽団を提供し、同学院にてオーケストラ指揮者としての公式デビューの機会を与えた。大ホール一階の中央には、州政府のフランツ・レール首相をはじめとするザルツブルクの重鎮たちが席を占めた。その招待をされ

た聴衆の一人にエルヴィン・ディートリヒという人物がいた。彼はウルム歌劇場の支配人の地位にある人物であった。傑出したシンフォニー・コンサート「Ausserordentliches Symphoniekonzert」と予告されたこの日のプログラムは、チャイコフスキーの交響曲第五番ホ短調、モーツァルトの二十三番のピアノ協奏曲そして最後にR・シュトラウスの「ヘドン・ファン」といふような聴き慣れた曲の選曲であった。終演後ディートリヒはカラヤンをウルムへ招聘した。

南ドイツ、バーデン・ヴュルテンベルク州のドナウ川に面するウルムは、ゴシック様式の大聖堂で知られる町であった。この大聖堂こそ世界で一番高い尖塔をもつ建造物として、ウルムの名をヨーロッパ中に知らしめていた。ザルツブルクより北西へ二四〇kmの小さな町の歌劇場の指揮者として、限らない夢と大いなる野望を抱いての赴任であった。ところが実際ウルムに着任してみると、市立歌劇場とは名ばかりで実に貧しい陣容であった。オーケストラは十七人、最大に動員をかけても二十六人という考えられない編成であり、合唱もわずか十六人の規模であった。ステージの幅はわずか七メートル半であったという。歌手といえど勉強中の若者か、最盛期をとうにすぎた人

達というありさまであった。この現実と直面してカラヤンは果敢に挑戦を開始していった。状況にあまじいのは簡単であるが、何事とも完璧を望んで一切の妥協を排する新任指揮者は、全てを自分で



ウルム歌劇場管弦楽団の指揮台上に立つ翌日のカラヤン(写真提供:ウルム公文書館)

処理していった。否、なんでもやらざるを得なかったのである。オーケストラの楽員と連絡をとるのに、自転車をつかって町中を走りまわった。もちろん電話など広く普及しているはずがない。足りない楽器はピアノで補うため、その編曲もせねばならなかった。合唱の練習指導をつけ、さらに大道芸や小道具の作製や衣装の準備にも手をかけた。リハーサルには歌劇場の近くの開店前のレストランのホールを借りることで急場をしのいだ。そして歌劇場とレストランとの往復を、手押し車の二輪車を使って大きな楽譜の運

Anfang 7 Uhr

Ende 10 1/2 Uhr

Die Hochzeit des Figaro

Komische Oper in 4 Akten von W. A. Mozart.

Deutsche Übersetzung von Hermann Levi.

Spielleitung: Erich Donike. Musikalische Leitung: Kapellmeister Herbert v. Karajan.

Personen:

Graf Almaviva	Geo. Monthy
Gräfin Rosine, seine Gemahlin	Else Barthel
Suzanne, Kammerjungfer der Gräfin	Sally Rappol
Figaro, Kammerdiener des Grafen	Willy Holmann
Basilio, Musikmeister	Franz Tomizal
Dr. Bartolo, Arzt	Erich Donike
Martelline, Ausgeherin	Gerda Heuer
Cherubin, Page des Grafen	Rita Adair
Antonio, Gärtner	Willy Schleicher
Barbelle, dessen Tochter	Marg. Ebnermeier
Don Curzio, Friedensrichter	Philipp Schmid

Rausen und Rauschen, Hochzeitsspiele.

Ort: Schloß in der Nähe von Sevilla. Zeit: Zweite Hälfte des 18. Jahrhunderts.

Gedruckte Pausen nach dem zweiten und dritten Akt.

Bühneninspektion: Heinrich Klein. Bühnenbilder: Max Scheibor.

Tanz: Elsa Schweizer.

1929年3月2日の「フィガロの結婚」を伝える新聞広告



カラヤンが活躍した頃の旧ウルム歌劇場。その粗末さから町の人々より「廢物倉」と呼ばれていた

当時としては 驚異的なウルムでの 上演作品

この年の五月ウィーンにミラノ・スカラ座が客演した。アルトゥール・トスカニーニが指揮をとり、ヴェルディの「ファルスタフ」とドニゼッティの「ランメルモールのルチア」が上演された。若き日のカラヤンにとって、トスカニーニとフルトヴェングラーのふたりは特別の存在であり、時間の許す限りその演奏会

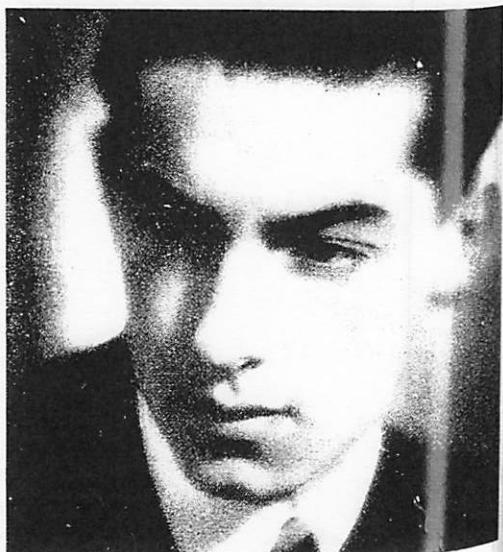
に出かけ真近で巨匠の息音をきいていった。夏はザルツブルクにもどり音楽祭の手伝いをし更なる経験を積み、翌年からはモーツァルテウム音楽院の「国際指揮科夏期講習会」を指導する立場となった。二九年／三〇年のシーズン以降、数々のオペラを上演してゆくのだがその大半がウルム初演であったという。当時のこの町の人口が六万人、そして舞台幅が七メートル半という、二つの数字から、この歌劇場の規模が窺い知ることが出来る。ここでのカラヤンのレパートリーは別表のようになる。(資料提供は「ウルム・アルヒーフ」のシュベツカー博士による) また、起用された歌手の名前は一覧表のうち二十二人公演の初日が判明しており、全部で一〇四人がカラヤンの指揮で歌っている。三二年にウルム歌劇場創立一五〇年記念祝祭週間として、〈蝶々夫

[ウルム歌劇場でのオペラ上演記録] 資料提供：ウルム公文書館

■ 1929	3/2, 4, 7, 10, 12, 15, 25, 31	「フィガロの結婚」
■ 1929-1930	10/9, 14, 18, 20, 22, 26 11/24, 12/3, 7, 12, 16, 20, 22, 28 2/8, 3/7 3/11, 14, 20 3/18, 21, 23, 27	「リゴレット」 「マルタ」 「カヴァレリア・ルスティカーナ」 「ドン・ジョヴァンニ」 「バグパイブ吹きさのシュワング」
■ 1930-1931	9/30, 10/3, 9, 12, 13, 20, 11/1, 15 11/7, 9, 11, 27 12/25, 28, 30, 1/2 1/22, 26, 30, 2/2 3/5, 10, 20	「セビリアの理髪師」 「カルメン」 「ボエーム」 「ドン・バスクワーレ」 「低地地帯」
■ 1931-1932	9/29, 10/2, 7, 8, 14, 11/22, 28 10/30, 11/1, 3, 26, 12/5, 13, 19 11/24 1/28, 2/1, 20, 3/9 3/15, 18, 21, 23	「蝶々夫人」 「トロヴァトーレ」 「マイスター・ジンガー」 「フィデリオ」 「ばらの騎士」
■ 1932-1933	10/20, 23, 25, 11/4, 7, 20, 26 12/25, 30, 1/3, 5, 8, 16, 25, 2/13 1/12, 15, 21, 23, 24, 2/12 3/17, 21, 23, 25	「ウンディーヌ」 「タンホイザー」 「ウィンザーの陽気な女房たち」 「椿姫」
■ 1933-1934	10/8, 10, 12, 16, 20 10/24, 11/2, 22, 12/2, 4, 16 12/25, 28, 1/2, 5, 10, 20, 28, 2/7, 21, 3/11 2/9, 15, 20 3/21, 23, 26, 29, 31	「密猟者」 「ジュリアス・シーザー」 「ローエングリン」 「アラベラ」 「フィガロの結婚」

人」とヘトロヴァートルを上演するのだが、この時、パーゼルからオデッテ・クレスピーを蝶々夫人役で、またベルリンからマルガレーテ・クローゼをアズチエーナ役で客演してもらった例を含めても、現在の一〇四人を「人名事典」をつかって捕捉できるのは、たつたの六人でしかない。(「演奏家大事典」全二巻の音楽家の項目、約四〇〇〇人による) ほとんどが地元の歌手であったのだらう。上演作品については、カラヤンの後年のそれと大筋において大差はなく、むしろこの時期にこれらの作品を取り上げたことのほうが今から振り返れば驚きに値する。

六十年代ウィーンで自由自在に、七十年代・八十年代を通して「帝王」の名をほしいままにして、ザルツブルクで豪壮なオペラ上演をくりひろげたカラヤンの始動期はこのようなものであった。もちろん演目の選択をカラヤン一人が決定できたわけではないだろうが、その大半がウルム初演であったということからして、カラヤンの希望を無理にでも押し通したための結果と考えていいだろう。なお、当時の演奏の記録については、わずかに舞台写真が残っているものの、録音・映像の類いはウルム公文書館には現存せず、実際にこれらの演奏を聴くことは出来ない。いずれにせよ、カラヤンの指揮者としてのスタートが南ドイツの小都市で行われ、それもオペラ上演をはじめからつぶさに経験し、限られた条件のもとでの最も効果的な成果を追いつづけ、着実に基礎を習得するという貴重な時間を、世界で一番高い大聖堂があるウルムの小さな歌劇場で過ごすこととなったのである。



ウルム時代のカラヤン(写真提供：ウルム公文書館)



ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……佐々木 豊



[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(P)、ディレクター(D)、レコーディング・エンジニア(E)、マトリックス番号(M)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の(V)は映像作品を示す。
- レコード番号はS P、E P、L P(10インチを含む)、C D、L Dの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L P期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムの中での曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータをつけた。
- オペラ全曲盤よりのアリア一曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

◎モーツァルト/弦楽のためのアダージョとフーガ 八短調K.546

- ウィーンpo.
- ▶1947年12月3日ウィーン、ブラームス・ザール
- ウォルター・レグ
- ダグラス・ラーター
- CHAX 367-8
- ⑤L P: WL 5065, EAC 30108
- ⑥L P: LX 1076, RLS 7714, ML 54370, ML 4370, 1C 153 03 200-5, 1C 137 54 370-3, 2C 153 03 200-5
- ※47年12月3日フルトヴェングラーが同じホールでモーツァルトのセレナーデを録音する(オールセン番号125/2HV 7062-4)。この日ウィーンpo.は午前中と午後をフルトヴェングラーとカラヤンで分けた。

◎レズニチェク/歌劇「ドンナ・ディナ」序曲

- ウィーンpo.
- ▶1947年12月8日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
- ウォルター・レグ
- ダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス
- CHAX 375
- ⑤S P: ZE 100
- L P: EAC 30111
- C D: TOCE 5980-3
- ⑥S P: LX 1402, LFX 1013, LCX 145, GQX 11437, LWX 403, CCX 14 02
- E P: SCB 112, SCD 207, SCQB 3017, SCBW 107, SCD 2075
- L P: RLS 7714, ML 5141, 1C 137 54 370-3
- C D: CDS 763 326-2

◎R.シュトラウス/楽劇「ばらの騎士」作品59より「銀のばら献呈の場」(第2幕)

- エリーザベト・シュヴァルツコップ(S), イルムガルト・ゼーフリート(S), ウィーンpo.
- ▶1947年12月9日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
- ウォルター・レグ
- ダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス
- CHAX 377-9
- ⑤C D: CE30 5538
- ⑥S P: LX 1225-6S
- L P: SH 286, RLS 763, RLS 7714, RLS 154 6133, ML 2126, 1C 137 54 370-3
- CDH 769 793-2



▲CDH 761 010-2(ブラームス/ドイツ・レクイエム)

◎R.シュトラウス/メタモルフォーゼン

- ウィーンpo.
- ▶1947年10月27~28日, 11月3日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
- ウォルター・レグ
- ダグラス・ラーター
- CHAX 310-6
- ⑤L P: EAC 30109
- C D: TOCE 5980-3
- ⑥S P: LX 1082-5S, LX 8608-11S, LVX 64-7
- L P: RLS 7714, 1C 153 03 200-5, 1C 137 54 370-3, 2C 153 03 200-5
- C D: CDS 763 326-2
- ※この曲の世界初録音。LX 1082-5Sは48年7月の発売である。

◎ベートーヴェン/交響曲第9番二短調 作品125「合唱」

- エリーザベト・シュヴァルツコップ(S), エリーザベト・ヘフゲン(A), ユリウス・バツァーク(T), ハンス・ホッター(Br), ウィーン楽友協会cho., ウィーンpo.
- ▶1947年11月3~6日, 12月10~12日, 14日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
- ウォルター・レグ
- ダグラス・ラーター
- CHAX 321-36/383-4
- ⑤S P: ZE 1-9
- L P: EAC 30101
- C D: CE30 5461
- ⑥S P: LX 1097-105, LX 8612-20, LFX 846-54, LVX 32-40, GQX 11250 -8, LFX 846-54
- L P: EL 51, RLS 7714, 1C 153 03 2 00-5, 2C 153 03 200-5, RL 3066, 1C 137 54 370-3
- C D: CDH 761 076-2

◎J.シュトラウス/ワルツ「美しき青きドナウ」作品314

- ウィーンpo.
- ▶1946年10月30日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
- ウォルター・レグ
- ダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス
- CHAX 247-8
- ⑤S P: ZE 63
- L P: EAC 30110
- C D: TOCE 5980-3
- ⑥S P: LX 1118, LCX 123, LZX 217, LFX 1, LFX 840, AAL 28
- E P: SCD 2144
- L P: 1C 147 30 226-7
- C D: CDS 763 326-2

◎J.シュトラウス/ポルカ「浮気心」作品319

- ウィーンpo.
- ▶1946年10月30日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
- ウォルター・レグ
- ダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス
- CHAX 957

◎ワーグナー/楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より①ザックスの迷いのモノローグ「迷いだ、迷いだ、だにも迷いだ」②ザックスのニフトコの花のモノローグ「ニフトコの花のかぐわしさ」

- ハンス・ホッター(Bs) ウィーンpo.
- ▶1946年10月31日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
- ウォルター・レグ
- CHAX 249-52

◎ブラームス/ドイツ・レクイエム作品45

- エリーザベト・シュヴァルツコップ(S), ハンス・ホッター(Bs), ウィーン楽友協会cho., ウィーンpo.
- ▶1947年10月20~22日, 27~29日ウィーン、ムジークフェライン・ザール
- ウォルター・レグ
- ダグラス・ラーター
- CHAX 290-309
- ⑤S P: Z 35-44
- L P: EAC 30103
- ⑥S P: LX 1055-64, LX 8595-604
- L P: SL 157, M 755, RLS 7714, 1C 153 03 200-5, 1C 137 54 370-3, 2C 051 43 176, 2C 153 03 200 -5
- C D: CDH 761 010-2



エライン・ザール
Pウォルター・レグ
MCHAX 395-6

◎シューマン/ピアノ協奏曲短調作品54

■ディヌ・リパッティ(p), フィルハーモニア。

▶1948年4月9~10日ロンドン, アビーロード・EMI第1スタジオ

Pウォルター・レグ

Eロバート・ベケット

MCHAX 10206-13 || XA 62-3

SP: ZE 74-7

LP: WL 5069, OL 3102, AB 7069, A B 8049, EAC 60032-8, EAC 60108, EAC 37001-19, TOJE 7422

CD: CE30 5530, TOCE 6383-90

SP: LX 1110-3, LX 8624-7, LCX 8012-5, GQX 11207-10, LFS 940-3

LP: 33C 1001, XLP 30072, HLM 7046, ML 2195, ML 4525, 32 16 01 41, 33FC 1016, 33FCX 322, 33FCX 491, 33FCX 30096, 33FC 25 078, 33QC 1016, 33VC 803, C 70 082, 33WC 1001, 33QCX 322, 1C 061 00 770, 1C 047 00 770, 1C 197 53 780-6, 2C 051 03 713, 2C 047 00 770, REG 1059, EC D67(ルーミア), SMVP 8054

CD: CDH 769 792-2

※48年4月11日ロンドンのロイヤル・アルバート・ホールでフィルハーモニア管弦楽団とのデビュー・コンサートを開く。R.シュトラウスの「ドン・ファン」、シューマンの「ピアノ協奏曲」、ベートーヴェンの「交響曲第5番」というプログラムであった。その前々日、前日このレコーディング・セッションが組まれた。もちろんロンドンでの初録音、フィルハーモニア管弦楽団とも初セッションである。

ROBERT SCHUMANN
Konzert für Klavier und Orchester a-moll op.54
DINO LIPATTI
Das Philharmonische Orchester - München von 1948



▲C 70082(シューマン/ピアノ協奏曲)

◎モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」
より①さあ、ひざをついてここに(第2幕第12曲)②とうとうその時が来た…
恋人より早くここへ(第4幕第27曲)

■イルムガルト・ゼーフリート(S)ウィーンpo.

▶1948年8月11日ザルツブルク, 祝祭大劇場

CD: CDS 1206

◎J.シュトラウス&ヨゼフ・シュトラウス/ピチカート・ポリカ

■ウィーンpo.

▶1948年10月ウィーン, ムジークフェライン・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス

MCHAX 958

E P: SCB 109, SCD 2084, SCBW 108, SCBQ 3013

◎モーツァルト/フリーメーソンのための葬送音楽短調K.477

■ウィーンpo.

▶1947年12月13日ウィーン, ブラームス・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

MCHAX 386-7

LP: EAC 30108

CD: TOCE 5980-3

SP: LX 1155, 72846D, LFX 950

LP: 1C 153 03 200-5, 2C 153 03 200-5

CD: CDS 763 326-2

◎R.シュトラウス/楽劇「ばらの騎士」作品59より①マルシャリンのモノローグ、
②カンカン、あなたはもう行かなければいけない

■ヒルデ・コネツニ(S), ウィーンpo.

▶1947年12月15日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

M①CHAX 391

②CHAX 394

SP: LX 1135, LVX 94

◎スメタナ/歌劇「売られた花嫁」より
「やっと、ひとりになれた…そんなことはないはず」

■ヒルデ・コネツニ(S), ウィーンpo.

▶1947年12月15日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

MCHAX 392-3

SP: LX 1074, LVX 54

LP: RLS 764

◎モーツァルト/歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より「私の名誉を奪おうとした者」

■マリア・チェボタリ(S), ウィーンpo.

▶1947年12月16日ウィーン, ブラームス・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

LP: WDLP 563, PR 9860

CD: PREI 90034

※LPの2点はフェリックス・プロハスカの指揮となっている。

◎モーツァルト/歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より「いいえ違います、私はあなたのもの」

■マリア・チェボタリ(S), ウィーンpo.

▶1947年12月16日ウィーン, ブラームス・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

M2VH 7065-6

SP: DB 6738

E P: 7ER 126

LP: RLS 764, E 60050, WDLP 563,

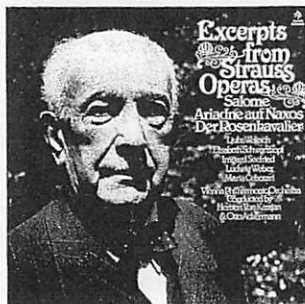
1C 147 29 118-9, PR 9860

CD: PREI 90034

◎シャブリエ/狂詩曲「スペイン」

■ウィーンpo.

▶1947年12月16日ウィーン, ムジークフ



▲SH 286(R.シュトラウス/「ばらの騎士」より他)

◎モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」
K.492より「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」

■エーリッヒ・クンツ(Br), ウィーンpo.

▶1947年12月9日ウィーン, ブラームス・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

MCHAX 376

SP: LX 1123

E P: SEL 1574

LP: RLS 764, 1C 147 03 580-1, VS 811

◎モーツァルト/①歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より「手を取りあって」、
②歌劇「魔笛」K.620より「恋を知るものこそは」

■エーリッヒ・クンツ(Br), イルムガルト・ゼーフリート(S)①, エリーザベト・シュヴァルツコップ(S)②, ウィーンpo.

▶1947年12月9日ウィーン, ブラームス・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

MCHAX 988

①LP: RLS 764, EX 29 12363, EX 29 1056-3

◎モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」
K.492より①「恋とはどんなものかしら」②「楽しい思い出はどこへ」③歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より「ぶってね、マゼット」

■イルムガルト・ゼーフリート(S), ウィーンpo.

▶1947年12月11日ウィーン, ブラームス・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

M①CHA 990

②CHAX 380

③CHA 991

①SP: LB 76

LP: LO 82, RLS 764, EX 29 12363

②SP: LX 1145

LP: RLS 764, EX 29 12363

③SP: LB 76

LP: LO 82, RLS 764, EX 29 12363

◎ブッチェニ/歌劇「マノン・レスコー」
第3幕間奏曲

■ウィーンpo.

▶1947年12月12日, 1948年11月30日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

MCHAX 385

LP: EAC 30112

SP: LX 1208, LVX 100



- 合唱「見張りをやめろ、かじとりよ」
■ゲルトルート・シュスター(A)①②, ウィーン国立歌劇場cho, ウィーンpo.
▶1948年11月19日①, 1949年11月3日②, ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
M①CHAX 420
②CHAX 503
L P: EAC 30109
S P: LX 1440

- ワグナー/歌劇「ローエングリン」より婚礼の大合唱
■ウィーン国立歌劇場cho, ウィーンpo.
▶1948年11月19日ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
MCHAX 422

- R.シュトラウス/楽劇「サロメ」作品54より①ヨハナーン水灌へ下りる②サロメのモノローグ「いまお前の首に接吻した」
■リュバ・ヴェリツチュ(S), ゲルトルート・シュスター(A), ヨーゼフ・ヴィット(T), ウィーンpo.
▶1948年11月22日, 24日ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
MCHAX 423-25/28-30
L P: SH 286

- J.シュトラウス/ワルツ「ウィーンの森の物語」作品325
■ウィーンpo.
▶1948年11月23日ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
Eダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス
MCHAX 426-7
S P: ZE 39
L P: EAC 30110
C D: TOCE 5980-3
S P: LX 1274, LFX 1014, LVX 137, LDX 12
L P: RLS 7714, 1C 137 54 370-3
C D: CDS 763 326-2
※この録音には部分的なカットがある。

- J.シュトラウス/喜歌劇「こうもり」序曲
■ウィーンpo.
▶1948年11月30日ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
Eダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス
MCHAX 434-5
S P: ZE 65
L P: EAC 30110
S P: LX 1546, LFX 989, LVX 152, LD X 11, GQX 11435
E P: SCD 2101

- リュバ・ヴェリツチュ(S), ウィーン国立歌劇場o.
▶1948年11月10日ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
Eダグラス・ラーター
M①CHAX 411
②CHA 1005
S P: LB 82
L P: HLM 7006, SH 286, 60202, 1C 047 01 267
C D: CDH 761 007-2



▲1C 047 01 267M (ブッチーニ「ラ・ボエム」より)

- ベートーヴェン/交響曲第5番短調作品67
■ウィーンpo
▶1948年11月11日, 15~17日ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
Eダグラス・ラーター
MCHAX 412-9
S P: ZE 17-20
L P: XL 5011, EAC 30102
S P: LX 1330-3, LX 8752-2, LCX 14 0-3, LVX 79-82, LFX 965-8
L P: 33CX 1004, RL 3068, 33FCX 107, 33QCX 107, 33VCX 506, 33WC 517, C 70369

- R.シュトラウス/歌劇「ナクソスのアリアドネ」作品80より「すべてが清らかな国がある」
■マリア・チェボタリ(S), ウィーンpo.
▶1948年11月16日ウィーン, プラームス・ザール
□ウォルター・レグ
Eダグラス・ラーター
M2VH 7105-6
S P: DB 6914
L P: SH 286, RLS 764, 1C 147 29 118-9, 1C 147 29 150-1, PR 98 60
C D: PREI 90034

- J.シュトラウス/喜歌劇「ジプシー男爵」より「世の中にジプシーほど」
■マリア・チェボタリ(S), ウィーンpo
▶1948年11月16日ウィーン, プラームス・ザール
□ウォルター・レグ
Eダグラス・ラーター
M2VH 7107
S P: DB 6947
L P: RLS 764, 1C 147 29 118-9, 1C 147 30 226-7, RO 3668, PR 96 80
C D: PREI 90034

- ワグナー/歌劇「さまよえるオランダ人」より①糸紡ぎの合唱「ぶんぶん回れ糸車」, ②第3幕の導入曲と水夫の

- チャイコフスキー/交響曲第6番口短調作品74「悲愴」
■ウィーンpo.
▶1948年11月4~6日, 8~10日, 1949年1月21日ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
Eダグラス・ラーター
MCHAX 397-410 || XHAX 38-9
S P: ZE 68-74
L P: WL 5006, XL 5151, EAC 30105
C D: TOCE 5980-3
S P: LX 1234-9, LX 8699-704, LVX 8 7-92, M 15147-52
L P: 33CX 1026, ML 4299, 33FCX 105, 33WCX 1026, C 90302, 1C 153 03 200-5, 2C 153 03 200-5
C D: CDS 763 326-2



▲C 90302(チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」)

- ブッチーニ/歌劇「ボエム」より①「私の名はミミ」②「あなたの愛の呼び声に」③歌劇「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」
■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S), ウィーンpo
▶1948年11月6日ウィーン, プラームス・ザール
□ウォルター・レグ
Eダグラス・ラーター
M①CHAX 401
②CHAX 402
③CHA 1002
S P: EAC 30112
S P: ALP 1435501, RLS 154 6133
C D: CDM 763 557-2
S P: LB 85, LV 7, LN 4, GQ 7240
E P: SEL 1575
L P: RLS 763, RLS 154 6133

- モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」K.492より「伯爵さまが踊るなら」
■エリッヒ・クンツ(Br), ウィーン国立歌劇場o.
▶1948年11月10日ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
MCHA 1003

- ブッチーニ/歌劇「トゥーランドット」より「氷のような姫君の心も」
■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S), ウィーン国立歌劇場o.
▶1948年11月10日ウィーン, ムジークフェライン・ザール
□ウォルター・レグ
MCHA 1004

- モーツァルト/歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より「私の名譽を奪おうとした者」, ②ブッチーニ/歌劇「ボエム」より「私が町を歩くと」

ヘルベルト・フォン・カラヤン



アーヘン音楽堂でリハーサル中のカラヤン (1941年)

その場で実際に生きていた人々にしか当時の巨大な「うねり」の中での物事の推移を述べることは不可能であろう。(バツハマンのカラヤンに対する申し立てはあ

とを思い出させるのだ。(ホイサーマン、猿田恵訳) というカラヤンの言葉はこの転出時の心境を述べてあまりある。本来の契約切れの春、カラヤンは支配人ディートリッヒとともに、ウィーンへ旅行して、(これは歌手捜しという名目になつていただけれど) 一年間の契約延長を約束させることに成功している。そして三四年の春、今度こそ契約失効の時を迎えるのであった。カラヤンはベルリンに出て、中小都市の歌劇場の指揮者の職を捜したという。「芸術家代理事務局」に登録したことにより、アーヘン歌劇場の支配人グロス博士と邂逅するのだった。劇場シーズンは既におわりかけており、オペラでの採用オーディションが不可能だとわかるとグロス博士は特別にアーヘン音楽堂でオーケストラによるオーディションをすることを決めてくれた。それは六月八日に行なわれ、曲目は「オペラ序曲、ハフナー交響曲」の第一楽

章、そして「マイスタージンガー」の第一幕前奏曲であつたという。年配の楽員はカラヤンがあまりにも若すぎるという理由から退けようとした。しかし、ある筋より強力な申し入れがあり決定が下された。このアーヘンへの転出については、単に「強運の人」というよりは、事前に準備が出来上がり計画された転出であつたとみるほうが妥当だろう。

ここで、アーヘンの就任時のナチスへの入党についてふれなくてはならないのが普通だが、ロベルト・C・バツハマンの「栄光の裏側」(横田みどり訳/音楽之友社、八五年) にこと細かくふれられているので、ここでは重複を避けることにする。バツハマンのいうように、二重の入党も事実であつて、日付・黨員番号なども資料をあたれば同様に裏付けがとれるであろう。しかし、カラヤンが後に「山登りをするために、その山岳協会に名前を登録するのと同じだった」と発言したように、カラヤンの音楽家としての急進期がまたナチスの鮮烈な急進期と軌を一を全く同じにするのは、歴史を現在から振り返るからである。さらに、その時

残されている演奏会のデータから紛れもなくカラヤンがナチの息のかかった指揮者であつたことがわかる。「ホルスト・ヴェツセル」の歌を指揮したり、ヒットラーの誕生日にあわせて演奏会を開いている。また、SDカード(親衛隊保安部特別通行許可証)を行使してドイツ国内や隣接した地域へ自由に動き回つたのも事実である。うまく政治家や軍部首脳にとりいり、(現在で言えば都市や地方自治体や一般の企業と結び付いて) それを最大限に利用することは、どんな分野でもその頂点に上りつめようとする野心を抱くものにとつては有効な手段だが、しかしカラヤンは一切、政治には係わりをもたなかった。まして実際の戦争とは関係がなかった。そして、それは生涯にわたって変わることはなかった。

八月六日に正式にアーヘン歌劇場の第一指揮者に就任、それはドイツ最年少の総音楽監督の誕生でもあつた。(こちらの

アーヘンを経て《奇蹟の人》ベルリン楽壇へ

佐々木豊——著

アーヘンでの飛躍

ウルムからアーヘンへの転出は、従来の伝記作家たちがいうようにウルム側の好意から契約更新を望まなかったということなのだろうか。日本で特に有名になつた『私は汽車と駅が大嫌いだ。汽車や駅にはいつも何か敵意みたいなものがある。この二つとも私が指揮者の地位を捜して町から町へと旅行していたときのこ

とを思い出させるのだ。(ホイサーマン、猿田恵訳) というカラヤンの言葉はこの転出時の心境を述べてあまりある。本来の契約切れの春、カラヤンは支配人ディートリッヒとともに、ウィーンへ旅行して、(これは歌手捜しという名目になつていただけれど) 一年間の契約延長を約束させることに成功している。そして三四年の春、今度こそ契約失効の時を迎えるのであった。カラヤンはベルリンに出て、中小都市の歌劇場の指揮者の職を捜したという。「芸術家代理事務局」に登録したことにより、アーヘン歌劇場の支配人グロス博士と邂逅するのだった。劇場シーズンは既におわりかけており、オペラでの採用オーディションが不可能だとわかるとグロス博士は特別にアーヘン音楽堂でオーケストラによるオーディションをすることを決めてくれた。それは六月八日に行なわれ、曲目は「オペラ序曲、ハフナー交響曲」の第一楽

章、そして「マイスタージンガー」の第一幕前奏曲であつたという。年配の楽員はカラヤンがあまりにも若すぎるという理由から退けようとした。しかし、ある筋より強力な申し入れがあり決定が下された。このアーヘンへの転出については、単に「強運の人」というよりは、事前に準備が出来上がり計画された転出であつたとみるほうが妥当だろう。

カラヤンの逝去の直後、アメリカの司法省特別調査室がナチ追求の打ち切りを発表し(八九年八月三日)、日本でも大きなニュースとなったが、すでに過去の出来事ははるか遠く「風化の域」にはいりつつあるといつても過言ではないであらう。



ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 [資料提供: デヴィッド・C・ラム (イギリス)]

【ディスコグラフィ記載方法】

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー([P]), ディレクター([D]), レコーディング・エンジニア([E]), マトリックス番号([M]), 日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の[V]は映像作品を示す。
- レコード番号はS.P., E.P., L.P.(10インチを含む), C.D., L.D.の順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L.P.期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータをつけた。
- オペラ全曲盤よりのアリア一曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

▶1949年10月18日, 21~22日, 24日, 27日, 11月8日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

[P]ヴォルター・レッグ

[E]ダグラス・ラーター

M CHAX 473-4/482-7/495-6

LP: XL 5022, EAC 30106

CD: TOCE 5980-3

SP: GQX 11441-5, LVX 125-9

LP: 35007, 33FCX 285

CD: CDS 763 326-2

◎ヨゼフ・シュトラウス/ワルツ「天体の音楽」作品235

■ウィーンpo.

▶1949年10月18日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

[P]ヴォルター・レッグ

[E]ダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス

M CHAX 475-6

EP: EW 53

LP: AA 7396, AA 9923-4, AA 93013-4, AA 5109, EAC 47111-2

CD: TOCE 5980-3

SP: LX 1250, LFX 1027, M 15175

EP: SEL 1505, SEBO 107, SELW 15 05

LP: C 50143

CD: CDS 763 326-2

◎J.シュトラウス/トリッチ・トラッチ・ボルカ作品214

■ウィーンpo.

▶1949年10月18日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

[P]ヴォルター・レッグ

[E]ダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス

M CHA 1088

LP: S 40007, AA 93013-4, AA 5109, EAC 30110, EAC 47111-2

CD: TOCE 5980-3

SP: LB 128, GQ 7251, LW 62

EP: SCD 2111

LP: RLS 7714, IC 137 54 370-3

CD: CDS 763 326-2

◎J.シュトラウス/ボルカ「雷鳴と電光」作品324

■ウィーンpo.

▶1949年10月18日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

[P]ヴォルター・レッグ

[E]ダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス

M CHA 1089

CD: TOCE 5980-3

HERBERT VON
Karajan

Producing the
PHILHARMONIA ORCHESTRA

OPERA INTERMEZZI (No. 2)

by

"GIUSEPPE VERDI" (Wagner)

"LA TRAVIATA" (Verdi, Act 2, 3rd)

"I PALESTRI" (Verdi)

"ERESICA" (Verdi)

*

COLUMBIA

STEREO

EW 93 (マスカニ/カヴァレリア・ルスティカーナ) 間奏曲

◎ヴェルディ/レクイエム

■ヒルデ・ザデク(S), マルガレータ・クローゼ(Ms), ヘルゲ・ロスウェンゲン(T), ボリス・クリストフ(Bs), ウィーン楽友協会cho., ウィーンpo.

▶1949年8月14日ザルツブルク, 祝祭大劇場

LP: Fonit Cetra LO 524, Dissonor RR 391, Rodolphe RP 12403-4

※この年のザルツブルク音楽祭は、オーケストラ・コンサート2回だけ(8月17日, ベートーヴェン第9)。11時からの演奏会。なおチェトラ盤は9月14日と誤記している。



▲LO 524(ヴェルディ/レクイエム)

◎シベリウス/交響曲第5番変ホ長調作品82より第3楽章

■ストックホルムpo.

▶1949年10月7日ストックホルム, コンサート・ホール

CD: BIS 421-4

◎ブラームス/交響曲第2番ニ長調作品73

■ウィーンpo.

◎モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」K.492より第2幕9場

■イルムガルト・ゼーフリート(S: スザンナ), ワルター・ヘーファーマイヤー(Br: 伯爵), エリーザベト・シュヴァルツコップ(S: 伯爵夫人), ミラノ・スカラ座o.

▶1948年12月ミラノ, スカラ座

LP: Melodram MEL 088

◎モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」K.492より①第2幕10場「愛の神よ、照覧あれ」②11場「恋とはどんなものかしら」

■セーナ・ユリナッチ(S: ケルビーノ), ジュゼッペ・タディ(Br: フィガロ), マリア・チェボタリ(S: 伯爵夫人), イルムガルト・ゼーフリート(S: スザンナ), ワルター・ヘーファーマイヤー(Br: 伯爵), ミラノ・スカラ座o.

▶1949年1月1日ミラノ・スカラ座

LP: Melodram MEL 087

LP: Melodram MEL 089

※48年12月28日初日より4回上演された1月1日(推定)よりの部分。ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場との三者共同制作。MEL 087には1947年の表記があるが誤り。

◎J.シュトラウス/常動曲作品257

■ウィーンpo.

▶1949年1月21日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

[P]ヴォルター・レッグ

[E]ダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス

M CHA 1017

LP: S 40007, AA 7396, AA 9923-4, AA 93013-4, AA 5109, EAC 30110, EAC 47111-2

CD: TOCE 5980-3

SP: LB 128, LW 62, GQ 7251

EP: SCD 2111

LP: RLS 7714, IC 137 54 370-3

CD: CDS 763 226-2

◎マスカニ/歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲

■アントン・ハイラー(org), ウィーンpo.

▶1949年1月21日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

[P]ヴォルター・レッグ

[E]ダグラス・ラーター/アンソニー・グリフィス

M CHAX 455

EP: EW 93

SP: LX 1208, LVX 100

EP: SCD 2084, SCB 109, SCBO 3013, SCBW 108

[E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター
 MCHA 10651-62 || XAX 78-9
 [E]LP: XL 5004, EAC 37020-38
 CD: TOCE 5976-9
 [E]SP: LX 1323-8, LX 8746-51
 LP: 33CX 1002, RLS 7715, 33QX 17
 0, 33FCX 170, 1C 137 54 364-7,
 XLP 60001
 CD: CDS 763 316-2



▲XLP 60001(バラキレフ/交響曲第1番)

◎ルーセル/交響曲第4番イ長調作品53
 ■フィルハーモニアo.
 ▶1949年11月22日, 28~29日ロンドン,
 キングズウェイ・ホール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター
 MCHA 10663/10669-74 || XAX 246
 [E]LP: EAC 37020-38
 CD: TOCE 5976-9
 [E]SP: LX 1348-51S, LX 8763-6, LFX
 976-9
 LP: 33FCX 163, 33QX 163, XLP 6
 0003
 CD: CDS 763 316-2

※The Maharaja of Mysore's Musical Foundationの後援をうけてのレコーディング。

◎ヴェルディ/歌劇「ドン・カルロ」より
 「ひとり淋しく眠ろう」
 ■ボリス・クリストフ(Bs), フィルハー
 モニアo.
 ▶1949年11月28日ロンドン, キングズウ
 ェイ・ホール
 [E]ヴォルター・レッグ
 M2EA 14330-1
 [E]SP: DB 21007, 7RF 262
 LP: RLS 735, 1C 147 03 336-7

◎ムソルグスキー/歌劇「ボリス・ゴド
 ノフ」より, ワルラムの歌「カザン
 の町であったこと」
 ■ボリス・クリストフ(Bs), フィルハー
 モニアo.
 ▶1949年11月28日ロンドン, キングズウ
 ェイ・ホール
 [E]ヴォルター・レッグ
 M2EA 14332
 [E]SP: DB 21097, DM 1436, 7RF 166
 E P: EHA 11
 LP: BLP 1003, RLS 735, WBLP 100
 5, OBLP 5002, 1C 147 03 336-7

◎グノー/歌劇「ファウスト」より, セレ
 ナーデ「眠ったふたりをせすに」
 ■ボリス・クリストフ(Bs), フィルハー
 モニアo.
 ▶1949年11月28日ロンドン, キングズウ
 ェイ・ホール

■ウィーンpo.
 ▶1949年10月24日, 11月10日ウィーン,
 ムジークフェライン・ザール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター/アンソニー・グ
 リフィス
 MCHAX 490-1
 [E]SP: ZE 41
 E P: EW 22
 LP: AA 7396, AA 9923-4, AA 93013
 -4, AA 5109, EAC 30111, EAC 4
 7111-2
 CD: TOCE 5980-3
 [E]SP: LX 1321, LFX 1023, GQX 11436,
 LVX 167
 E P: SEL 1503, SEBQ 101, ESBF 109
 CD: CDS 763 326-2

◎ワーグナー/歌劇「タンホイザー」より,
 大行進曲と「歌の殿堂をたたえよう」
 (第1幕)

■ウィーン国立歌劇場cho., ウィーンpo.
 ▶1949年11月2日ウィーン, ムジークフ
 ェライン・ザール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター
 MCHAX 497-8
 [E]LP: EAC 30109
 [E]SP: LX 1347, GQX 11463, M 15154,
 LVX 154, LFX 1021

◎ワーグナー/歌劇「ローエングリン」よ
 り①第3幕前奏曲②婚礼の大合唱(第
 3幕)

■ウィーン国立歌劇場cho.(②), ウィー
 ンpo.
 ▶1949年11月3日ウィーン, ムジークフ
 ェライン・ザール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター
 MCHAX 499-500
 [E]LP: EAC 30109
 [E]SP: LX 1360, LFX 1029, LVX 171, G
 QX 11471, CLV 1360

◎ワーグナー/楽劇「ニュルンベルクの
 マイスタージンガー」より信者の合唱
 「救い主として我らに臨みたまえ」(第
 1幕)「目覚めよ, 朝は近づいた」(第
 3幕)

■ウィーン国立歌劇場cho., ウィーンpo.
 ▶1949年11月3日ウィーン, ムジークフ
 ェライン・ザール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター
 MCHAX 501-2
 [E]LP: EAC 30109
 [E]SP: LX 1258, CLX 1258

◎モーツァルト/クラリネット協奏曲イ
 長調K.622

■レオポルド・ウラッハ(cl), ウィーン
 po.
 ▶1949年11月7~8日ウィーン, プラー
 ムス・ザール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター
 MCHAX 510-6
 [E]LP: EAC 30108
 [E]SP: LXW 445-8S, GQX 11484-7S
 LP: 2M 155 03 860-1

◎バラキレフ/交響曲第1番ハ長調

■フィルハーモニアo.
 ▶1949年11月18日, 21~22日ロンドン,
 キングズウェイ・ホール

[E]SP: LV 15(オーストリア)
 CD: CDS 763 326-2
 ※SPはオーストリア・コロンビアのみの発
 売であった。

◎モーツァルト/交響曲第39番変ホ長調 K.543

■ウィーンpo.
 ▶1949年10月20日, 26日, 11月10日ウィ
 ーン, ムジークフェライン・ザール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]アンソニー・グリフィス
 MCHAX 477-8/492-4/502
 [E]SP: ZE 135-7
 LP: EAC 30107
 [E]SP: LX 1375-7, LX 8785-7, LWX 39
 8-400, GQX 11405-7
 LP: RL 3068, 33FCX 145, 33QX 145,
 2M 155 03 860-1

◎ヨゼフ・シュトラウス/ワルツ「トラ
 ンスアクツィオン(とりひき)」作品184

■ウィーンpo.
 ▶1949年10月20日ウィーン, ムジークフ
 ェライン・ザール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター/アンソニー・グ
 リフィス
 MCHAX 479-80
 [E]SP: EW 53
 LP: AA 7396, AA 9923-4, AA 93013
 -4, AA 5109, EAC 47111-2
 CD: TOCE 5980-3
 [E]SP: LX 1257, LFX 1022
 E P: SEL 1505, SELW 1505, SEBQ 107
 LP: C 50143
 CD: CDS 763 326-2

◎J.シュトラウス/ワルツ「酒・女・歌」
 作品333

■ウィーンpo.
 ▶1949年10月20日ウィーン, ムジークフ
 ェライン・ザール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター/アンソニー・グ
 リフィス
 MCHAX 481
 [E]SP: ZE 100
 LP: AA 7396, AA 9923-4, AA 93013
 -4, AA 5109, EAC 30111, EAC
 47111-2
 CD: TOCE 5980-3
 [E]SP: LX 1402, LCX 145, LWX 403, L
 FX 1013, GQX 11437, M 15141
 E P: SCD 2075, SCB 112, SLBQ 3017
 CD: CDS 763 326-2
 ※序奏部をカットした録音。

◎ヨゼフ・シュトラウス/ワルツ「うわ
 こと」作品212

■ウィーンpo.
 ▶1949年10月24日ウィーン, ムジークフ
 ェライン・ザール
 [E]ヴォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター/アンソニー・グ
 リフィス
 MCHAX 488-9
 [E]LP: EAC 30111
 CD: TOCE 5980-3
 [E]SP: LX 1303, LVX 142
 LP: RLS 7714, 1C 137 54 370-3
 CD: CDS 763 326-2

◎J.シュトラウス/ワルツ「ウィーン気
 質」作品354

ドン・クルチオ), ウィーン国立歌劇場
cho., ウィーンpo.

▶1950年6月17~21日, 10月23~27日,
31日ウィーン, ムジークフェライン・
ザール

Ⓔ ウォルター・レック

Ⓕ ロバート・ベケット

Ⓖ CHAX 534-73 || KHAX 45-50

Ⓗ LP: WL 5018-20, AB 9332-4

(ハイライト)

LP: RL 3050

(序曲)

LP: EAC 30112

Ⓖ SP: LWX 410-25

LP: 33CX 1007-9, SL 114, 1C 147
01 751-3, 1C 197 542 00-8, C 9
0292-4, 33VCX 503-5, 33FCX 1
74-6, 33QCX 10002-4, 33WCX 1
007-9, RLS 684, 2C 163 01 751
-3

CD: CMS 769 639-2

(ハイライト)

LP: 33CX 1558, RLS 764, 35326, C
80531, 33WSX 548, 33FCX 3017
0, C 70370, 33WC 518, 1C 147
03 580-1, 1C 063 00 839, EX 29
1056-3, BD 411, 33HC 124

(部分)

SP: LX 1575

LP: E 80805, C 70401, HQM 1024,
1C 047 01 444

CD: CDM 763 657-2, CDM 763 55
7-2, CMS 763 790-2

(序曲)

LP: C 41146

※レチタティーヴォ・セッコを省略しての録
音。たいへん珍しい事例である。



▲2C 163 01 751-3(モーツァルト/フィガロの結婚)

○モーツァルト/ピアノ協奏曲第21番ハ
長調K.467

■ディヌ・リパッティ(p), ルツェルン
音楽祭o.

▶1950年8月23日ルツェルン, クンスト
ハウス

Ⓗ LP: ZL 3002, AB 7068, AB 8048, EA
C 60032-8, EAC 60109

CD: CE30 5530, TOCE 6383-90

Ⓖ LP: 33C 1064, S 35931, 1C 047 01 4
69, RLS 749, 2C 051 03 713, R
MD 1017, E 60714, 197 153 780
-3, 2C 061 14 013, C 80964

CD: CDH 769 792-2

※ルツェルン国際音楽祭でのライブ録音。33
CX 1064の発売は61年1月, ZL 3002は61年4
月の発売であった。

(訂正・削除)

1948年11月のベートーヴェン/交響曲第5
番のⒽLPのうち, 33WC 517を削除いたします。

トヴェングラーの衝突を伝えた。この事件以
降57年4月まで, カラヤンとVPOの関係が
とだえた。K.フェリアーとの共演はこのパ
ハ・フェスティバルの。



▲FO 1046(パッハ/マタイ受難曲)

○パッハ/ミサ曲短調BWV.232

■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S),
キャスリーン・フェリアー(A), ヴァ
ルター・ルートヴィヒ(T), アルフレ
ート・ベル(Br), パウル・シェフラー
(Bs), ウィーン楽友協会cho., ウィ
ーンso.

▶1950年6月16日ウィーン, ムジークフ
ェライン・ザール

Ⓗ CD: WCF 4006-7

Ⓖ CD: Foyer 2CF 2022, Verona 27073-
4, HUNT 2CDKAR 212

(部分)

Ⓗ CD: TOCE 6872-6

Ⓖ CD: Verona 27076, CDM 763 655-2,
CMS 763 790-2

※EMIの「シュヴァルツコップ未発売集」の中
に3つの部分が収録されたがVPOと誤記し
ている。またレコーディング・エンジニアにア
ンソニー・グリフィスの名がある。



▲2CF 2022(パッハ/ミサ曲短調)

○モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」
K.492

■エリーヒ・クンツ(Br:フィガロ), イル
ムガルト・ゼーフリート(S:スザ
ンナ), マルジャン・ルース(Br:バルト
ロ), エリーザベト・ヘンゲン(Ms:
マルチェリーナ), セーナ・ユリナツ
(S:ケルビーノ), ジョージ・ロンド
(Bs:アルマヴィーヴァ伯爵), エリ
ザベト・シュヴァルツコップ(S:
伯爵夫人), ヴィルヘルム・フェルデ
(Bs:アントニオ), ヒルデ・チエスカ
(S:若い娘), アンニ・フェルベルマ
イア(S:若い娘), ロスル・シュヴェ
イガー(S:S:バルバリーナ), エーリッ
ヒ・マジュクト(T:ドン・バジリオ/

Ⓔ ウォルター・レック
Ⓖ 2EA 143332

○バルトーク/弦楽器, 打楽器とチェレ
スタのための音楽Sz.106

■フィルハーモニアo.

▶1949年11月29~30日ロンドン, キング
ズウェイ・ホール

Ⓔ ウォルター・レック

Ⓖ CHA 10675-82 || XA 95-6

Ⓗ LP: ZL 48, EAC 37020-38

Ⓖ SP: LX 1371-4, LX 8781-4

LP: ML 4456, 33FC 1012, 33QC 503
2

CD: CMS 763 464-2

○Ⅴパッハ/マタイ受難曲BWV.244(ハ
イライト)

■ヴァルター・ルートヴィヒ(T), エリ
ザベト・シュヴァルツコップ(S),
エリーザベト・ヘンゲン(A), ハンス
・ブラウン(Br), カール・シュミット
・ワルター(Bs), ミヒエル・トール(ナ
レーション), ヴィリー・ボスコフスキ
(vn), アントン・ハイラー(vr) ハン
ス・カーメシュ(ob), フランツ・シュツ
ツ(org), ウィーン少年cho., ウィ
ーンcho., ウィーンpo., エルンスト・マリ
シュカ(監督)

▶1949年11月ウィーン

※パッハ・イヤー(没200年)を記念して作ら
れた映画。演奏者は一切登場せず, 数々の泰
西名画によってつづられている。モノクロ95
分。

○チャイコフスキー/交響曲第6番短
調作品74「悲愴」

■ウィーンpo.

▶1950年5月

Ⓗ LP: Joker SM 1349, WG Records W
G 30006

※演奏データが存在しない。カラヤン指揮と
するにははた疑問が残る。

○パッハ/マタイ受難曲BWV.244

■イルムガルト・ゼーフリート(S), キ
ャスリーン・フェリアー(A), ヴァル
ター・ルートヴィヒ(T), パウル・シ
ェフラー(Bs), ヴァルター・ベリ(Bs),
オットー・エーデルマン(T), エーリ
ッヒ・カウフマン(T), オットー・ウ
ィーナー(Br), アンニ・フェルバー
マイア(S), フリードリヒ・ワール(T),
ハルダウ・ブレイクルヘフ(Bs), ギゼ
ラ・ラートハウエル(A), ロールス
・シュテルバ(A), マクダレナ・シュ
トヴァッサー(A), アイロス・フォー
ラー(org), アントン・ハイラー(org),
ウィーン楽友協会cho., ウィーンso.

▶1950年6月9日ウィーン, ムジークフ
ェライン・ザール

Ⓗ CD: WCF 4003-5

Ⓖ LP: Foyer FO 1046

CD: Foyer 3CF 2013, Verona 27070
-2, HUNT 3CDKAR 211

(部分)

CD: Verona 27076

※パッハ没後200年の国際パッハ・フェス
ティバルのライブ。この演奏会の指揮は最初
フルトヴェングラーに依頼されたが, その返
答を長い事保留にされたためカラヤンとの録
音に入った。演奏会の2週間前になってフル
トヴェングラーはVPOとの定期でこの曲を
とら上げたいと通告してきたが, どうするこ
ともできなかった。アメリカの「タイム」誌
は「ウィーンの会戦」と題してカラヤンとフル

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

ヘルベルト・フォン・カラヤン



指揮者
オーストリア
1908.4.5~1989.7.16

第1期
第4回



《ニュルンベルクのマイスタージンガー》の祝賀上演のため美しく飾りつけをされた貴賓席につくヒットラーと来賓たち(1939年6月2日ベルリン国立歌劇場)

潰滅状態の首都ベルリンで四五年二月まで指揮活動 佐々木豊——著

赤薇薔伝説

一九三九年六月一日、国賓としてベルリン入りしたユーゴスラヴィアのパヴレ摂政殿下とオルガ王女夫妻のために総統ヒットラーは得意満面に自ら市内を案内してまわった。折から国立歌劇場ではワーグナーの楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》を総支配人ハインツ・テューチェンの演出で準備しており、翌二

日の金曜日を非公開にして特別上演会をもった。指揮はわずか九か月前にデビューしたばかりの新進気鋭のヘルベルト・フォン・カラヤンが起用された。(カラヤンののちの発言によるとヒットラーとの出会いは生涯で一度だけで、この時握手したという。)多数の軍首脳や政・財界の要人が夫人同伴で招待された。華々しい席になるはずのこの日の国立歌劇場で、ある事件が起こったとされる。

ハンス・ザックス役のルドルフ・ボツケルマンはひどく体調が悪く、歌い出しが不正確で、また途中で自分のパートがわからなくなりとはしとばし歌いオーケ

ストラもこれにあわせざるをえなくなり、混乱の寸前までになったという。ヒットラーはこれを暗譜で上演する若い指揮者のせいだと考えた。そして今後再びカラヤンの指揮するオペラを見ないと声明し、暗譜せずには譜面をみて指揮するようにと命じたのであった。

総統命令により次の公演から、いつもはあるはずのない譜面台が持ち込まれその上には分厚い総譜が置かれた。ところがその総譜の上には一輪の赤い薇薔がのせられていた。それは熱心なファンからの贈り物などではない。薇薔をどけなければ譜面を開くことができないわけだから、最初から譜面をみるつもりがないとカラヤンの強い意志表示であった。次の公演でも譜面台の総譜の上には一輪の赤い薇薔が置かれた。その次の公演もそうであった。カラヤンが指揮するオペラの演奏会には、いつも赤い薇薔があった。聴衆は開演前の譜面台の赤い薇薔をみつめてはカラヤンが暗譜で指揮することを知り実力者の台頭をよろこんだ。もちろん総譜はいつも一頁も開かれることがないままであった。そしていつの日か総譜が消え譜面台には赤い薇薔だけが残った。そしてしばらくしてのち、その赤い薇薔も譜面台とともに消えたという。のちに『赤薇薔伝説』といわれる話である。

このカラヤンとヒットラーの唯一の接点は戦後の「非ナチ化委員会」で重要な証言として採用された。アメリカの文化政策担当ヘンリー・C・アルタートのメモ書きによると、この《マイスタージンガー》の出来事を一九四〇年とする。しかし、この事件がもし本当であったとすれば、種々の資料からして三九年六月である。カラヤンがナチの党員であったことは疑いもない事実だが、この事件以降ヒットラーに疎んじられていたというのは重要な点であった。しかし『赤薇薔伝説』のほうは後の伝記作家達の潤色なのかもしれない。実際にあったことではないのかもしれないが、ワーグナーのような長大なオペラを暗譜でそのむ新進指揮者の人気は、このような伝説を生み出し、その名声は実力とともに急上昇していったのだろう。

三八年九月三十日より四二年二月一日までの四シーズン、国立歌劇場でカラヤンは六つのオペラを指揮する。《フィデリオ》(十六回)、《トリスタンとイゾルデ》(九回)、《魔笛》(二十三回)、《カレールの市民》(六回)、《ニュルンベルクのマイスタージンガー》(十回)、《エレクトラ》(十二回)。また、四一年—四二年のシーズンには《カルミナ・ブラーナ》を九回指揮し、巨匠が君臨するベルリン楽壇で確固

空白の五年間

たる地位を築くこととなる。

この期間を含んで四〇年から四五年までの五年間、公式な経歴書・年譜は空白の時間を生じる。意図的にこの間のプログラムが公表されなかったのかどうかかわからないが、どの伝記でも触れられていない。ここでベルリン国立歌劇場管弦楽団と年六回行われた「日曜コンサート」のプログラムを別表のようにまとめてみた。国立歌劇場アルヒーフの計らいでフンボルト大学にある資料を複写して送ってもらったものである。演奏当日になっても曲目の変更などがあつたかもしれない

〔ベルリン国立歌劇場でのレパートリー〕

■1938-39

9/30, 1/19, 2/24, 4/20, 5/15, 6/3
10/21, 11/9, 3/19
12/18, 23, 26, 1/1, 17, 22
2/5, 16, 23, 3/11, 4/15, 28, 5/16
1/28, 2/3, 7, 15, 3/20, 4/17
6/2, 9
《フィデリオ》
《トリスタンとイゾルデ》
《魔笛》
《魔笛》
《カレーの市民》(ワーグナー=レゲニー)
《ニルンベルクのマイスタージンガー》

■1939-40

10/1, 21, 11/5, 12/1, 1/2, 15, 4/4
10/5, 15, 3/10
11/11, 12/25, 4/6, 6/14
1/17, 2/4, 3/30
2/18, 24, 3/14, 4/2, 28, 5/31, 6/11
《フィデリオ》
《トリスタンとイゾルデ》
《ニルンベルクのマイスタージンガー》
《魔笛》
《エレクトラ》

■1940-41

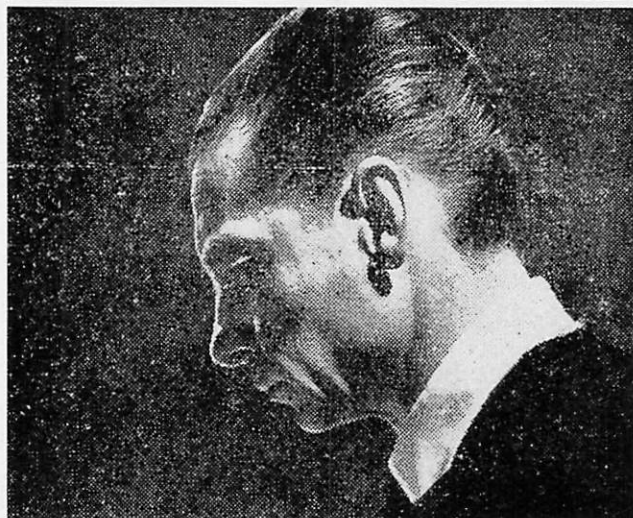
10/6, 11/7, 12/4
10/13, 11/1, 28
12/29, 1/3
2/13
《フィデリオ》
《エレクトラ》
《魔笛》
《ニルンベルクのマイスタージンガー》

■1941-42

10/5, 11/16, 1/22
10/7, 11/13
10/15, 11/2, 2/1
11/5, 21, 12/6, 25, 1/15
《ニルンベルクのマイスタージンガー》
《エレクトラ》
《トリスタンとイゾルデ》
《魔笛》

が、その全貌をはじめて知ることが出来る。フルトヴェングラーの同時期のベルリン・フィルとのレパートリーと比べてみると、いかに両者がお互いを意識し對抗心をあらわにして、この間のベルリン楽壇でしるぎをけずっていたかが読みとれる。途中四一年四月十日のベルリン空襲で国立歌劇場が焼失し、カラヤンの方のシリーズは暫定的にフィルハーモニーで行われるようになるが、この時フルトヴェングラーは猛烈に反対したと伝えられている。

この空襲の少し前、ベルリン国立歌劇場管弦楽団のローマ客演中アーヘンではカラヤンの解任を決めた。翌四二年四月二十一日と二十二日の《マタイ受難曲》をもって「アーヘン時代」は終わる。それと時を合わせたように、ベルリン国立歌劇場でのカラヤンの出番は突然なくなる。このへんの事情を説得力をもって詳しく語る資料は見当たらない。その後、ミラノ・スカラ座管弦楽団、トリノ放送交響楽団、アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団、ルーマニアのブカレスト・フィルハーモニー、さらにバリ放送管弦楽団などを指揮したことが記録として残っている。また、最近のある資料では、この時期ドレスデン国立歌劇場とカラヤンが交渉をしたことが判明している。しかしドレスデンには他の指揮者が赴いた。順調に進んで来たこれまでの生涯で最初で最大の壁との出会いであつた。こ



急進期のカラヤンに大きな壁がたちはだかる。1942年春、突然にベルリンでの全ての仕事がちり切れる。

さらに、この期間の演奏会の録音が存在してもよさそうなのだが、一部のニユース・フィルムの中で断片的に指揮する映像があるほか、いまだに公になっていない。技術的には十分録音が可能な時期である。最近ソヴィエトよりドイツに返還された戦中の帝国放送局の一四六二本のテープ・ライブラリーの中には、カラヤンの指揮のものが多数あるとされる。もし存在するのなら一日も早い公開を関係者にお願する次第である。

米・英空軍の空襲は集中して首都ベルリンを目標にし、潰滅状態の町にさらに爆弾が投下された。四四年の十月のブルックナー八番の演奏会では、演奏の途中で空襲警報が鳴り、聴衆もオーケストラも一時防空壕へ退避し、警報解除ののち

Im Beethovenaal
Sonntag, den 18. Februar 1945, 15,30 Uhr
Preußische Staatskapelle
Konzert

Leitung: Herbert von Karajan

Carl Maria v. Weber: Ouvertüre zu „Der Freischütz“
Robert Schumann: Sinfonie Nr. 4 d-moll

Pause

Wolfgang Amadeus Mozart: Haffner-Sinfonie K. 385
Richard Strauss: Till Eulenspiegels lustige Streiche

戦中前期の演奏会(45年2月18日)の予告プログラム(提供:ベルリン国立歌劇場アルヒーフ)

第三章より演奏が再開されたという話もある。

再度焼失した国立歌劇場にかえてペー
ト・ヴェン・ザールで最期の演奏会が行
われたのは四五年の二月十八日であった。
従来の説では、カラヤンのベルリン脱出
は四四年十二月とされてきたが、フンボ
ルト大学の資料により、フルトヴェン
ラーの最期のベルリン演奏会（二月二十
三日）よりもさらにあとで大戦中の最期
の演奏会が持たれたのであった。

最期のベルリン攻防戦で『奇蹟の人』
を書いたファン・デア・ニールは戦死す
る。カラヤンの伝記なり経歴を振り返
るとき、決して忘れることの出来ない人物
が何人かいるのだがニールもその一人で
ある。ニール未亡人は戦後も長らくベル
リンに住居をもち続けた。夫が亡くなっ
た場所というほかに、勝手な推測が許さ
れるなら、『奇蹟の人』を自身で見続け
たかったのではないだろうか。新しいフ
イルハーモニーへ夫人が出向いたかどう
かは、わからないが『奇蹟』はいつまでも
続いた。

四五年五月一日、ドイツとそれとかか
わる人々にとって『暗転の日』をむかえ
る。戦争はどちらの側の人々にとっても
悲惨な結末をもたらす。この少しまえ、
カラヤンはアニータ夫人を伴って、空路
イタリアへ脱出することに成功する。

次回より、ハンスヤー・コプ・クレバ
ー著『指揮棒の魔術師——ヘルベルト・
フォン・カラヤン』第6章「職をなくし
た男」が始まり、戦後の軌跡をたどりま
す。どうぞ御期待下さい。

〔ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮におけるベルリン国立歌劇場の「日曜コンサート」のプログラム〕

●1940-41

- ①10/20-21 ケルビーニ/歌劇「アナクレオン」序曲、Rシュトラウス/交響詩「ツアラトゥストラはかく語りき」、ブラームス/交響曲第1番
- ②11/10-11 ヘンデル/合奏協奏曲第12番、ドヴォルザーク/ヴァイオリン協奏曲（ゲオルグ・クーレンカンプ）、チャイコフスキー/交響曲第4番
- ③12/8-9 ボルク/交響的前奏曲（初演）、グリーグ/ピアノ協奏曲（アルトゥール・ベネデッティ・ミケランジェリ）
ベートーヴェン/交響曲第7番
- ④ 1/5-6 フランク/交響曲、ハイドン/交響曲第9番、レスピーギ/交響詩「ローマの松」
- ⑤ 2/9-10 ロカテルリ/合奏協奏曲第10番、ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番（フルター・ギーゼキング）
モーツァルト/ディヴェルティメント第15番K287、Rシュトラウス/交響詩「死と変容」
- ⑥ 5/3-4 グルック/歌劇「アルチェステ」序曲、ブルックナー/交響曲第8番

●1941-42

- ①10/12-13 クナーク/交響的前奏曲、フランク/交響的変奏曲（コンラート・ハンゼン）、ブルックナー/交響曲第7番
- ②11/9-10 ラッシュ/トッカータ、シューベルト/交響曲第8番「未完成」、Rシュトラウス/交響詩「ドン・キホーテ」（エンリコ・マイナルディ）
- ③11/23-24 モーツァルト/交響曲第40番、ピアノ協奏曲第20番（エドウィン・フィッシャー）、交響曲第41番「ジュピター」
（12/20, 22, 1/2, 14, 20, 26, 2/6, 19, 3/23 オルフ「カルミナ・ブラーナ」）
- ④ 1/18-19 ベートーヴェン/ミサ・ソレムニス（ティラ・ブリーム、マルガレーテ・クローゼ、ヴァルター・ルートヴィヒ
フレッド・ドリッセン、アーヘン市立合唱団）
- ⑤ 2/8-9 シベリウス/交響曲第1番、ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲第1番（ジョコンダ・デ・ヴィート）、リスト/交響詩「前奏曲」
- ⑥ 2/22-23 ジェミニアーニ/合奏協奏曲、ヴィスキ/謎、ブラームス/交響曲第2番

●1942-43

- ①10/18-19 ベートーヴェン/「エグモント」序曲、ピアノ協奏曲第3番（エドゥアルト・ヘルシャー）、交響曲第3番「英雄」
- ②11/29-30 バッハ/4台のピアノのための協奏曲、ブルックナー/交響曲第5番
- ③ 1/24-25 ヘルガー/「オイゲン公の物語」、ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」、コダーイ/「ハリー・ヤーノシュ」組曲
ヴェルティ/歌劇「運命の力」序曲
- ④ 2/14-15 Rシュトラウス/交響詩「ドン・ファン」、モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第4番（ジークフリート・ボリス）
シューマン/交響曲第4番
- ⑤ 4/18-19 シベリウス/交響曲第4番、ハイドン/チェロ協奏曲（ルートヴィヒ・ヘルシャー）、スメタナ/交響詩「高い城」「モルダウ」
- ⑥ 5/9-10 バッハ/ブランデンブルク協奏曲第2番、ハイドン/交響曲第103番「太鼓連打」
レーガー/モーツァルトの主題による変奏曲とフーガ、ワーグナー/歌劇「タンホイザー」序曲

●1943

- ①11/7-8 バッハ/管弦楽組曲第3番、モーツァルト/協奏交響曲K.297b、ベートーヴェン/交響曲第5番
- 12/5-6 ハイドン/交響曲第94番、ワーグナー/楽劇「トリスタンとイゾルデ」前奏曲と愛の死
ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲第1番（ジークフリート・ボリス）、ウェーバー/歌劇「オベロン」序曲

●1944

- 10/4-5 ブルックナー/交響曲第8番
- 10/8 ブルックナー/交響曲第8番
- 11/1-2 ウェーバー/歌劇「オイリアンテ」序曲、シューマン/ピアノ協奏曲（フルター・ギーゼキング）、ブラームス/交響曲第4番
（室内演奏会）テュール/六重奏曲
- 11/3
- 12/4-5 モーツァルト/フリーメーソンのための葬送音楽、ベートーヴェン/「コリオラン」序曲、交響曲第6番「田園」

●1945

- 2/18 ウェーバー/歌劇「魔弾の射手」序曲、シューマン/交響曲第4番、モーツァルト/交響曲第35番「ハフナー」
Rシュトラウス/交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」

ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 [資料提供: デイヴィッド・C・ラム (イギリス)]

[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(〔P〕)、ディレクター(〔D〕)、レコーディング・エンジニア(〔E〕)、マトリックス番号(〔M〕)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の〔V〕は映像作品を示す。
- レコード番号はS P、E P、L P(10インチを含む)、C D、L Dの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L P期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータを付した。
- オペラ全曲盤よりのアリアー曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

L P : ML 4536, ML 4885, ML 4431,
1C 047 01 363

◎ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番 変奏長調作品73「皇帝」

■ワルター・ギーゼキング(p), フィル
ハーモニアo.

▶1951年6月8~9日ロンドン, キング
ズウェイ・ホール

〔P〕ウォルター・レグ

〔E〕ダグラス・ラター

〔M〕CXA 11134-42 || XAX 131-2

〔L〕P : XL 5003, EAC 37001-19

〔S〕P : LCX 5008-12

L P : 33CX 1010, ML 4623, 32 16 0029,
33QCX 135, 33FCX 135, 33VCX
507, C 90295, 33WCX 1010, 1C
153 52 425-31 3C 153 52 425-
31

◎ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第4番 ト長調作品58

■ワルター・ギーゼキング(p), フィル
ハーモニアo.

▶1951年6月9日, 11日ロンドン, キン
グズウェイ・ホール

〔P〕ウォルター・レグ

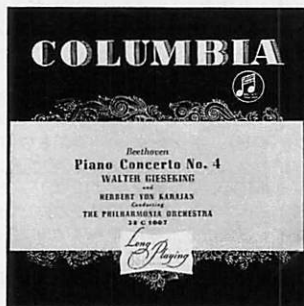
〔E〕ダグラス・ラター

〔M〕CAX 11155-62 || XA 129-30

〔L〕P : XL 2004, RL 3092, AB 7058, EA
C 37001-19

〔S〕P : LX 1443-6, LX 8831-4, GQX 11
493-6

L P : 33C 1007, ML 4535, 32 16 0371,
C 70085, C 91244, 33FC 1014,
1C 153 52 425-31, 3C 153 52
425-31, 33QCX 10499, 33VC 804,
33QC 1012, 33WC 1007, 33WC
598



▲33C 1007(ベートーヴェン ピアノ協奏曲第4番)

◎モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番イ

の長), ウィーン音楽師範cho, ウィー
ン楽友協会cho., ウィーンso.

▶1951年2月3日ウィーン, ムジークフ
ェライン・ザール

〔S〕C D : HUNT 2CDKAR 205

(部分)

C D : Licenza Nuova Era NS HVK 1
09

※ムジークフェラインで行なわれた演奏会形
式のコンサートライヴ。



▲2CDKAR 205(ヴェルディ「アイダ」)

◎グリーグ/ピアノ協奏曲イ短調作品16

■ワルター・ギーゼキング(p), フィル
ハーモニアo.

▶1951年6月6日, 11日ロンドン, キン
グズウェイ・ホール

〔P〕ウォルター・レグ

〔E〕ダグラス・ラター

〔M〕XA 127-8

〔L〕P : ZL 69, WL 5017, AB 7018, AB
7069, AB 8061, EAC 37001-19

〔S〕P : LX 1503-6S, LX 8888-91

L P : 33C 1003, ML 4885, ML 4431,
33QCX 10239, C 70083, C 9123
4, 33WCX 1003, 1C 047 01 3
63, 1C 047 00 770, 1C 153 52 4
25-31, 3C 153 52 425-31, 33QC
1008, 33FC 1008, 33FCX 284, 33
VC 801, 33FC 25075, SMVP 80
54

◎フランク/ピアノと管弦楽のための交 響的変奏曲

■ワルター・ギーゼキング(p), フィル
ハーモニアo.

▶1951年6月7日ロンドン, キングズウ
ェイ・ホール

〔P〕ウォルター・レグ

〔E〕ダグラス・ラター

〔M〕CAX 11130-3

〔S〕P : ZE 95-6

L P : BRC 8025

〔S〕P : LX 8937-8, LCX 5000-1

◎モーツァルト/歌劇「魔笛」K.620

■アントン・デルモータ(T:タミーノ),
セーナ・ユリナッチ(S:第1の侍女),
フリードル・リーグラー(S:第2の侍
女), エルザ・シュールホフ(S:第3
の侍女), エーリヒ・クンツ(B:パ
バゲーノ), ヴィルマ・リップ(S:夜
の女王), ベーター・クライン(T:モ
ノスタス), イルムガルト・ゼーフリ
ート(S:パミーナ), ヘルミーネ・シ
ュタインアッス(S), エレノーレ・
テルビンガルス(Ms), アンネリース・
シットウックル(A), ジョージ・ロン
ドン(Bs-Br:弁者), エーリヒ・マイ
クート(T:第1の僧侶), ハラルト・
ブレグラーホフ(Br:第2の僧侶), ルー
トヴィヒ・ウェーバー(Bs:ザラスト
ロ), リュボミール・パンチェフ(Bs:
武士), エミー・ローゼ(S:パバゲー
ナ), ウィーン楽友協会cho., ウィーン
po.

▶1950年11月2~3日, 6~9日, 13~
16日, 20~21日ウィーン, ムジークフ
ェライン・ザール

〔P〕ウォルター・レグ

〔E〕ロバート・ベケット

〔M〕XHAX 51-6

〔L〕P : WL 5032-4, AB 9341-3

C D : CE30 5462-3

[ハイライト]

L P : RL 3069

[序曲]

L P : EAC 30112

〔S〕P : LWX 426-44

L P : 33CX 1013-5, 33FCX 150-2, 33
QCX 150-2, C 90296-8, 1C 197
542 00-8, 2C 163 01 663-5, 33
WCX 1013-5, 33VCX 508-10, 1
C 147 01 663-5, ML 4446, SL
115, SLS 5052

C D : CHS 769 631-2

[ハイライト]

L P : 33CX 1572, RLS 684, 33FCX 30
172, C 80532, 1C 147 03 580-1,
33WSX 549, RLS 764, EX 29 1
056-3

[序曲]

E P : C 41146

※セリフを除いての録音。

◎ヴェルディ/歌劇「アイダ」

■アロイス・ベルネルシュトルファー
(Bs:エジプト王), ネル・ランキン (Ms
:アムネリス), カルラ・マルティニス
(S:アイダ), ロレンツ・フェー
ンバーガー(T:ラダメス), マリオ・
ベトリ(Bs:ランフィス), ジョヴァン
ニ・マラスピーナ(Br:アモナスロ),
フリッツ・シュベールパウアー(T:
使者), ヒルデ・フォーラー(S:巫女

アルトラウテ), バイロイト祝祭cho.,
ウィルヘルム・ビッツ(合唱指揮), バ
イロイト祝祭o.

▶1951年8月15日バイロイト祝祭大劇場

□ウォルター・レグ

□ロバート・ベケット

○ワグナー/楽劇「ニュルンベルクの マイスタージンガー」

■オットー・エーデルマン(Bs: ハンス
・ザックス), フリードリヒ・ダール
ベルク(Bs: ボーグナー), エーリヒ
・マイクート(T: フォーゲルゲザン
ク), ハンス・ベルク(Bs: ナハティガ
ル), エーリヒ・クンツ(Br: ベック
メッサー), ハインリヒ・プフランツ
ェル(Bs: コートナー), ヨゼフ・ヤン
コ(T: ツォルン), カール・ミコライ
(T: アイスリンガー), ゲルハルト・
シュトルツェ(T: モーザー), ハイン
ツ・タンドラー(Bs: オルテル), ハイン
ツ・ポルスト(Bs: シュワルツ), アル
ノルト・ヴァン・ミル(Bs: フォルツ),
ハンナ・ホップ(T: ヴァルター), ゲ
ルハルト・ウンガー(T: ダヴィット),
エリーザベト・シュヴァルツコップ(S
: エヴァ), イーラ・マラニウク(Ms:
マダレーナ), ウェルナー・ファウル
ハーバー(Bs: 夜警), バイロイト祝祭
cho., ウィルヘルム・ビッツ(合唱指揮)
バイロイト祝祭o.

▶1951年8月21日, 24日(7月27日, 8
月5日, 16日, 19日) バイロイト祝祭
大劇場

□ウォルター・レグ

□ロバート・ベケット

■XR 17-26

■LP: XL 5013-7, EAC 77147-51

■SP: LX 1465-98, LX 8851-84

LP: 33CX 1021-5, RLS 7708, SL 11
7, 1E 6030, 33FCX 128-33, 33VCX
X 523-7, C 90295-9, 33WCX 50
1-5, 1C 151 43 390-4, RLS 143
3903

CD: CHS 763 500-2, HUNT CDKAR
224

[部分]

SP: LVX 190-1, LWX 1506-7

LP: 1C 147 03 580-1

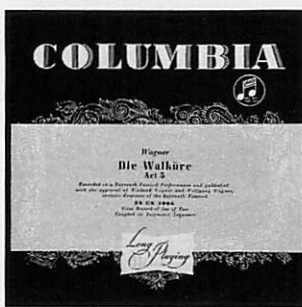


▲C 90295-9(ワグナー/「ニュルンベルクのマイスタージン
ガー」)

[訂正]

第1回目のディスコグラフィ中, 1932年2
月のヴェルディ/歌劇「運命の力」序曲のド
イツ・ポリドールのSP初出番号を67466に
訂正いたします。たび重なる誤記をお詫び申
上げます。また10月号の目次のうち, 名演
家ディスコグラフィ ヘルベルト・フォン
・カラヤン(2)は(3)の誤りです。

LP: 33CX 1005-6, SL 116, 33FCX 1
11-2, 33QX 111-2, 33WCX 50
6-7, 33WCX 1005-6, C 90280-1,
33VCX 501-2, 1C 181 03 035-6



▲33CX 1005-6(ワグナー/「ワルキューレ」第3巻)

○ワグナー/楽劇「ジークフリート」

■ベルント・アルデンホフ(T: ジーク
フリート), パウル・キュン(T: ミー
メ), ジーグルト・ビョルリンク(Br:
: さすらい人), ハインリヒ・プフラン
ツェル(Bs: アルベリヒ), フレデリッ
ク・ダルバーク(Bs: ファフナー), ル
ート・ジーヴェルト(A: エルダ), ア
ストリッド・ヴァルナイ(S: ブリュ
ンヒルデ), ヴィルマ・リッパ(S: 森
の小鳥の声), バイロイト祝祭cho.,
ウィルヘルム・ビッツ(合唱指揮), バ
イロイト祝祭o.

▶1951年8月13日バイロイト祝祭大劇場

□ウォルター・レグ

□ロバート・ベケット

■LP: Foyer FO 1004

CD: Melodram MEL 46106, HUNT
3CDKAR 209

[部分]

LP: Foyer FO 1000, Foyer FO 1034

CD: Melodram MEL 27044



▲FO 1004(ワグナー/「ジークフリート」)

○ワグナー/楽劇「神々の黄昏」

■アストリッド・ヴァルナイ(S: ブリ
ュンヒルデ), マルタ・メードル(S:
第3のノルン), ヘルタ・テッパ(A:
: フロースヒルデ), エリーザベト・シ
ュヴァルツコップ(S: ヴォークリン
デ), ハンナ・ルートヴィヒ(A: ヴェル
グンデ), ルート・ジーヴェルト(Ms:
第1のノルン), イーラ・マラニウク(Ms:
第2のノルン), ベルント・アルデンホ
フ(T: ジークフリート), ヘルマン・
ウーデ(Br: グンター), ハインリヒ・
プフランツェル(Bs: アルベリヒ), ル
ートヴィヒ・ウェーバー(Bs: ハーゲ
ン), エリーザベト・ヘンゲン(Ms: ヴ

長調K.488

■ワルター・ギーゼキング(p), フィル
ハーモニアo.

▶1951年6月10日ロンドン, キングズウ
エイ・ホール

□ウォルター・レグ

□ダグラス・ラター

■CAX 11163-9 || XA 155-6

■LP: XL 2007, ZL 112, EAC 37001-
19

CD: TOCE 7324-5

■SP: LX 1510-3S, LX 8894-7

LP: 33C 1012, ML 4536, 32 16 0371,
33FC 1013, 33FC 25072, 33FCX
30003, C 70087, 33WC 1012, 33Q
C 5009, 720 033, 3C 153 52 425
-31, RMD 1001

CD: CHS 763 709-2

○ワグナー/楽劇「ラインの黄金」

■ジーグルト・ビョルリンク(Br: ヴォ
ータン), イーラ・マラニウク(Ms: フ
リッカ), ウェルナー・ファウルハーバ
(Bs: ドンナー), ヴォルフガング・
ヴィントガッセン(T: フロー), ワル
ター・フリッツ(T: ローゲ), パウラ
・ブリフカルネ(S: フライア), ルー
トヴィヒ・ウェーバー(Bs: ファゾル
ト), フレデリック・ダルバーク(Bs:
ファフナー), ハインリヒ・プフランツ
ェル(Bs: アルベリヒ), パウル・キュ
ン(T: ミーメ), ルート・ジーヴェルト
(A: エルダ), エリーザベト・シ
ュヴァルツコップ(S: ヴォークリンデ),
ローレ・ウィスマン(S: ヴェルグン
デ), ヘルタ・テッパ(Ms: フロース
ヒルデ), バイロイト祝祭cho., ウィ
ルヘルム・ビッツ(合唱指揮), バイロ
イト祝祭o.

▶1951年8月11日バイロイト祝祭大劇場

□ウォルター・レグ

□ロバート・ベケット

■LP: Melodram MEL 516

CD: Melodram MEL 26107, HUNT
2CDKAR 216

[部分]

LP: Melodram MEL 088

○ワグナー/楽劇「ワルキューレ」第3 幕

■ジーグルト・ビョルリンク(Br: ヴォ
ータン), レオニー・リザネク(S: ジ
ークリンデ), アストリッド・ヴァルナイ(S:
: ブリュンヒルデ), ブリュンヒルト・フリー
トラント(S: ゲルヒルデ), リーゼロ
ット・トマミューラ(S: ヘルムヴィ
ーゲ), エルフリーデ・ヴィルト(S:
ヴァルトラウテ), ルート・ジーヴェルト
(A: シュヴェルトライテ), エレノ
ア・ラウシュ(S: オルトリンデ), ヘル
タ・テッパ(A: ジークルーネ), イ
ーラ・マラニウク(Ms: グリムゲル
デ), ハンナ・ルートヴィヒ(A: ロス
ヴァイゼ), ギュンター・トレプトウ(T:
: ジークムント), アルノルト・ヴァン
・ミル(Bs: ファンディング), エリーザ
ベト・ヘンゲン(Ms: フリッカ), バ
イロイト祝祭cho., ウィルヘルム・ビ
ッツ(合唱指揮), バイロイト祝祭o.

▶1951年8月12日バイロイト祝祭大劇場

□ウォルター・レグ

□ロバート・ベケット

■CAX 11287-302 || XR 1-4

■LP: XL 5001-2, EAC 60215-6

■SP: LX 1447-54, LX 8835-42

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

ヘルベルト・フォン・カラヤン



尋問

連載「指揮棒の魔術師」第六章・職をなくした男①

ハンスヤーコフ・クレバー著 高橋みき訳・注釈

その尋問は二時間半にも及んだ。それは、ザルツブルクのモーツァルテウムの事務所としてはつましくしつらえられたとある一室で、二人の尋問者により行なわれていた。一九四六年六月十八日火曜日の午後のことであった。ほんの一週間前にアメリカからウィーンに到着したばかりの非ナチ化将校、エルンスト・ロ

タール（注一）陸軍中佐は当時三十八歳のヘルベルト・フォン・カラヤンを自分のもとに召喚したのだ。その理由としては、この年のザルツブルク音楽祭が祝祭大劇場において、第二次大戦後初めて招聘されたウィーン・フィルの楽団員達と共にいかなる状況のもとであれ開催されねばならぬという、アメリカ占領軍からの命令があつたからである。また当音楽祭については、いわゆるブラックリストに挙げられたかつての「ナチ黨員」抜きで行なわれなければならないという旨も命じられていた。このリストには、ヘルベルト・フォン・カラヤンの名前も記されていたのだ。

この背景には、一九四五年九月にウィーンで連邦歌劇場事務局長に就任した、エーゴン・ヒルベルト博士の存在があつた。彼は、オペラに対してはまさしくほとばしるような情熱家であつた。ヒルベルトはプラハの大使館で文化広報担当官の地位にあつたが、ナチスは彼を逮捕し、ダッハウ強制収容所へ入れたのだ。そこには、後にオーストリア第二共和制の初代連邦首相となつたレオポルト・フイーグル博士も収容されてゐた。彼はヒルベルト博士に約束した。「もしもナチ体制が崩壊し、我々がこの地獄を生き延び、オーストリアがかつてのように再建

されれば、エーゴンその時には君が歌劇場を監督する地位に就けるよう私が配慮しよう」と。そして、その約束は果たされたのである。

ヒルベルトは燃えるような情熱で、彼の課題に打ち込んでゐた。（九年後にはウィーン国立歌劇場の最大のスキヤンダルにまで発展してしまうことになるのだが。）けれども現時点ではまだ、国立歌劇場とザルツブルク音楽祭を手始めにすぎなかつた。ヒルベルトはフォン・カラヤンを問い質し、この類まれな才能に恵まれた指揮者が「白紙」であることを知つた。ともかく彼がかつてナチス黨員であつたかどうか、また彼が後に陳述したように、ユダヤ人の血を四分の一受け継いだアニータとの結婚によつて同党を脱退したかどうかなど、もはやどうでもよいことであつた。「奇蹟の人」は、今こそザルツブルク音楽祭へ赴かねばならないのだ。そして、かつて強制収容所の囚人だつたヒルベルトは、オーストリア人へルベルト・フォン・カラヤンのために頼もしくふるまつたのだ。

アメリカの陸軍中佐エルンスト・ロタール博士は、あわてふためいてザルツブルク入りした。彼はウィーンで上司から既に何週間も前からオペラ「ばらの騎士」（ドン・ジョヴァンニ）「フィガロの結婚」

の用意に余念がなかつた、このカラヤン（Karadain）を呼び出してその過去について尋問せよとの、指示を受けていたのである。

ロタールは尋問を始めるにあたり、七十四歳のハインリッヒ・フォン・ブトン男爵に取りつぎを依頼した。ブトン男爵は、オーストリア帝室並びにハンガリー王室の退役将軍であり、一九二六年以来（ナチス支配下の三・八・四五年を除いて）ザルツブルク音楽祭総裁であつた。ロタールは、ブトン男爵を以前から知つていた。なぜなら、もつか五十五歳になるアメリカの将校エルンスト・ロタールは三五年から三八年までウィーンのヨーゼフ劇場の監督であつたのであり、実際その間ずっとオーストリアの宮廷顧問官として勤め、ブルク劇場の有名な女優アドリアンネ・ゲスナーと結婚したからである。彼はヒットラーによるオーストリアの「併合」の後、三八年三月二十一日、逃亡しなければならなかつた。ユダヤ人であつたからである。

フォン・ブトン男爵はカラヤンについて、ブラックリストに載せられてゐるという点さえ除けば気にならないということと、ロタールに対し火急の願いを申し入れた。「カラヤンを見逃してやってくれ！彼なしには事実上何もできないのだ



エルンスト・トータル(1952年ザルツブルク)

三、ナチ占領下のバリで、彼がとある演奏会に先立ち「ホルスト・ヴェツセル」

一、ヘルベルト・フォン・カラヤンは、署名者によつて二時間半に及ぶ尋問を受けさせられ、そこで彼の行動に関する一切の事実を言明した。

二、被尋問者カラヤンは、彼に不利な申し立てについて何ら否定しなかった。また彼はナチ黨員になったことについては、当時はまだ若かったため政治的な事柄には無関心であったという口実のもとに申し開きしようとはしなかった。

から。」

エルンスト・ロタールはその尋問の結果について同日付の報告書に簡潔に記したが、彼にとつてカラヤンという名前はウィーンの「カラヤン通り」(注2)に関する曖昧な記憶を除いてはそもそも何の意味も持つてはいなかった。彼は四六年六月十八日に、「支局長」配下の「音楽演劇担当官」という肩書きで「メモ」(注3)を残している。ロタールがその事務所に入つて行つた際、「カインツ」(注4)を思い出させた。その若い男についての記述は次の通りである。

の歌(注5)を指揮したという事実については、それは型通りの進行の一環であつたため何人も拒否できなかったという説明をした。にもかかわらずカラヤンは、それが指揮をする際不可避であつたという点をはつきり認識するよう我々に求め、添付資料からも認められる。彼自身の選択によるコンサート・プログラムを引き合いに出して、彼が何を支持し、また何を支持しなかったのかを明確に示したのだつた。

四、このカラヤンによる説明は私には説得力のあるものとは思われなかったが、被尋問者カラヤンに関する個人的印象から私の考えをまとめると、次のようになる。つまり問題なのは、彼にとつては音楽がその存在そのものであり、彼は音楽に熱狂している気違いじみた人間であるということなのである。カラヤンがいかなる音楽性を持っているかについては、私は彼が指揮するところを一度も見えていないので論評はできない。だが重要なのは、既にブルーノ・ワルターが当時駆け出したカラヤンを地方からウィーン国立歌劇場の客演指揮のため招聘したという事実なのであり、さらには記録のここかしこに明白な、それ以後の彼の活動に関する、ほとんど一貫して熱狂を隠せない専門家の評価であり、最終的には私が彼と話し合ううちに得た印象である。そしてその印象から、途方もなく偉大な才能こそが重要なのであるとの考えにはほだ達したのだつた。

五、政治的帰属は彼は行なっていないし、

その意図もないようだ。記録の中で言及されている指揮者ウィルヘルム・フルトヴェングラーへの敵意については、それ故、政治的な動機によるものではないと思われる。

六、被尋問者に対し言い渡された禁止事項は、連合占領軍委員会が(彼の嫌疑を晴らして)再び許可を与えるまでは解かれることのないよう勧告し、同時に連合占領軍委員会に対し、現況に鑑みた申請ができるだけ速やかになされることを願うものである。

七、それまでの間、ザルツブルク音楽祭開催のためにも、その準備に既に何週間も没頭しているフォン・カラヤン氏に對し、その仕事を妨げるのではなく、政治的に負い目のない著名な音楽家を起用し、「名目上の指揮者」としてカラヤンを助けさせるのは、必要なことであると判断する。

それは許可された。カラヤンは暗くなつた観客席で、その都度の指揮者たち(フィガロの結婚)はフェリックス・プロハスカ、(ドン・ジョヴァンニ)はヨゼフ・クリップス、(ばらの騎士)はハンス・スワロフスキーの周囲を巡り、ヒントを与え目配せをした。そしてついには彼はブロンプターボックスの中で人目に触れず指揮するようになった。(注6)それというのは、(ドン・ジョヴァンニ)と《フィガロの結婚》の上演に際し、初めてイタリア語で歌う独唱者たちのためのイタリア人ブロンプターがミラノ・スカラ座からまだ到着していなかったからである。

(つづく)

(注釈)

(1) (一八九〇—一九七四)オーストリアの作家。一九三三—三八年、ウィーンのヨーゼフ劇場の監督を勤める。三八—四五年、アメリカに亡命。オーストリアハンガリー帝国崩壊後の社会と時代を描き、ザルツブルク音楽祭の監督も勤めた。六一—六八年、ウィーンとハンブルクで選集が刊行された。

(2) ウィーン少年合唱団の寄宿舎のあるアウガルテン宮殿の北側にある通りを指す。これは曾祖父のテオドル・リッター・フォン・カラヤン(一八〇一—七三)の業績に由来する。彼はウィーン大学の古代ドイツ語及び歴史学の教授であり、後に宮廷図書館長・科学アカデミー会長の要職に就いていた。

(3) ロタールによるカラヤンに関する覚書は、一九六〇年ウィーンのパウエル・ツォルナイ書店より「生きのびることの不思議 Das Wunder des Überlebens」と題して刊行されている。

(4) 原著に注が付されていないため確定はできないが、ヨーロッパ劇界に重きをなしたドイツの俳優ヨーゼフ・カインツ(一八五八—一九一〇)のことと思われる。一八九九年ウィーンのブルク劇場に迎えられ、アメリカ・ロシアにも客演し、卓越した演技で一世を風靡した。

(5) 一九二七年に作曲された、ナチ党の政治的闘争歌。作曲者ホルスト・ヴェツセル(一九〇七—三〇)にちなんで各付けられ、三三年第三帝国の進軍歌となつた。

(6) 四六年における音楽祭での、オペラの上演の日付は次のようになる。

《ドン・ジョヴァンニ》 クリップス指揮
八月一・八・二二・三〇日

《ばらの騎士》 スワロフスキー指揮
八月六・一二・一七・二二・二四・二七日

《フィガロの結婚》 プロハスカ指揮
八月十・一六・一九・二六・二九日





ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 [資料提供: デヴィッド・C・ラムボン(イギリス)]



[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(P)、ディレクター(D)、レコーディング・エンジニア(E)、マトリックス番号(M)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の[V]は映像作品を示す。
- レコード番号はSP、EP、LP(10インチを含む)、CD、LDの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- LP期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータを付した。
- オペラ全曲盤よりのアリア一曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

LP: 2C 953 00 723
CD: CMS 763 464-2

②
SP: LX 1599/1602
EP: SCB 116, SCBQ 3059, SEDQ 6
82
LP: 33VCX 528, 33FCX 25013, C 70
483
CD: CMS 763 460-2
(部分)
LP: 33FC 25136

◎チャイコフスキー/交響曲第5番木短調作品64

■フィルハーモニア。
▶1952年5月1日, 8日, 7月25日, 31日,
1953年6月19日ロンドン, キングズウ
ェイ・ホール
Pウォルター・レッグ
Eダグラス・ラター
M XAX 352-3
④LP: XL 5098, AA 7650-1, AA 9969-
70, EAC 40012, EAC 37020-38
⑥LP: 33CX 1133, 35055, 33FCX 161,
33QCX 10098, C 90347, 33WCX
1133
CD: CMS 763 460-2
(部分)
LP: 33FC 25136

◎ストラヴィンスキー/バレエ「カルタ遊び」

■フィルハーモニア。
▶1952年5月3日, 5日ロンドン, キ
ングズウエイ・ホール
Pウォルター・レッグ
Eダグラス・ラター
M XAX 250
④CD: TOCE 5976-9
⑥LP: 33FCX 163, 33QCX 163, XLP 6
0003
CD: CMS 763 316-2
※最初LPはフランスとイタリアのみでの発
売であった。

Pウォルター・レッグ
Eダグラス・ラター
M XAX 253-4

④LP: XL 5026, OL 3239, EAC 37020-
38
⑥LP: 33CX 1054, 35003, 33FCX 199,
C 90313, 33WCX 1054, 33QCX
10052
CD: CMS 763 464-2

◎R.シュトラウス/①交響詩「ドン・ファン」作品20 ②交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」作品28

■フィルハーモニア。
▶1951年12月3日(①), 4日(②)ロ
ンドン, キングズウエイ・ホール
Pウォルター・レッグ
Eダグラス・ラター
M ①CAX 11542-5 ②XAX 165
②CAX 11546-9 ③XAX 116
④LP: XL 5009, OL 3238, AA 7652-3,
AA 8622-3, EAC 37020-38
CD: TOCE 5976-9
⑥LP: 33CX 1001, RLS 7715, 33FCX 1
59, 33QCX 159, C 70425, 33WC
X 528, 2M 055 43 228, 1C 137
54 364-7
CD: CMS 763 316-2
①
SP: LX 8920-1, GQX 8039-40
LP: 33VCX 532
②
SP: LX 8908-9, GQX 8037-8, LVX 1
73-4

◎①ヘンデル(ハーティ編)/組曲「水上の音楽」 ②チャイコフスキー/バレエ組曲「くるみ割り人形」作品71a

■フィルハーモニア。
▶1952年4月26日(①), 7月30日(②), 31
日(①/②), 12月1日(②) ロンドン,
キングズウエイ・ホール
Pウォルター・レッグ
Eダグラス・ラター
M XAX 198-9 ①CAX 11744-7, ②CAX
11762-3/58-9
④LP: XL 5023, EAC 37020-38
①
SP: ZE 53-4
②
EP: CC 23, AA 4654, AA 4669
LP: ZL 24, AA 7394, AA 8647, AA 9
3011-2, EAA 139, EAC 70109,
EAC 47109-10, EAC 81021
⑥LP: 33CX 1033, 35004, 33QCX 164,
33FCX 164
①
SP: LX 8945-6

◎ベートーヴェン/交響曲第7番イ長調作品92

■フィルハーモニア。
▶1951年11月28~30日, 1952年4月26日,
29日, 5月5日, 8日ロンドン, キ
ングズウエイ・ホール
Pウォルター・レッグ
Eダグラス・ラター
M XAX 168-9
④LP: XL 5012, N 1-9, CA 1010, AA 7
392, AA 9957-8, EAC 40004, EA
C 30215, EAC 37001-19
CD: TOCE 5971-5
⑥LP: 33CX 1035, T 535, 35005, 33FC
X 160, 33VCX 519, 33QCX 1000
7, C 90304, 33WCX 1035, SM
143-9, 1C 181 830-6Y, CND 58
1, SLS 5053, 8 20 030(旧・東ド
イツ), 1433 903, 2M 155 53 84
0-6, F 036, SH 143-9
CD: CDM 763 310-2

◎ヘンデル(ハーティ編)/組曲「水上の音楽」

■フィルハーモニア。
▶1951年11月30日~12月1日ロンドン,
キングズウエイ・ホール
Pウォルター・レッグ
Eダグラス・ラター
M XAX 11535-8

◎シベリウス/①交響曲第5番変木長調作品82 ②交響詩「フィンランディア」作品26

■フィルハーモニア。
▶1951年12月1日(①), 1952年7月28日
(①), 29日(①/②), 30~31日(②)
ロンドン, キングズウエイ・ホール
Pウォルター・レッグ
Eダグラス・ラター
M XAX 251-2 ①CAX 11539-41, ②CAX
11813-4
②
LP: XL 5019, ZE 129, EAC 37020-3
8
⑥LP: 33CX 1047, 35002, 33FCX 192,
C 90308, 33VCX 520, 33QCX 10
019, 33WCX 1047
②
SP: LX 1593, GQX 11536, LOX 831
EP: SCD 2115
CD: CMS 763 464-2

◎バルトーク/管弦楽のための協奏曲 Sz116

■フィルハーモニア。
▶1951年12月1日, 1952年11月28~29日,
1953年7月21~22日ロンドン, キ
ングズウエイ・ホール



▲33FCX 163(ストラヴィンスキー「カルタ遊び」他)

①ベートーヴェン／交響曲第3番変ホ長調作品55「英雄」

■フィルハーモニア・o.

▶1952年11月20～22日, 12月1日ロンドン, キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター

M XAX 264-5

④LP: XL 5046, N 1-9, CA 1013, AA 7383, AA 9961-2, EAA 93165-6, EAC 40003, EAC 30212, EAC 4 7119-20, EAC 30275, EAC 3028 0, EAC 30281, EAC 30282, EAC 30283, EAC 37001-19

CD: TOCE 5971-5

④LP: 33CX 1046, T 532, 35000, 33CX X 204, 33QX 10013, C 90307, SHZE 133, 33WCX 1046, F 036, SM 143-9, SH 143-9, 1C 181 0 1 830-6Y, 2M 155 53 840-6, 3C 053 00 790, SLS 5053

CD: CMS 763 310-2

①モーツァルト／①喜遊曲第15番変ホ長調K.287②交響曲第35番二長調K.385「ハフナー」

■フィルハーモニア・o.

▶1952年4月28日, 5月2日(①), 11月25日, 12月1日(②)ロンドン, キングズウェイ・ホール, 1954年11月6日(②), 1955年5月28～29日(①/②)アビーロード・EMIスタジオ

Pウォルター・レグ

Eハロルド・ダヴィットソン, ダグラス・ラター(①)

M XAX 1204-5

④LP: RL 3004, EAC 37001-19

①

LP: EAC 77378-86

CD: CE25 5896-906

②

LP: AA 7393

④LP: 33CX 1511, 35562, FCX 735, 2M 155 03 860-1

CD: CMS 763 456-2

③

LP: C 91304

①チャイコフスキー／交響曲第5番短調作品64

■トリノ放送・o.

▶1953年3月1日トリノ

④LP: Fonit Cetra LAR 46

[第3楽章]

LP: Fonit Cetra TRV 1001

①ベートーヴェン／①交響曲第1番ハ長調作品21②劇音楽「エグモント」序曲作品84③「レオノーレ」序曲第3番作品72a

■フィルハーモニア・o.

▶1953年6月20日, 7月15日(②), 7月13～14日(③), 11月21日(①)ロンドン, キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター

M XAX 442-3

④LP: XL 5072, N 1-9, EAC 37001-19

①

LP: CA 1012, AA 7656, EAC 40005, EAC 30211

CD: TOCE5871-5

ト・グロスマン(合唱指揮), ウィーン・so.

▶1952年9月29日プラハ

④CD: HUNT CD 705

①バッハ／ミサ曲短調BWV.232

■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S.), マルガ・ヘフゲン(A), ニコライ・ゲッダ(T), ハイッツ・レフス(Bs), ウィーン楽友協会cho., マノウグ・バリアキン(vn), デニス・ブレイン(horn), ガレス・モリス(fi), シドニー・サットクリフ(ob), ベーター・ニューベリー(ob), ウィーンpo.

▶1952年11月2～5日, 7日ウィーン, ムジックフェライン・ザール, 23日, 28～30日, 1953年7月16日ロンドン, アビーロード・EMI第1スタジオ

Pウォルター・レグ

Eハロルド・ダヴィットソン

M XHAX 57-62

④LP: XL 5095-7

④LP: 33CX 1121-3, T 854-6, RLS746, 3500C, 33FCX 291-3, 33QX 10 055-7, C 90337-9, 33WCX 1121 -3, 1C 181 01 791-2, RLS 29 0 9743, FCX 291-2

CD: CHS 763 505-2

[部分]

LP: C 80527, 33WSX 544

※ウィーンとロンドンで2つに大きく録音データがわかれる。この時期正式にはウィーン・フィルと活動で、オーケストラ名もウィーン楽友協会管弦楽団・合唱団となっている。ソロ・パートの奏者はフィルハーモニア管弦楽団の首席である。またオルガンとハープシコードはカラヤンの演奏であるという。

①チャイコフスキー／①バレエ組曲「白鳥の湖」作品20②バレエ組曲「眠りの森の美女」作品66

■フィルハーモニア・o.

▶1952年11月19日(①), 24日(①/②), 12月1日(①/②)ロンドン, キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター／フランシス・ディルナット

M XAX 266-7

④LP: XL 5020, EAC 37020-38

①

[部分]

EP: EW 76

②

[部分]

EP: EW 81

④LP: 33CX 1065, 35006, 33FCX 202, 33FCX 30002, 33WCX 1065, 33QX 202

CD: CMS 763 460-2

[部分]

LP: 33FCX 25136

①

EP: SEL 1532, SEBQ 135, SEDQ 68 2

②

[部分]

SP: SCBQ 3059

EP: C 41154

LP: C 70483

③

EP: SEL 1537, SEBQ 132

[部分]

EP: C 41154

LP: C 70483

①ブラームス／交響曲第1番ハ短調作品68

■フィルハーモニア・o.

▶1952年5月5日, 7日, 7月26日, 28日, 31日ロンドン, キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター

M XAX 272-3

④LP: XL 5128, AA 7654, EAC 40014, EAC 37020-38

④LP: 33CX 1053, 35001, C 90312, 33CX 10044, 33FCX 162, 33WCX 1053, 2M 155 03 603-4, CBX 78(ブラジル)

CD: CMS 763 456-2



▲33CX 1053(ブラームス 交響曲第1番)

①R.シュトラウス／交響詩「ドン・ファン」作品20

■フィルハーモニア・o.

▶1952年5月28日ベルリン

④CD: ARKADIA CDHP 587

※フィルハーモニア管弦楽団との最初の欧州演奏旅行のベルリンでのライブ。

①ワーグナー／楽劇「トリスタンとイゾルデ」

■ラモン・ヴィナイ(T: トリスタン), マルタ・メーデル(S: イゾルデ), ルートヴィヒ・ウェーバー(Bs: マルケ王), ハンス・ホッター(Br: クルヴェナール), ヘルマン・ウーデ(Br: メロート), イーラ・マラニウク(Ms: プランゲネ), ゲルハルト・シュトルツェ(T: かじとり), ウェルナー・ファウルハーバー(Bs: 水夫), ゲルハルト・ウンガー(T: 牧童), バイロイト祝祭cho., バイロイト祝祭o.

▶1952年7月23日バイロイト祝祭大劇場

④LP: Disscorp IGI 291, Fonit Cetra LO 47, Foyer FO 1038

CD: HUNT CD 528, Melodram ME L 525

[前奏曲とイゾルデの愛の死]

LP: Rodolphe RP 12704, Maestri del Secolo APE 1210, WG Records WG 30010, Foyer FO 1034, Joker SM 1350

[部分]

LP: Longanesi Peridici GML 8

①ブルックナー／テ・デウム

■リタ・シュトライト(S), ダクマール・ヘルマン(A), エルンスト・ヘフリガー(T), ハンス・ブラウン(Bs), ウィーン楽友協会cho., フェルディナン

◎ベートーヴェン／交響曲第6番「田園」
作品68「田園」

■フィルハーモニア。

▶1953年7月9～10日 ロンドン、キングズウェイ・ホール
Pウォルター・レグ
Eダグラス・ラター

M XAX 395-6

④LP: XL 5052, N 1-9, CA 1009, AA 7381, AA 8212, AA 8216, AA 8218, AA 8219, AA 9901-2, EAA 93159-60, EAA 93161-2, EAA 93165-6, EAA 93169-70, EAA 93171-2, EAA 93173-4, EAA 93177-8, EAC 40001, EAC 30214, EAC 47119-20, EAC 30276, EAC 30280, EAC 30284, EAC 30285, EAC 30286, EAC 37001-19

CD: TOCE 5971-5

⑤LP: 33CX 1124, T 543, 35080, 33FCX 234, 33QCX 10093, 33WCX 1125, C 90340, SMC 81029, SHZ E 196, SCXW 7802, SM 143-9, SH 143-9, IC 181 01 830-6Y, 2M 155 53 840-6, 3C 053 00 936, SLS 5053, F 036

CD: CMS 763 310-2



▲SMC 81029(ベートーヴェン 交響曲第6番「田園」)

◎①ドビュッシー／交響詩「海」②ラヴェル／スペイン狂詩曲

■フィルハーモニア。

▶1953年7月16～17日(②), 20～22日(①) ロンドン、キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター

M ①XAX 386, ②XAX 371

④LP: OL 3240, EAC 37020-38

⑤LP: 33CX 1099, 35081, 33FCX 298, 2M 055 03 858

CD: CMS 763 464-2

①

LP: 33QCX 10059

②

LP: 33QCX 10097

〔補遺情報〕

戦後ソヴィエトに接収された「帝国放送局」の録音のうち、最近ドイツに返還されたテープ・ライブラリーのなかにカラヤンのものが確認され、一部がベルリンで放送されました。ベルリン(プロイセン)国立歌劇場管弦楽団を1944年5～6月期に指揮し、スタジオ録音したベートーヴェン／交響曲第3番「英雄」とブルクナー／交響曲第8番の第2楽章の2曲で、筆者の手元にも届いていますが、正式にディスク化され、発売された時点で補遺をいたします。御了承下さい。

ザベト・グリムマー(S:ヘンゼル), エリーザベト・シュヴァルツコップ(S:グレート), エルゼ・シュアホフ(A:魔女), アニー・フェルベルマイヤー(S:眠りの精/暁の精), ロートン女子高校cho., バンクロフト学校cho., フィルハーモニア。

▶1953年6月27日, 29日～7月2日, 16日 ロンドン、キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター

M XAX 334-7

④LP: XL 5044-5, EAC 47281-2

CD: CE30 5237-8

⑤LP: 33CX 1096-7, OC 187-8, 3506B, SLS 5145, 33FCX 286-7, 33QCX 10048-9, LALP 207-8(スペイン), C 90327-8, 33WCX 1096-7, EX 769 293-1

CD: CMS 769 293-2

[ハイライト]

LP: 33CX 1819, OH 189, C 80528, 33WSC 545

[部分]

EP: SEL 1694

CD: CDM 763 657-2, CMS 763 790-2

◎R.シュトラウス／交響詩「死と変容」作品24

■フィルハーモニア。

▶1953年7月2～3日 ロンドン、キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター

M XAX 428

④CD: TOCE 5976-9

⑤LP: IC 137 54 364-7, RLS 7715, 2M 055 43 228

CD: CMS 763 316-2

◎チャイコフスキー／交響曲第4番へ短調作品36

■フィルハーモニア。

▶1953年7月4日, 8日, 10日, 16日 ロンドン、キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター

M XAX 426-7

④LP: XL 5217, EAC 37020-38

⑤LP: 33CX 1139, 35099, 33FCX 274, 33QCX 10106

CD: CMS 763 460-2

◎シベリウス／①交響曲第4番イ短調作品63②交響詩「タビオラ」作品112

■フィルハーモニア。

▶1953年7月6～7日(①), 14～15日(②) ロンドン、キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター

M XAX 363-4

④LP: XL 5055, EAC 37020-38

①

LP: AA 7390, EAC 40020

②

LP: AA 7649

⑤LP: 33CX 1125, 35082, 33FCX 280, 33QCX 10078, 33WCX 1125, C 90341

CD: CMS 763 464-2

②

LP: ZL 53, AA 7382, AA 8310, AA 44-7, AA 9961-2

CD: TOCE 5871-5

③

LP: ZL 53, AA 7383

④LP: 33CX 1136, 35097, SM 143-9, SH 143-9, IC 181 01 830-6Y, 33FCX 250, SLS 5053

①

LP: 33QCX 10099, T 536, 33WCX 515, C 70367, 33HC 134, 2M 155 53 840-6, F 036

CD: CMS 763 310-2

②

LP: 33FC 25107, 33QCX 10099, C 70363, SHZE 169, MAR 812, 33WC 511, 3C 053 01 009

CD: CMS 763 310-2

③

LP: C 70363, 33QCX 10096, MAR 812, 33WC 511

CD: CMS 763 456-2

◎ベートーヴェン／①序曲「コリオラン」作品62②交響曲第2番ニ長調作品36

■フィルハーモニア。

▶1953年6月20日, 7月15日(①), 11月12～13日, 23日, 1955年7月7日(②) ロンドン、キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター

M XAX 579-80

④LP: N 1-9, EAC 37001-19

CD: TOCE 5971-5

①

LP: AA 7381, AA 44-7, AA 9961-2

②

LP: CA 1014, EAC 40005, EAC 30211

⑤LP: 33CX 1227, 35196, 33FCX 420, C 90407, 33QCX 10185, 33WCX 1227, IC 181 01 830-6Y, SM 143-9, SH 143-9, SLS 5053, 2M 155 53 840-6, F 036

CD: CMS 763 310-2

①

LP: 33FC 25107, C 70363, 33WCX 511

②

LP: T 531

Conducting the PHILHARMONIA ORCHESTRA



▲33CX 1227(ベートーヴェン 序曲「コリオラン」他)

◎フンパーディンク／歌劇「ヘンゼルとグレーテル」

■ヨーゼフ・メッテルニヒ(Br:父親ベーター), マリア・フォン・イロシュヴァイ(A:母親ゲルトルト), エリー

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

ヘルベルト・フォン・カラヤン

指揮者
オーストラリア

1908.4.5～1989.7.16

第1期

◎第6回◎

Knaur®
Biographie
Herbert von Karajan

Der Magier
mit dem Taktstock



Originalausgabe

Hansjakob Kröber

「指揮棒の魔術師」
第六章・職をなくした男②

ウォルター・レッグとの邂逅 ハンスヤコブ・クレーバー著 高橋みき訳・注釈

レコードを媒体として
国際的舞台へ

ヘルベルト・フォン・カラヤンはコモ湖湖畔とミラノにおいて知識欲旺盛であったおかげで、今やイタリア語を完璧に操っていた。——上演が予定されていたオペラの音楽と同じように、彼のイタリア語は自然だったのである。それでも彼はせりふのきつかけを与えるだけにとどまらなかった。彼は聴衆には見えないよう、歌手たちに歌の出だしをも指示したのである。これは、イタリアの大きな劇場ではあたりまえのことになっている。ブロンプターボックスからそれを行なう者（ブロンプターボックスの隣にあるバックミラーの一種によって、彼は背後の指揮者を見ることができ）は、「マエストロ・ブロンプター」と呼ばれ、そこでは欠くことのできない存在なのである（十七年後ウィーン国立劇場でカラヤンの指揮のもと、そのようなマエストロ・ブロンプターが曲の出だしにさしかかったところで、その有名な歌劇場がそれまで経験した中で最大の騒動を引き起こすことになってしまった）。

つまりカラヤンには、もともと彼が指揮すべきであったオペラの三つの作品を聴衆の前に姿を現さないように、練習



ウォルター・レッグと（1955年）

して覚え込ませる」と、助手の役割を果たすことが許されていたのだ。彼の「アドヴァイス」が、クリップス、プロハスカ、スワロフスキーといった「名目上の指揮者たち」に特に気に入ったかどうかは、伝えられていない。その代わり、テノール歌手アントン・デルモータの思い出（注1）の中に、「カラヤンは当時既にある重要な、だが定義できない地位をザルツブルクにおいて獲得していたことが伝えられている。『音楽祭管理局は、彼に祝祭大劇場に樂に到着できるよう、中古のシュタイヤー車まで運転手共々自由な使用を許していた』それは一九四六年当時、大戦後の窮乏状

況の中では信じ難い優遇だった。デルモータの述懐は続く。「我々が子供たちと一緒にゲルスベルクアルムに住んでいたのに対し、彼はその倍の高さの、ガイスペルクの頂に近くツィステルアルムという所に居を構えていた。あるリハールの後で、私は彼に車と一緒に乗せてもらいうよう頼んだ。『いいとも』と彼は快諾した後、『ただその前に家内を迎えに行かなければならない。彼女はパルシュでテニスをしているのね』と言った。私は走行中、自分にも車を一台購入することを考えていることを話した。その話に彼は非常に関心を示したので、到着するまで私たちはただそのことだけを話し合った」

その時休職中のカラヤンはそれでも、《ドン・ジョヴァンニ》でドン・オッターヴィオの役を初めてイタリア語で歌ったデルモータと、音楽上の話をしたということはあり得たかもしれない。否、カラヤンは自身の自動車工芸上の専門知識を披瀝したのだった。

積極果敢なカラヤンは既にその終戦後初のコンサートで、エルンスト・ロタールによるザルツブルクでの尋問の五カ月前、一九四六年一月十八日に行なっていた。彼には、ウィーン・フィルでハイドンのある交響曲（注2）、リヒャルト・シ



アニーカ夫人とともに。
自分で車の修理をしたので、トレンチコートが油で汚れてしまっている。(1949年)

ユトラウスの交響詩「ドン・ファン」、ブラームスの交響曲第一番というプログラムを指揮することが許可されていた。それは嵐のような拍手喝采の中、成功裡に終わった。

次のコンサートは三月二日に行なわれることになっていたが、その演奏会当日の午前中、ソ連占領軍が（彼らの考えでは罪を負ったカラヤンに対し）指揮活動を禁止してしまうという事態が起こった。打開策はロンドンからやって来た。「コロンビア」（後にEMI・エレクトロラとなった）のレコードプロデューサー兼音楽ディレクターであったウォルター・レッグが、一九四二年に録音された（「こもり」序曲を聴いていたのだが、そのレコードはレッグをして肘掛け椅子から飛び上らせてしまった。ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏であった。「この指揮者を確保せねばならぬ！」彼は決心した。

ちょうど一九四六年三月二日、レッグは決定していたカラヤンのコンサートを聴くつもりになっていた。そこへ禁止が通告されたのである。レッグはカラヤンの秘密の電話番号をさんざん捜しまわって

ようやくつきとめ、彼に電話して面談を約した。その飲談は四時間にも及び、その間に両者は同一の芸術的波長を有していることを互いに確認し合ったのだ。四六年九月には、第一回目の一連の録音セッションが予定されていた。だがアメリカ占領軍が横槍を入れた。カラヤンは指揮の許可を得てはいなかったのである。そこで生粋の英国人レッグは、すぐさまイギリス占領軍に電話した。その結果イギリス占領軍は、アメリカ占領軍の下した指揮活動の禁止命令に関し、それは「公開演奏会」のみに適用されるものであり、非公開のスタジオで行なわれるレコーディングについてはその限りではないことを確定したのである。イギリス占領軍はこの決定をアメリカ占領軍に通知し、レコーディングはイギリス占領軍の保護下に行なわれることとなった。そしてその結果カラヤンは、ウィーンとザルツブルクで指揮活動が許可された場合よりも、ロンドンの「コロンビア」という

「迂回路」を経由することで、レコードを媒体として国際的にはるかに広く知られるようになったのである。

窮乏してやせ細っていたカラヤンは元来は精力にみちみちた男で、レッグから最初の前金を受け取るや奮進を開始した。即ち四六年九月から、彼は働き蜂のごとくせつせと、盤上の細い溝に入るもの何でも録音し始めたのである。——なかでもブラームスの《ドイツ・レクイエム》（レッグ夫人であった有名な歌手エリーザベト・シュヴァルツコップがソプラノをうたい）、ベートーヴェンの《第九》

（ここでもソプラノはシュヴァルツコップ）、加えてモーツァルト・シュトラウス父子・ブラームス・シベリウス・チャイコフスキーの多数の作品の録音が行なわれた。

シュトラウスのワルツももちろん彼は録音した。既に当時から彼は、このウィーンで人気のある曲がよく売れるであろうことを正確に計算していたのだ。そしておそらく、彼は四分の三拍子を振れるということと世界にも自分自身にもまたかつての学友にも証明しようとしたのだらう。

一九四六年の「一月コンサート」のためのカラヤンによる第一回目のリハーサルで、次のような事件が起こった。カラヤンがウィーン・フィルの前に歩み出た時、彼の青灰色の鋭い目は一人のオーボエ奏者を見つけた。彼はすぐそばにいた楽友協会事務局長、ルドルフ・ガムスイエーガーに静かに言った。「あの男をはずしてくれ」「しかし、フォン・カラヤンさん、彼は首席奏者ですが……」あせんとした事務局長の異議をよそに、彼はムツとしたまま「かまわない、追い出せ。私は彼を見たくないんだ」と告げた。

カラヤンはそれを強行し、その奏者は交替させられた。だがどうして？ その理由はかなり長い間謎のままであったが、とうとう次のようないきさつが判明した。つまりこのオーボエ奏者は、二十歳のカラヤンとウィーン音楽アカデミー（現在はウィーン国立音楽大学）で同級であった。当時彼は冗談で（それとも本気で？）「ヘルベルト、ほかの職を捜せよ。君は

ワルツの拍子一度も正しく振れないじゃないか！」と言ったのである。

そのことをカラヤンは十七年以上も覚えていた。——彼の驚嘆すべき記憶力は、その同級生の存在を忘却の中に埋もれさせてはいなかったのだ……

カラヤンのレコードはよく売れ、彼の名前は国際的に「優秀」の印しとして通用した。

それにもかかわらず、いつさいがつさいがうまくすすんだわけではなかった。というのはソ連による二回目のコンサートの禁止以来、次から次へと尋問と聴取がとり行なわれたために、カラヤンは思い立つや即座にアールベルク地方に引き上げ、ザンクト・アントンに部屋を借りて再びコツコツと総譜の精読を始めたのだ。

尋問に対しては、彼は当時からアレルギーの症状を呈し始め、それはのちのちまで続いた。彼はインタヴューにのぞむと、それが新聞であれグラフ雑誌であれまたテレビであれ、自分がひどく圧迫されていると感じていたため、全く取るに足らないきつかけからでも、突然「ここは反対尋問の場じゃないんだ！」という彼の雷が落ちることがあった。尋問のように聞こえる言葉は全て、彼はそれを疫病のごとく嫌悪していたからである。（つづく）

（注釈）
（1）「千夜一夜物語」Tausendundein Abend, ウィーン・パウル・ネフ社一九七八年、ドイツ・タッシェン・プフ社一九八一年。
（2）第一〇四番二長調「ロンドン」





ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 [資料提供: デイヴィッド・C・ラムボン(イギリス)]



[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(P)、ディレクター(D)、レコーディング・エンジニア(E)、マトリックス番号(M)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の[V]は映像作品を示す。
- レコード番号はS.P.、E.P.、L.P.(10インチを含む)、C.D.、L.D.の順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L.P.期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータをつけた。
- オペラ全曲盤よりのアリア曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

⑥ L P : 33CX 1526, C 91396, 35501, FC 25117, 3C 153 52 425-31, RMD 1001
C D : CHS 763 709-2

⑥ ベートーヴェン/交響曲第5番ハ短調 作品67
■フィルハーモニア o.
▶1953年8月26-28日ロンドン, キングズウェイ・ホール
P ウォルター・ジェリネック

⑥ ベートーヴェン/交響曲第3番変ホ長調 作品55「英雄」
■ベルリン p o.
▶1953年9月8日ベルリン, ティタニア宮殿
⑥ L P : Maestri del Secolo APE 1205, WG Records WG 30003, Joker SM 1337, C 86
C D : ARTEMIS 710000

⑥ ①ブリテン/フランク・ブリッジの主題による変奏曲作品10②ヴォーン・ウィリアムズ/トマス・タリスの主題による幻想曲
■フィルハーモニア o.
▶1953年11月10日(①), 11日(②), 23日(①/②)ロンドン, アビーロード・EMI・第1スタジオ(11/10-11), キングズウェイ・ホール(11/23)
P ウォルター・レッグ
E ダグラス・ラーター
M XAX 450-1
⑥ L P : OL 3241, BRC 8026
⑥ L P : 33CX 1159, XLP 60002, 35142, 33QCX 10109
C D : CMC 763 464-2

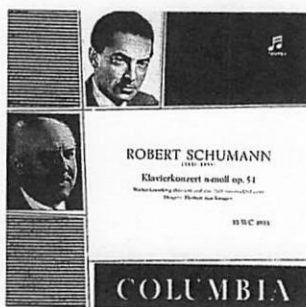


▲33CX 1159(ブリテン/フランク・ブリッジの主題による変奏曲, 他)

⑥ モーツァルト①ホルン協奏曲第1番ニ長調K.412②第3番変ホ長調K.447③第2番変ホ長調K.417④第4番変ホ長

⑥ スーザ/行進曲「星条旗よ永遠なれ」, 行進曲「エル・カピタン」
■フィルハーモニア o.
▶1953年7月21日ロンドン, キングズウェイ・ホール
P ウォルター・レッグ

⑥ シューマン/ピアノ協奏曲ハ短調作品54
■ヴァルター・ギーゼキング(p), フィルハーモニア o.
▶1953年8月24-25日ロンドン, キングズウェイ・ホール
P ウォルター・ジェリネック
E ハロルド・ダヴィットソン
M XAX 657
⑥ L P : XL 2015, RL 3002, AB 7018, AB 7069, AB 8061, EAC 37001-19
⑥ L P : 33C 1033, C 7009, C 91234, L 1 001, FCX 284, FCX 322, 33WC 1033, 33JC 1033(南アフリカ), 1C 047 01 401, 3C 153 52 425-31, 35321



▲33WC 1033(シューマン ピアノ協奏曲)

⑥ モーツァルト/交響曲第41番ハ長調K.551「ジュピター」(部分)
■フィルハーモニア o.
▶1953年8月25日
P ウォルター・ジェリネック

⑥ モーツァルト/ピアノ協奏曲第24番ハ短調K.491
■ヴァルター・ギーゼキング(p), フィルハーモニア o.
▶1953年8月25日ロンドン, アビーロード・EMI・第1スタジオ
P ウォルター・ジェリネック
E フランシス・ディルナット
M XAX 1053-4
⑥ L P : RL 3035, ZL 3004, AB 7025, AB 8064, EAC 37001-19
C D : TOCE 7324-5

⑥ ブロムナード・コンサート
①ワルトトイフェル/ワルツ「スケートをする人々」作品183②スッパ/喜歌劇「軽騎兵」序曲③J.シュトラウス1/ラデツキー行進曲作品228④J.シュトラウス/ホルカ「雷鳴と電光」作品324⑤J.シュトラウス/トリッチ・トラッチ・ホルカ作品214⑥ワインベルガー/「バグパイプ吹き」のシュワウダよりホルカのオフエンバック/喜歌劇「天国と地獄」序曲⑦シャブリエ/狂詩曲「スペイン」⑧シャブリエ/楽しい行進曲
■フィルハーモニア o.
▶1953年7月17日(⑧), 21日(①), 1954年7月23日(⑥), 1955年7月6日(⑤), 8日(⑦/④/③/⑤/⑧), 9日(②/⑤/⑨) ロンドン, キングズウェイ・ホール
P ウォルター・レッグ
E ダグラス・ラーター
M XAX 792-3
⑥ L P : XL 5136, OL 3127, EAC 37020-38

(オムニバス)
①
E P : TD 7
①⑧
E P : EW 72
①②③⑤
L P : ZL 49
③④⑤
E P : GM 3
②
E P : GM 14
⑥ L P : 33CX 1335, 35327, 33FCX 30 103, C 80468, 33WSX 528

(オムニバス)
①
E P : SEL 1528, SEQB 129
L P : 33FCX 512
②
E P : SEL 1557, SEQB 162, C 41132, C 41155, SEGW 7909, SMC 41 132
③
E P : C 41132, SEGW 7909, SEBQ 17 1, SMC 41132
④
E P : SEQB 171
⑥
L P : 33FCX 512
⑦
E P : C 41155
⑧
E P : SEL 1528, SEBQ 129
L P : 33QCX 10198, 2C 053 01 414
⑨
E P : ESBF 135

タジロ
P ウォルター・レグ
E ダグラス・ラーター, ハロルド・ダグ
ウィッドソン(①)
M XAX 456-7
② L P: EAC 37000-19
①
L P: EAC 77378-86
C D: CE25 5896-906, TOCE 5976-9
② L P: 33CX 1178, 35098, 33FCX 308,
C 90376, 33QCX 10101, 33WCX
1178, 2M 055 03 790
①
L P: C 70473, 33WC 552, XLP 60004,
FCX 30292, RLS 7715, 1C 137
54 364-7
C D: CMS 763 316-2
〔部分〕
L P: 33SX 1394
②
E P: C 50543, SELW 1812,
L P: 33WC 537, 33FC 25107, C 7039
1
C D: CMS 763 456-2

◎モーツァルト／歌劇「魔笛」K. 620
■マリオ・ベトリ(Bs: ザラストロ), ニ
コライ・ゲッダ(T: タミーノ), エリ
ザベト・シュヴァルツコップ(S: パ
ミーナ), リタ・シュトライト(S: 夜の
女王), ジュゼッペ・タッデーイ(Br:
パパゲーノ), アルダ・ノーニ(S: パパ
ゲーノ), カーラ・シュレーマン(S:
第1の侍女), エスター・オレルリ(S:
第2の侍女), アンナ・マリア・ロータ
(S: 第3の侍女／第3の童児), アント
ニオ・ピリノ(T: モノスタス), ニ
ーノ・デュー・ゾーレ(T: 第1の僧
侶), プリニオ・クラバッシ(Bs: 第2
の僧侶／弁者), ブルーナ・リッツォ
ニ(S: 第1の童児), ギルダ・カボジ
ー(S: 第2の童児), ローマ放送cho.,
ニーノ・アントネルリニ(合唱指揮),
ローマ放送o.
▶1953年12月19日ローマ
④ C D: MYTO MCD 89007
〔部分〕
C D: HUNT CD 535
※ハント盤は12月20日の表記となっているが
同一のもの。イタリア語の上で原語に忠
実であったカラヤンとしてはめずらしい事
例である。

◎ドニゼッティ／歌劇「ランメルモールのルチア」
■マリア・カラス(S: ルチア), ジュゼ
ッペ・ディ・ステファノ(T: エド
ガルド), ロランド・パネライ(Br: エ
ンリーコ), ジュゼッペ・モデスティ(Bs:
ライモンダ), ジュゼッペ・ザンビエ
リ(T: アルトゥーロ), ルイザ・ヴィ
ッラ(Ms: アリーサ), マリオ・カルリ
ン(T: ノルマンノ), ミラノ・スカラ
座cho., ミラノ・スカラ座o.
▶1954年1月18日ミラノ, スカラ座
④ C D: Legato SRO 831-2
〔終場面〕
L P: Melodram MEL 078
※LegatoのC Dはラジオ放送の録音か? 発
売は91年8月。
◎ドニゼッティ／歌劇「ランメルモールの
ルチア」より真暗な真夜中が
■マリア・カラス(S: ルチア), ルイザ
・ヴィッラ(Ms: アリーサ), ミラノ・
スカラ座cho., ミラノ・スカラ座o.
▶1954年1月ミラノ, スカラ座
④ L P: Fonola Records ST 5010, HRE

〔第4楽章〕
E P: AA 4610
②
L P: XL 5216, ZL 52, OL 3125, CA 1
012, AA 7655, AA 44-7, EAC 4
0006, EAC 30213, BRC 8025
③ L P: 33CX 1391-2, T 536-7, 3544B,
33FCX 448-9, 33WCX 1391-2,
C 90515-6, 1C 181 01 830-6Y,
1C 147 00 811-2, 2M 155 53 8
40-6, SM 143-9, SH 143-9, SLS
5053, F 036
C D: CMS 763 310-2
①
L P: HZE 107, 1C 063 01 200, 2C 0
63 01 200
②
L P: 33WCX 512, C 70364, 1C 047 0
1 441



▲XL 5164-5(ベートヴェン 交響曲第9番「合唱」他)

◎ベートヴェン①交響曲第4番変ロ長
調作品60②(演奏会用アリア)「ああ、
心なき人よ」作品65
■エリザベト・シュヴァルツコップ
(S)②, フィルハーモニアo.
▶1953年11月13日, 16日, 19日(①), 19
54年9月20日(②)ロンドン, キングズ
ウェイ・ホール(①), ワトフォード,
タウン・ホール(②)
P ウォルター・レグ
E ダグラス・ラーター
M XAX 604-5
② L P: XL 5202, N 1-9, EAC 37001-19
①
L P: CA 1014, AA 7392, EAC 40006,
EAC 30213,
C D: TOCE 5971-5
③ L P: 33CX 1278, 35023, C 90447, 33
WCX 1278, 33QCX 10149, FCX
428
①
L P: T 533, 1C 181 01 830-6Y, 2M
155 53 840-6, SM 143-9, SH 1
43-9, SLS 5053, F 036
C D: CDM 763 310-2
②
L P: RLS 7715, RLS 154 6133, 1C 1
37 54 364-7
C D: CDH 763 310-2

◎モーツァルト／①協奏交響曲変ホ長調
K. 297b②セレナード第13番ト長調K.
525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
■シドニー・サトリクス(ob), バーナ
ード・ウォルトン(cl), セシル・ジェ
イムズ(fg), デニス・ブレイン(hrn), フ
ィルハーモニアo.
▶1953年11月17日(①), 18日(①/②)ロ
ンドン, アビーロード・EMI・第1ス

調K. 495
■デニス・ブレイン(hrn), フィルハーモ
ニアo.
▶1953年11月12日(③/①), 13日(②),
23日(④)ロンドン, キングズウェイ・
ホール
P ウォルター・レグ
E ダグラス・ラーター
M XAX 464-5
② L P: XL 5073, OL 3214, AB 7011, EA
A 154, AA 7658, AA 8349, EAC
70137, EAC 60049-50, EAC 370
01-19, EAC 81052, EAC 77378-
86, TOJE 7421
C D: CE25 5896-906, TOCE 6584
②
L P: RL 3039
④
L P: RL 3039
③ L P: 33CX 1140, 35092, C 90354, 33
WCX 1140, 33QCX 10100, 33 F
CX 251, 33JCX 1140 (南アフ
リカ), 1C 063 00 414, ASD 11
40, 2C 051 00 414
C D: CDH 761 013-2
①
〔部分〕
L P: CLP 1840
③
〔部分〕
C D: CDH 763 018-2
④
E P: 7ERL 1057
L P: ESD 7014, SLS 5068



▲1C 063 00 414(モーツァルト ホルン協奏曲第1-4番)

◎ベートヴェン／①交響曲第9番二短
調作品125「合唱」②第8番ヘ長調作品
93
■エリザベト・シュヴァルツコップ(S)
(①), マルガ・ヘフゲン(A)(①), エル
ンスト・ヘフリガー(T)(①), オット
ー・エーデルマン(Br)(①), ウィン
楽友協会cho.(①), フィルハーモニアo.
▶1953年11月13日(②), 1955年5月20
日(②), 7月24-29日(①), ウィン,
ムジックフェライン・ザール(①), ロ
ンドン, キングズウェイ・ホール(②)
P ウォルター・レグ
E ダグラス・ラーター
M ①XAX 63-5, ②XAX 814 || YAX 325
② L P: XL 5164-5, N 1-9, EAC 37001-
19
C D: TOCE 5971-5
①
L P: CA 1011, AA 7382, AA 8310, A
A 9903-4, AA 9957-8, EAA 931
67-8, EAA 93169-70, EAA 9317
3-4, EAA 93175-6, EAC 40002,
EAC 30216, EAC 47121-2

◎オペラ間奏曲集

①マスカニー/歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲②レオンカヴァーロ/歌劇「道化師」間奏曲③オッフェンバック/歌劇「ホフマン物語」より舟歌④コダーイ/歌劇「ハリー・ヤーノシュ」間奏曲⑤ブッチェーニ/歌劇「マノン・レスコー」第3幕間奏曲⑥ビゼー/歌劇「カルメン」第4幕間奏曲⑦マスネ/歌劇「タイス」より冥想曲⑧ムソルグスキー(R=コルサコフ編)/歌劇「ボヴァンシチナ」第4幕間奏曲⑨グラナドス/歌劇「ゴイエスカス」間奏曲⑩ヴェルディ/歌劇「椿姫」第3幕間奏曲⑪マスカニー/歌劇「友人フリッツ」第3幕間奏曲

■モノウグ・バリアキン(vn)(7), フィルハーモニア。

▶1954年7月22日(6)(10)(9)(2)(5), 23日(7)(10)(8)(3), 24日(1)(5)(4) ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

◇ダグラス・ラーター

■XAX 616-7

□LP: XL 5111, EAC 37020-38

[オムニバス]

EP: EW 92(1)(10)(2)(9), EW 93(3)(6)(7), GM 20(3)(6)(7), GM 25(1)(10)(2)(9), AA 4648(7)

LP: ZL 43(1)(3)(7)(10)(2)(6), AA 7397(1)(6)(7)(4), AA 8226(6), AA 9925-6(1)(6)(7)(4), AA 9987-8(5)(10)(1)(7), AA 93015-6(5)(10)(1)(7), EAC 47113-4(3)(5)(7)(10)

※LP: 33CX 1265, 33FCX 407, 33QCX 10150, 33WCX 1265, C 90435

[オムニバス]

EP: SEL 1547(3)(6)(7), SEL 1551(1)(2)(9)(10), SEBQ 149(3)(6)(7), SEBQ 152(2)(9)(10), SEBQ 255(10), SEBQ 3049(1)(10), SCBQ 3055(3)(7), ESB F 170(6), SCD 2130(3)(6), SCD 2242(7), SMC 41607(6)(7)(3), C 41147(1)(2)

LP: 3554(1)(10)(2)(5)(7)(10), 33FCX 25106(1)(7)(9), 35207(1)(3)~(9), SMC 41607(6)(7)(3), CD: CMS 763 464-2(4)

◎ビゼー/歌劇「カルメン」第2幕間奏曲, 第3幕間奏曲

■フィルハーモニア。

▶1954年7月24日ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

◇ダグラス・ラーター

◎ベートーヴェン/序曲「献堂式」作品124(部分)

■フィルハーモニア。

▶1954年7月24日ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

◇ダグラス・ラーター

[訂正・削除]

第3回の49年1月21日のウィーン・フィルとのマスカニー/「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲のうち, 国内EP: EW93を削除いたします。

このレコードは昭和32年9月発売のフィルハーモニア管弦楽団との同曲異演盤でした。ジャケット写真も掲載しましたが合わせて削除いたします。誤りが続きますことをお詫び申し上げます。

33FCX 506-8, C 90458-60, 33WCX 1292-4, 33QCX 10168-70, 1C 153 03 520-2, 2C 153 03 520-2,

EX 769 296-1

CD: CMS 769 296-2

[部分]

LP: 1C 047 28 181

CD: CDM 763 657-2, CMS 763 790-2

◎ベルリオーズ/幻想交響曲作品14a

■フィルハーモニア。

▶1954年7月7~9日, 21日ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

◇ダグラス・ラーター

■XAX 639-40

□LP: XL 5182, EAC 40009, EAC 37001-19

CD: TOCE 5976-9

※LP: 33CX 1206, RLS 7715, 35202, 33FCX 396, 33QCX 10136, 33WCX 1206, TP 625, 1C 137 54 364-7, 2M 055 03 859

CD: CMS 763 316-2

◎モーツァルト/歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」K.588

■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S: フィオルディリッジ), リザ・オットー(S: デスビーナ), ナン・メリマン(Ms: ドラベルラ), レオポルド・シモノー(T: フェランド), ロランド・パネライ(Br: グリエルモ), セスト・ブルスカンティニ(Br: ドン・アルフォンソ), フィルハーモニア cho., フィルハーモニア。

▶1954年7月13~17日, 19~21日, 11月6日, 1955年5月29日ロンドン, キングズウェイ・ホール(7/13), アビーロードEMI・第1スタジオ(7/14-16, 19-21, 11/6), アビーロードEMI・第3スタジオ(7/14, 17, 19)

□ウォルター・レッグ

◇ダグラス・ラーター

■XAX 596-601

□LP: XL 5114-6

CD: CE30 5464-6

※LP: 33CX 1262-4, SOC 195-7, RLS 7709, 3522C, 33FCX 484-6, C 90432-4, 1C 147 01 748-50, 1C 197 54 200-8, 2C 153 01 748-50, 2C 163 01 748-50, SOC 195-7, 33WCX 1262-4, 33QCX 10146-8

CD: CHS 769 635-2

[ハイライト]

LP: FCX 30129, OH 198, SOH 198, C 80574, 33WSX 557, 1C 243 00 838, 820 437

[部分]

LP: C 70401

CD: CDH 763 018-2, CDM 763 657-2, CMS 763 790-2



▲33CX 1262-4(モーツァルト/歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」)

Records HRE 219

※カラスとの初共演のスカラ座でのライブ。1月18日, 24日, 27日, 28日, 31日, 2月5日, 7日と合計7回行なわれたうち, ハントのディスコグラフィは18日のメロドラマ盤の終場面と別ものとする。

◎モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」K.492

■マリオ・ベトリ(Bs: アルマヴィーヴァ伯爵), エリーザベト・シュヴァルツコップ(S: 伯爵夫人), ロランド・パネライ(Br: フィガロ), イルムガルト・ゼーフリート(S: スザンナ), マリエラ・アダーニ(S: バルバリーナ), セーナ・ユリナッチ(S: ケルビーノ), セルヴィオ・マイオニカ(Br: バルトロ), アントニオ・ピリノ(T: ドン・バジリオ), フランコ・カラブレゼ(Bs: アントニオ), ジュゼッペ・ネッシ(T: ドン・クルチオ), ミラノ・スカラ座 cho ヴィットリオ・ヴェネツィアーニ(合唱指揮), ミラノ・スカラ座。

▶1954年2月4日ミラノ, スカラ座

※LP: Fonit Cetra LO 70

CD: Melodram MEL 37075

HUNT CDKAR 225

[部分]

LP: Longanesi Peridici GML 30

[序曲]

LP: Foyer FO 1034



▲LO 70(モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」)

◎R. シュトラウス/歌劇「ナクソスのアリアドネ」作品60

■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S: アリアドネ/プリマドンナ), ルドルフ・ショック(T: バッカス/テノール歌手), リーザ・オットー(S: 水の精), リタ・シュトラウス(S: ツェルビネッタ), ヘルマン・ブライ(Br: ハルレキ), イルムガルト・ゼーフリート(S: 作曲家), アニー・フェルベルマイヤー(S: やまびこ), ゲルハルト・ウンガー(T: 士官/スカラムッチョ), フリッツ・オレンドルフ(Br: トルファルディーノ), ヘルムート・クレプス(T: プリゲル), アルフレード・ノイゲバウアー(語り/執事長), カール・デンヒ(Br: 音楽教師), ユーグ・クエノー(T: 舞踏教師), エーリヒ・シュトラウス(Br: かつら師), オタカル・クラウス(Br: 下僕), グレース・ホフマン(Ms: 木の精), フィルハーモニア。

▶1954年6月30日~7月2日, 5~7日ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

◇ダグラス・ラーター

■XAX 746-51

□LP: AB 9301-3

CD: CE30 5239-40

※LP: 33CX 1292-4, RLS 760, 3532C,

◎名演奏家
ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

ヘルベルト・フォン・カラヤン



指揮者
オーストリア
1908.4.5～1989.7.16

第1期
第7回

Knauer
Biographie
Herbert von Karajan

Der Magier
mit dem Taktstock



Originalausgabe

Hansjakob Kröber

「指揮棒の魔術師」
第六章…職をなくした男③

正式に指揮活動を再開（ウィーンからルツェルン、ロンドン、ミラノへ） ハンスヤーコプ・クレーバー著 高橋みき訳・注釈

遂に一九四七年十月、カラヤンは四ヶ国占領軍から公式に指揮活動を許可された。その前に彼はなお、八月にフルトヴェングラーが再びザルツブルク音楽祭でどのように指揮（注一）したか、眼前にしなければならなかった。カール・ペーラムも全面的にナチに忠誠を誓い、「ヒットラー式」敬礼によってナチ時代を通じて我が身を救ったにもかかわらず、既に指揮活動を再開していた。カラヤンは自分が不当に悪い扱いをされていると感じていたが、その感情をひた隠しにしていた。

当時六十一歳の偉大なロマン主義者ベルリン出身のフルトヴェングラーは、自分より二十二歳若いザルツブルク出身の、前向きな努力を続ける完璧主義者に対し、嫉妬の感情をほとんど押さえることができなかった。彼がその実力を認めていたにもかかわらずである（もしくはそれゆえに）であろうか。それに対し、カラヤンは別の見解を持っていた。その見解について、彼は次のように説明している。「私は早い時期に、人間が誰しも持っているいろいろな反応とはかわりあわないよう、自分に教え込んだのです。人は感情面で三様の反応を示します。愛情、無関心、愛情の反対、です。しかしこの職業においては、憎しみは人間をだ

めにしてしまいます。これが原因で、つまり人は嫉妬を覚えると、自身を醜くしてしまいます。そうなればもはや演奏できなくなってしまうのです。だが、この言葉をカラヤンが述べた一九七八年は、フルトヴェングラーの死から既に二十四年たっており、カラヤンはほとんど四半世紀近くその後継者として認められており、もはやヨーロッパではカラヤンに匹敵するライバルは存在しなかった。

けれども一九四七年当時、フルトヴェングラーはベルリン・フィルで首席指揮者として再び高い名声を博し、同時にウィーン・フィルのお気に入りの指揮者でもあった。そして彼は、そのすばらしい豊かな精神性に貫かれた音楽を創り出していた…。

カラヤンはフルトヴェングラーに道を譲った。彼自身のコメントは次の一語につき詰められている。「その老人は自分の人生を辛酸に満ちたものにしたのだ」。

ヘルベルト・フォン・カラヤンは、その偉大な同僚が一九四八年にもザルツブルクで、オーケストラ・コンサートだけでなく《フィデリオ》や《魔笛》（四九年）のようなオペラをも指揮するように尽力した。カラヤン自身は、四八年にグリュックの《オルフェオとエウリディーチェ》（オスカ・フリッツ・シュエーの印象

深い演出による）と《フィガロの結婚》

（同じくシュエーの演出）をもつて（注二）、国際的舞台上で自身を問うたのである。けれども彼自身は、四九年にベートーヴェンの《第九》とヴェルディの《レクイエム》を指揮しただけであつた。なぜなら、仕事熱心なカラヤンは休みなく前方に向かって突進しつつ、あたかも多くの失われた時を取り戻そうとするかのように、別な目標を——より大きく、はるか彼方にある目標を追い求めていたからである。カラヤンは音楽による、そう何百万人もが享受できる音楽の世界帝国を夢想していたのだ。——当時、まだテクノロジーの数々の可能性を自由に使いこなせた時代ではなかったが、それは先んじてかすかに予感されていたのである。彼は生涯にわたってその目標の追及をやめなかった。そのことに関して驚くべきことは、彼はそのいくつもの夢を実行に移し、そのほとんど全てを現実のものにしてしまったということである。

だが、当時はまだそこまでには至っていなかった。なお遠い道のりが前方に横たわっていたのである。ウィーン・フィルはフルトヴェングラーに賭けていたため、カラヤンは他に活動の場を捜さねばならなかった。彼はそれをウィーンでの第二の、当時でも「二流」にランクされて



カラヤンは1948年より88年まで（60年の一瞬の例外を除いて）ルツェルン音楽祭に毎年出演し、ベルリン・フィル、ウィーン・フィルを指揮してオーケストラ・コンサートをもった。

外国からの招聘は、最初にスイスより申し出があった。興味深いことに、ルツェルン音楽祭のスイス人総裁ヴァルター・シュトレービ博士をして一九四七年ルツェルンにおいてカラヤンに注意を向けさせたのは、フルトヴェングラーであった。彼は四四年以来、その国際音楽祭週間で演奏会を行なっており、シュトレービ博士は彼の弁護士であった。カラヤンがフルトヴェングラーにザルツブルクでの活動の場を譲り渡したことに對する、感謝のしるしとしてであろうか？それとも、カラヤンをザルツブルクから上手におだてて追い払うためであろうか？

いたウィーン音楽団に見出されたのだ。彼らは、音楽会の熱狂的なファンから成る威厳を備えた集り、「ウィーン楽友協会」のために演奏していた。同協会はカラヤンを早くも一九四七年（まだ指揮活動の許可が下りていなかった時だが）、その終身芸術監督に選出したのである。カラヤンはウィーン交響楽団をトップレベルに到達するまで、同時にチケット完売をウィーン・フィルと常時競い合うほどになるまで、鍛えて磨き上げた。

その理由が何にせよ——一九四八年八月二十五日に、カラヤンはその最初の外国でのコンサート（ルツェルンにおいてその祝祭管弦楽団と共に）を行なったのである。以来、彼は毎年ルツェルンに招聘されるようになった。そして信義に篤いカラヤンは、ルツェルンの人々へその変わることのない思慕の念を繰り返し示した。「あなた方は私に、『あなたについて言われたことやあなたに對しなされたことは、私達の誰にも全く関係ありません。あなたはここでは歓迎され、いつでも来ることができます』と、戦後初めて言つて下さった方々です」。彼は重ねて「このことを私は決して忘れません！」と言つたものである。

ウォルター・レッグは、カラヤンに新しいオーケストラを提供した。ロンドンのフィルハーモニア管弦楽団である。レッグは、このオーケストラの「生みの親」であった。それは戦時中に弦楽四重奏団から発足したのだが、レッグはそのアンサンブルをどんどん拡張して、そこからコロンビアのためにレコードを製作するフル・オーケストラが編成できるまでにしたのである。それはイギリスの最高の音楽家たちによって構成されていた。それが戦後まもなく財政危機に陥つたとき、大富豪で三十歳に満たない、ロシアものと現代音楽を愛していた、南インドのマイソール大公から助成金を交付されたのである！大公好みの作品は、レコード録音されたがほとんど売れなかった。だがインドの通貨ルピーにより同オーケストラの財政は建て直されたのだ。

カラヤンはレッグの申し出る高給を支払われていた最高の音楽家たち——各自が力のあるソリストだった——から、彼は絶え間ないかつ妥協のない練習を積み重ねること、国際的に高い水準を誇る響鳴体をつちかつたのである。一九四八年から六〇年までの成果は、シューマンの《ピアノ協奏曲イ短調》（デュヌ・リパッティ）をもつて始まり、第一回目のベートーヴェンの交響曲全集の録音（一九五一一―五五年）を経て、さまざまなオペラの全曲録音からプロムナードコンサートとバレエ音楽で終わる、およそ八十五枚に及ぶレコード録音であった。

後になってカラヤンは、ロンドン時代は彼の生涯で最も困難な時期であったということを、一度物語つたことがある。「フィルハーモニア管弦楽団は巧みに演奏したが、私は彼らに何かを言う余地がなく、彼らもまた私の言葉を何一つ受け入れなかった。私は消耗しきつてしまった——このようなことは実際、私にも彼らにも共に単調で退屈なものでしかなかった。そしてそれは、ベルリン・フィルを振っている時には決して起こらなかった事だった」。

たとえそれがカラヤンの回顧の中にそのように映じていても、イギリス人々を訓練し教育するということは、国際的な舞台に踏み出した彼自身にとつて有益な経験の一部となつていたのである。というわけで今や、ウィーンではウィーン響を、ロンドンではフィルハーモニア管弦楽団を指揮するようになっていた。

あるかのように、四十歳になったカラヤンは、さらに一九四八年十二月二十八日にオペラの牙城、ミラノ・スカラ座へも凱旋的な入城を行なったのである。それは《フィガロの結婚》をもつて始まり、引き続いていわゆる「ドイツ・シーズン」の指揮者として迎えられた。同シーズン中はドイツの作曲家の作品が取り上げられていたのだが、カラヤンはほどなくイタリア・オペラも指揮するようになった。このことは、イタリア人が外国人（特にドイツ・オーストリア人）に對しては、「彼らの」音楽を正しく感じ正しく指揮する才能を断固認めていないだけに、一層高い評価に値した。カラヤンはそれをなし得ているのだ。彼はこの領域——ヴェルディ、プッチーニ、ドニゼッティの音楽——をも、内面から卓抜かつ完璧に掌中に収めてしまつていた。そのことに對し、イタリアの音楽家や代表的歌手たちはカラヤンに敬意を払っている。プリマドンナ・マリヤ・カラスは、それをひざまずくことであらわした。（つづく）

〔注釈〕

（一）フルトヴェングラーはこの年のザルツブルク音楽祭で、八月十日の午前にウィーン・フィルを指揮してウェーバー《魔弾の射手》序曲、リヒャルト・シュトラウス《死と変容》、シューベルト《交響曲第九番》という演奏会をもっている。

（二）この年のオペラの日付けは、《オルフェオとエウリディケー》七月二十八日、八月二・七・十三・十六日（フェルゼンライトシュレ）

《フィガロの結婚》八月十一・十七・二十一・二十七日





ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 [資料提供: デイヴィッド・C・ラムボン(イギリス)]



[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(P)、ディレクター(D)、レコーディング・エンジニア(E)、マトリックス番号(M), 日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の[V]は映像作品を示す。
- レコード番号はSP、EP、LP(10インチを含む)、CD、LDの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- LP期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータをつけた。
- オペラ全曲盤よりのアリア一曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

○クルト・ライマー/①ピアノ協奏曲ハ短調②左手のためのピアノ協奏曲

■クルト・ライマー(p), フィルハーモニア。

▶1954年11月11日(①/②), 12日(②) ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

■ZAX 689-90

●LP: 33WCX 1508, C 90282, SME 91753

※アレン・サンダース編の「ウォルター・レッグ・ディスコグラフィ」等、外国の資料はエレクトローラのSME(疑似ステレオ盤)を91793とし誤って記載してある。ジャケット裏面にはR.シュトラウスとカラヤンのコメントがついている。ドイツのみでの発売。



Kurt Leimer



▲SME 91753(ライマー/ピアノ協奏曲他)

○ヘンデル/合奏協奏曲第12番口短調

■ウィーンso.

▶1954年11月17日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

●CD: Nuova Era ERA 2262-3

※ムジークフェライン・ザールでのライブ。この日はこのあとにオネゲル3番とチャイコフスキー4番の2つの交響曲が演奏された。

○ブラームス/ピアノ協奏曲第2番変口長調

■ゲザ・アンダ(p), ローマ放送so.

▶1954年12月11日ローマ

●LP: Replica RPL 2467, Joker MC 1332, C 87, ARTEMIS 951 003

○ドビュッシー/歌劇「ペレアスとメリザンド」

■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S: メリザンド), エルンスト・ヘフリガー(T: ペレアス), ミシェル・ルー(Br: ゴロー), マリオ・ベトリ(Bs: アルケル), クリステアーナ・ガイライト(A: ジュヌヴィエーヴ), グラツィエラ・シュッティ(S: イニョルド), フランコ・カラブレゼ(Bs: 医師/羊飼), ローマ放送cho., ニーノ・ア

(S: フラスキータ), ルイーザ・リバッキ(Ms: メルセデス), フレデリック・ガスリー(Bs: スニガ), マリオ・カルリン(T: ダンカイロ), ジノ・デル・シニョーレ(T: レメンダード), エンツォ・ソルデルロ(Br: モラレス), ウィーン楽友協会cho., ウィーンso.

▶1954年10月8日ウィーン, ムジークフェライン・ザール

●CD: DM 101-2

●LP: GOP Records GFC 026-8

CD: Melodram MEL 27012

※コンサート形式でのムジークフェラインでのライブ録音。

○オペラ バレエ曲集

①ボンキエリ/歌劇「ジョコンダ」より時の踊り②ワーグナー/歌劇「タンホイザー」よりヴェヌスヴェルクの音楽③ヴェルディ/歌劇「アイダ」よりバレエ音楽④ムソルグスキー(R=コルサコフ編)/歌劇「ホヴァンシチナ」よりペルシャの奴隷の踊り⑤ボロティン/歌劇「イーゴリ公」よりだったん人の娘達の踊り, だったん人の踊り

■フィルハーモニア。

▶1954年11月5日(③/②), 6日(①), 8日(④/⑤) ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

□ダグラス・ラーター

■XAX 861/739

●LP: XL 5162, OL 3132, EAC 37020-38

●LP: 33CX 1327, 35307, C 90484, 33CX 10192, 33WCX 1327, CND 571

①

EP: SEBQ 256, SCBQ 3071

LP: 33FC 25106, 35207

④

EP: SEBQ 255

LP: 35327

⑤

LP: 33FCX 579, 35925



▲33CX 1327(オペラ/バレエ曲集)

○ベートーヴェン/①交響曲第5番短調作品67②歌劇「フィデリオ」より「悪者よ、どこへ急ぐのだ」

■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S) (②)フィルハーモニア。

▶1954年9月20日(②), 11月9~10日(①) ロンドン, キングズウェイ・ホール(①), ヴトフォード, タウン・ホール(②)

□ウォルター・レッグ

□ロバート・ベケット/ダグラス・ラーター(②)

■XAX 702-3

●LP: XL 5117, N 1-9, EAC 37001-19

①

LP: CA 1005, AA 7380, AA 8211, A A 8212, AA 8213, AA 8214, AA 9901-2, AA 9957-8, EAA 93159-60, EAA 93161-2, EAA 93163-4, EAA 93165-6, EAA 93167-8, EAA 93169-70, EAA 93177-8, EAC 40001, EAC 30214, EAC 47119-20, EAC 30275, EAC 30276, EAC 30277, EAC 30278, EAC 30279

CD: TOCE 5971-5

●LP: 33CX 1266, 35231, 33WC 517, 33WCX 517, 33FCX 454, 33FCX 30093

①

LP: T 533-4, SHZE 169, 33QCX 101 87, C 70369, SM 143-9, SH 14 3-9, IC 181 01 830-6Y, 2M155 53 850-6, 3C 053 01 009, SLS 5 053, F 036

CD: CMS 763 201-2

②

LP: RLS 7715, RLS 154 6133, 33QC X 10149, IC 137 54 364-7

CD: CDH 763201-2

※54年9月20日はイギリス・ワトフォードのタウン・ホールでシュヴァルツコップとベートーヴェンのアリア2曲を録音するのだが、同日ベルリンで行なわれたフルトヴェングラー/ベルリン・フィルの最期の演奏会を聴いたという。

○ブルックナー/交響曲第5番変口長調

■ウィーンso.

▶1954年10月2日ウィーン・ムジークフェライン・ザール

●CD: PHCF 5211

●CD: Orfeo C 231 901A

※この日の前半のプログラムはモーツァルトの交響曲第39番。

○ビゼー/歌劇「カルメン」

■ジュリエッタ・シミオナート(Ms: カルメン), ニコライ・ゲッダ(T: ドン・ホセ), ヒルデ・グーデン(S: ミカエラ), ミシェル・ルー(Br: エスカミエリョ), グラツィエラ・シュッティ

ユーベルト 8番「未完成」とブラームス 2番／
チャイコフスキー 6番「悲愴」／ブラームス 4
番。東芝EMIの「カラヤンの芸術」上巻の特
典盤(BRC 8025)のシュベルト 8番「未完
成」はこのステレオ録音である。

○シャンペン・コンサート

①J.シュトラウス／喜歌劇「ジプシー
男爵」序曲②ヨーゼフ・シュトラウス／
ワルツ「うわごと」作品212③J.シュ
トラウス／ワルツ「芸術家の生涯」作
品318④J.シュトラウス／皇帝円舞曲
作品437⑤ヨーゼフ&J.シュトラウス
／ピチカート・ポルカ⑥J.シュトラ
ウス／ワルツ「美しき青きドナウ」作
品314

■フィルハーモニア o.

▶1955年 5月20日(⑤), 25日, 27日(③),
7月6日(②), 7日(③/④/①/⑥),
8日(⑥), 9日(⑤)ロンドン, キング
ズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

□ダグラス・ラーター

■XAX 794-5

⑧LP: XL 5147, AA 93013-4, EAC 471
11-2, EAC 37020-38

【オムニバス】

①

EP: AA 4634

LP: OL 3126, AA 8528, AA 5108

②

EP: AA 4620

LP: OL 3126, AA 7395, AA 8528,
AA 5108

③

EP: AA 4633, AA 4634

LP: OL 3126, ZL 14, AA 7396, AA 9
923-4, AA 5109

④

EP: AA 4073, AA 4129, AA 4538, A
A 4633, AA 4635

LP: ZL 14, AA 7395, AA 8528, AA 5
108

⑤

EP: GM 3, AA 4073, AA 4515, AA 4
538, AA 4635

LP: ZL 14, AA 7395, AA 8528, AA 5
108

⑥

EP: AA 4129, AA 4620, AA 4633, A
A 4634

LP: OL 3126, AA 7396, AA 8225, A
A 9923-4, AA 9987-8, AA 5109

⑧LP: 33CX 1393, 35342, 33FCX 531,
33FCX 30105, 33QCX 10205, C
80463, 33WSX 527

【オムニバス】

①

EP: C 41152

③

EP: C 50142, SELW 1503

④

LP: C 70465

CD: CMS 763 456-2

⑤

EP: SEL 1568

⑥

LP: C 70465

CD: CMS 763 456-2

○チャイコフスキー／交響曲第6番短
調作品74「悲愴」

■フィルハーモニア o.

▶1955年 5月17日, 21日, 23~24日, 27,
1956年 6月18日ロンドン, キングズウ
エイ・ホール

□ウォルター・レッグ

□ダグラス・ラーター

■XAX 769-70 || YAX 326-7

⑧LP: RL 3076, OL 3224, AA 7950-1,

: アデーレ, ニコライ・ゲッダ (T:
アイゼンシュタイン), ヘルムート・ク
レプス (T: アルフレート), ルドルフ
・クリスト (T: オルフスキエ公爵),
カール・デンヒ (Bs: フランク), エー
リヒ・クント (Br: ファルケ博士), エ
ーリヒ・マイクート (T: プリント),
ルイゼ・マルティニ (S: イータ),
フランツ・ペーハイム (Br: フロッシ
ュ), フィルハーモニア cho., フィルハ
ーモニア o.

▶1955年 4月26~30日ロンドン, キング
ズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

□ダグラス・ラーター

■XAX 765-8

⑧LP: XL 5127-8, AB 9167-8, AB 938
2-3, EAC 47279-80

CD: CE30 5467-8

【序曲】

EP: GM 14, AA 8528, AA 4635

LP: AA 7395, AA 93013-4, AA 5108,
EAC 47111-2

⑧LP: 33CX 1309-10, RLS 728, 3539B,
C 80512-3, 33WCX 533-4, 33Q
CX 10183-4, 1C 149 00 427-8,
2C 181 00 427-8, SMVP 6076,
FCX 489-90

CD: CHS 769 531-2

【ハイライト】

LP: 33CX 1516, C 80110, C 83440, 1
C 047 01 953, 1C 147 03 580-
1, 1C 047 28 181, 33WSX 602,
RLS 763

【序曲】

EP: SEL 1557 C 41152

【部分】

CD: CDM 763 657-2, CMS 763 790
-2

○①シュベルト／交響曲第8番短調
D.759「未完成」②ブラームス／ハイド
ンの主題による変奏曲作品56a

■フィルハーモニア o.

▶1955年 5月17~18日(②), 18~19日(①)
ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

□ダグラス・ラーター

■XAX 807-8 || YAX 325

⑧LP: EAC 37020-38

①

EP: AA 4704, AA 4512

LP: XL 5216, LPL 1002, OL 3125,
CA 1005, AA 7381, AA 9903-4,
AA 8211, AA 8215, AA 8218, A
A 8220, EAA 93175-6, EAA 931
77-8, EAC 40007, EAC 47119-2
0, EAC 30277, EAC 30281, EAC
30284, EAC 30287, EAC 30288,
BRC 8025

②

LP: AA 7654

CD: CE28 5188

⑧LP: 33CX 1349, 35299, 33QCX 1028
1, 33FCX 594

①

LP: HC 125, C 70390, 33WCX 536,
1C 047 01 441, 2C 059 43 355,
2M 055 01 441, SXLP 30513

CD: CDM 769 227-2

②

CD: CMS 763 456-2

【部分】

LP: 33SX 1394

※55年 5月は実験的にステレオ録音を並行し
て行なう。81年になって疑似ステレオ盤とは
別のマトリックス番号のステレオ盤がイギリ
スで3枚発売になった(SXLP 30500番台。シ

ントネルリーニ(合唱指揮), ローマ放
送so.

▶1954年12月19日 ローマ

⑧LP: Fonit Cetra ARK 6, Rodolphe
RP 12393-5

CD: HUNT KAR 218

○ビゼー／歌劇「カルメン」

■ジュリエット・シモナート (Ms: カ
ルメン), ジュゼッペ・ディ・ステファ
ノ (T: ドン・ホセ), ロザンナ・ガルテ
リ (S: ミカエラ), ミシェル・ルー (Bs:
エスカミール), グラツィエラ・
シュッティ (S: フラスキータ), ルイ
ーザ・リバッキ (S: メルセデス), マ
リオ・カルリン (T: ダンカイロ),
ジノ・デル・シニョーレ (T: レメ
ンダート), ジュゼッペ・モデスティ
(Bs: スニガ), エンツォ・ソルデルロ
(Br: モラレス), ミラノ・スカラ座 cho.
ミラノ・スカラ座 o.

▶1955年 1月18日ミラノ, スカラ座

⑧LP: Fonit Cetra LO 22, Discocorp R
R 470, Turnabout THS 65160-2

【ハイライト】

CD: CDS CD 102, HUNT KAR 221



▲Fonit Cetra LO 22 (ビゼー/歌劇「カルメン」)

○①モーツァルト／交響曲第35番二長調
K.385「ハフナー」②R.シュトラウス/
交響詩「ティル・オイレンシュピーゲル
の愉快ないたずら」作品28③ブラーム
ス／交響曲第1番短調作品68

■ベルリン po.

▶1955年 2月27日ワシントン

①

LP: SLF5003

②

LP: SLF5003

③

LP: SLF5004

⑧

①

LP: Fonit Cetra LO 506, Maestri del
Secola APE 1201, Moviment
Musica 01.003, WG Records
WG 30004, Joker SM 1315

CD: Joker CD 44122, VIRTUSO 26970
52

②

LP: Fonit Cetra LO 506, Foyer FO
1034

③

LP: Fonit Cetra LO 506, Maestri
del Secola 1202, WG Records
WG 30001, Joker MC 1346, C
87, ARTEMIS 951 003

○J.シュトラウス／喜歌劇「こうもり」

■エリーザベト・シュヴァルツコップ (S
: ロザリンデ), リタ・シュトライヒ (S

②ダグラス・ラーター(②), クリストフ
リート・ビッケンバッハ(①/⑥), ホ
ルスト・リントナー(①/⑥)

③M XRX 37-8 || YRX 1-2

④LP: OS 3048

[オムニバス]

①

EP: AA 4070, AA 4526

LP: CD 1001, SCD 1012, AA 7024,
AA 7393, AA 8359-61, AA 8473,
AA 8637, AA 9919-20, AA 9301
9-20, EAC 47117-8

CD: CE28 5458, CE22 5448-50,

②

LP: AA 7657, AA 8648

EP: AA 4070, AA 4526

LP: AA 7024, AA 7384, AA 8637, A
A 9919-20

CD: CE22 5448-50

④

EP: AA 4070, AA 4526

LP: AA 7024, AA 7384, AA 8637, A
A 9919-20

CD: CE22 5448-50

⑤

EP: AA 4070, AA 4526

LP: AA 7024, AA 7384, AA 8637, A
A 9919-20

CD: CE28 5458, CE22 5448-50

⑤

EP: AA 4069, AA 4536

LP: AA 7386, AA 8658, AA 9919-20,
AA 9928, AA 93017-8, AA 5106,
EAC 47115-6

CD: CE28 5458

⑥LP: SAX 2389, 33CX 1741, 35948, S
35948, 33FCX 887, SAXF 206, 3
C 053 00 520, CGL 02

①

EP: SMC 41611

LP: STC 70461, SBOW 8504, 1C 06
3 00 737, 1C 153 52 345-7Y, 2
C 053 00 723, SXLP 30161, SL
S 839, SME 80975, STC 50543,
C 50543, SMC 70461, ORBIS 7
6947, 023 769 404-1, 065 100 7
37-1, 137 290 528-3, 197 152 3
45-3

CD: CDM 769 445-2, CDM 769 882
-2, CDM 769 465-2, 521 159 91
5-2, 627 769 437-2

②

LP: YKM 5002, SXLP 30161

③

LP: 2C 053 00 723, SME 2021-2

CD: CDM 769 882-2, CDM 769 465
-2

④

LP: 2C 053 00 723, SME 2021-2

CD: CDM 762 882-2

⑤

LP: 2C 053 00 723, YKM 5002, SXLP
30161, SLS 839, SME 2021-2

CD: CDM 769 445-2, CDM 769 882
-2, CDM 769 465-2

⑤

LP: 2C 053 00 723, SXLP 30161, S
LS 839

CD: CDM 769 445-2, CDM 769 465
-2

※55年7月にウィーンでベートーヴェンの9
番「合唱」と一緒に録音された「アヴェ・ヴ
エルム・コルプス」がこのアルバムに入るた
め、この位置の配列になった。この曲のみモ
ノラル録音。SAX 2389, 33CX 1741とも61年12
月新譜。日本盤のOS 3048は62年1月の新譜
である。

▶1955年7月9日(②), 10日(①/②),
10月10~11日(①) ロンドン, アビー
ロード・EMI・第1スタジオ(55/7),
キングズウェイ・ホール(55/10)

②ウォルター・レッグ

③ネヴィル・ボイル

④M XAX 882-3

⑤LP: AA 7657, EAC 37001-19

①

LP: ZL 34, LPL 1002, SCA 1107, A
A 7572, AA 8648, EAC 40008

②

LP: RL 3039

CD: TOCE 5976-9

⑥LP: 33CX 1361, 35323, 33FCX 740,
33QCX 10256, C 90500, 33WCX
1361, 33GHX 3002(オランダ),
LPC 11909(アルゼンチン)

CD: CMS 763 456-2

①

LP: 35739, C 90633, C 91304

②

LP: XLP 60004

CD: CMS 763 316-2

[部分]

LP: 33SX 1394



▲LPC 11909(モーツァルト 交響曲第35番他)

①モーツァルト/ディヴェルティメント
第17番より「メヌエット」(第3楽章)

■フィルハーモニア

▶1955年7月10日ロンドン, アビーロ
ード・EMI・第1スタジオ

②ウォルター・レッグ

①モーツァルト/①歌劇「ドン・ジョバ
ンニ」より「手を取りあって」②「フ
ィガロの結婚」より「もう飛ぶまいぞ、
この蝶々」

■ティト・ゴッビ(Br), フィルハーモニア

②。▶1955年7月10日ロンドン, アビーロ
ード・EMI・第1スタジオ

③ウォルター・レッグ

①モーツァルト/セレナード第13番ト
長調K.525「アイネ・クライネ・ナハ
トムジーク」②モテット「アヴェ・
ヴェルム・コルプス」K.618③4つの
ドイツ舞曲K.602-3④6つのドイツ舞
曲K.600-5「カナリア」⑤3つのドイツ
舞曲K.605-3「そり滑り」⑥ヘンデル(ハ
ーティ編)/組曲「水上の音楽」

■ウィーン楽友協会cho.(②), ベルリン
po.(①/③~⑥), フィルハーモニア

②。▶1955年7月28日(②), 1958年1月9日
(⑤), 1959年12月30~31日(①/⑥),
1960年11月9~11日(③/④), ベルリ
ン, グリュンネヴァルト教会(①/③
~⑥), ウィーン, ムジックフェライン
・ザール(②)

③ウォルター・レッグ

AA 9903-4, AA 8213, AA 8217,
AA 8219, AA 8220, AA 9969-70,
EAA 93161-2, EAA 93163-4, E
AA 93171-2, EAA 93173-4, EAA
93175-6, EAC 40013, EAC 4712
1-2, EAC 30279, EAC 30283, E
AC 30286, EAC 30288, EAC 302
89, EAC 37020-38

⑥LP: 33CX 1377, 33FCX 576, SXLP 3
0534, 1C 037 00 935, 023 769 4
16-1

CD: CMS 763 460-2

[部分]

LP: 33FC 25136

①ブラームス/交響曲第2番ニ長調作品
73

■フィルハーモニア

▶1955年5月24~25日ロンドン, キング
ズウェイ・ホール

②ウォルター・レッグ

③ダグラス・ラーター

④M XAX 762-3 || 2YEA 7149-50

⑤LP: XL 5219, AA 7656, EAC 40015,
EAC 37020-38

CD: CE28 5188

⑥LP: 33CX 1355, 35218, 33FCX 586,
33QCX 10231, C 90498, 33WCX
1355, 1C 037 03 979, SXLP 305
13

CD: CDM 769 227-2

①ブラームス/交響曲第4番ホ短調作品
98

■フィルハーモニア

▶1955年5月26日ロンドン, キングズウ
ェイ・ホール

②ウォルター・ジェリネック

③クリストファー・パーカー

④M XAX 802-3 || YAX 330-1

⑤LP: XL 5155, AA 7655, EAC 40016,
EAC 37020-38

CD: CE28 5189

⑥LP: 33CX 1362, 35298, C 90501, 1C
037 03 604, 2M 155 03 603-4,
FCX 538, SXLP 30505, LPL 11
868(アルゼンチン)

CD: CDM 769 228-2

①シベリウス/①交響曲第6番ニ短調作
品104②交響曲第7番ハ長調作品105

■フィルハーモニア

▶1955年7月4日(①), 5日(①/②),
6日(②) ロンドン, キングズウェイ・
ホール

②ウォルター・レッグ

③ダグラス・ラーター

④M XAX 826-7

⑤LP: XL 5171, AB 7047, AA 7649, E
AC 40021, EAC 37020-38,

⑥LP: 33CX 1341, 35316, 33QCX 1019
5

CD: CMS 763 464-2

②

LP: SXLP 30430

①レズニチュク/歌劇「ドン・ティア
ナ」序曲(部分)

■フィルハーモニア

▶1955年7月9日ロンドン, キングズウ
ェイ・ホール

②ウォルター・レッグ

①モーツァルト/①交響曲第39番変ホ長
調K.543②クラリネット協奏曲イ長
調K.622

■バーナード・ウォルトン(c), フィル
ハーモニア

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

ヘルベルト・フォン・カラヤン



指揮者
オーストリア
1908.4.5~1989.7.16

第1期
第8回



「指揮棒の魔術師」
第六章…職をなくした男④

フルトヴェングラーとの確執 ハンスヤーコフ・クレーバー著 高橋みき訳・注釈

ウィーン、ロンドン、ミラノ、ルツェルン、そして翌一九四九年の春には、南米への演奏旅行（キューバ、ブラジル、アルゼンチン、チリ）が加わった。ほどなく、世界中の大オーケストラと西側世界の主要な首都でカラヤンが指揮していないところはほとんどなくなってしまう。当時ある逸話が生まれたのだが、カラヤンは七十五歳になってもそれを自分から語り続けた。その逸話というのは、カラヤンがある時タクシーに飛び乗り運転手が「どちらまで？」と聞いた時、「どこへでもやってくれ。私は至る所で用事があるんだから！」と答えたというものであった。その逸話の中にはほんのちよっぴり真実が含まれており、賢明になったマエストロはそれについてニヤリと笑い、「既に三十年も前からそのようであったのだらう。だがそれは、そこで本質的なものをそうでないものから区別するということを学ぶために、人が通過しなければならぬ期間なのである」と語った。



事務所で打ち合わせ中のマツナーとカラヤン。

この件の非はつきりとフルトヴェングラーの側にあった。
ヘルベルト・フォン・カラヤンは一九五〇年、ウィーンでのパッサン音楽祭（注1）のためにウィーン・フィル、ウィーン楽友協会合唱団と共に『マタイ受難曲』をほとんど百回近く練習した。もちろん楽友協会は前もって、ウィーン・フィルの首席指揮者ウィルヘルム・フルトヴェングラーに指揮の依頼を申し出ていた。ただフルトヴェングラーが、それに対して見解を明らかにしなかったのである。そ

ここでカラヤンに申し出たところ、彼はすばやくこの機会を利用したのであった。
突然——カラヤンによる練習はもうはるか進んでいたのだったが——フルトヴェングラーが、『マタイ受難曲』をパッサン音楽祭以外で、「ウィーン・フィルの定期演奏会」で演奏する旨を申し出た。もちろんそのようなことは、その時点でもはや問題にはされなかった。フルトヴェングラーはカラヤンに対し憤り、カラヤンもまたそのあつかましい要求のためフルトヴェングラーに押し負けた。最終的にはカラヤンが指揮して大成功をおさめた——また彼はその演奏を録音した。（注2）つまり、『マタイ受難曲』を映像にしたのであり——彼は当時から既に他のメディアへと移っていたのである。視覚的造形は彼を魅了していた。すなわちパッサンの音楽を、キリストの受難を題材にしていた巨匠たちの絵画や描写に置き換えたのである。

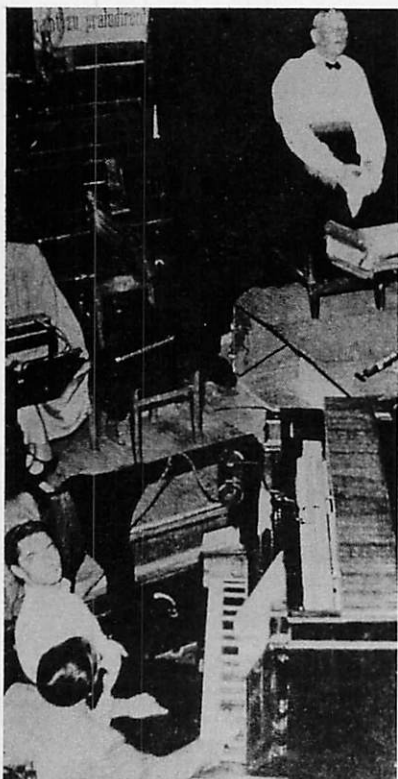
この映像の製作中カラヤンは、以前映画俳優だったアンドレ・フォン・マツナーと知り合った。彼はマエストロよりも九歳年長で、その本職に精通していた。彼は数多くの喜劇映画に、魅力的で洗練された第二の恋人役として出演していた。すなわち、『甘やかな秘密』（二一年）、『ワルツの戦い』（三三年）、『私が幸せな



時はいつも「三十八年」、『グランドホテル』の冒険・『三人のいかした娘』（四三年）、『現行犯』（四四年）、『ウィーンの娘たち』（四五年）であった。

マッソーニはカラヤンに全く盲従した献身的な私設秘書になり、トリスタンがかつて持ったことのないようなクルヴェナルとなった。彼はカラヤンの右腕となつて、書類と事務に関する一切の煩雑な用事を処理していったのである。彼は城壁のようにその雇い主兼「ボス」を、この世界の敵しさからかばつた。彼は陰謀を見破り、敵の翼に対抗して翼を仕掛け、外渉手腕にだけ、もしくは好機が到来したと見えるや周囲の目を引きつけるような直情さをもつて強く敵を攻撃した。彼は、その雇い主兼主人が行なうこと全てに対し、それが論理的であれその時々々の気まぐれであれ怒りの爆発であれ、それに自己を同一化したのだつた。

マッソーニが何事かを傳達する時には、彼は「我々」という言葉を使用した。例えば、あの有名になった言葉である「我



クナッパースブッシュのために、ピアノに向かってコレペティートルを勧めるカラヤン。(パイロイト1951年)

々はオーストリアと絶縁する！」という具合である。その言い方は非常に誇らしく聞こえたので、カラヤンが彼に求めていた全くありふれた使い走りの用事など、彼がするなどは周囲の者は全く思つてもみなかったのである。マッソーニはそれらを、王侯貴族のような態度で処理していた。そして全く私的な事ながらについても、全力を尽して秘密を厳守しながら心を砕いていた。七十年代に公職から退いた年老いたマッソーニに対する賞讃は、何人もとり消すことはできない。なぜなら彼は、カラヤンの決して容易ではなかった人生の道のりの長い部分をずっと、彼から離れることのない影のようにして働いてきたからである。一九八五年、彼はザルツブルクで——その主人のかたわらで——亡くなつた。

五十年代初めに戻ろう。ザルツブルク音楽祭はフルトヴェングラーが支配していたので、カラヤンはそこではほとんどすることがなかった。そこで、バイロイトが彼を招いた。一九五一年、戦後初め

での「リヒャルト・ワーグナー音楽祭」が開催された。ヴィーラント・ワーグナーは、カラヤンを「ニルンベルクのマイスタージンガー」と《指環》第二部のために招聘した。（注3）第一部は長老ハンス・クナッパースブッシュが指揮していたのだが、カラヤンはそつとピアノ伴奏による練習に忍び込み、ピアノリストを追い出して自分で歌手たちの伴奏をした。もちろんクナナの拍子に合せて。彼はしばらくくしてようやく、コレペティートルではなくカラヤンが座つてすることに気がついた。そこで彼はニヤリと笑い、しわがれた低い声でがなりながら「あなたをコレペティートルとしてワーグナーに推薦します。彼はたぶんあなたと契約するでしょう！」と言つた。

アーヘンから来た彼のかつての合唱指揮者ヴィルヘルム・ピッツ（注4）と共に、カラヤンは人目につかないオーケストラボックスの中で今や、世界中から集まつた音楽祭の聴衆を熱狂の嵐へと誘い、祝祭大劇場の客席の椅子の固さを忘れさせてしまふという音楽体験を創造していたのだつた。

ルドルフ・ハルトマン演出による「ニルンベルクのマイスタージンガー」のリハーサルの雰囲気について、ヴァルター・アイヒナーはバイロイト音楽祭パンフレット「パイロイトをめぐる世界討論」（一九五二年）の中でその印象を記している。

一九五一年七月二十日……一人のやせた男が非常にエネルギーに舞台の上で

動き回っている。ヘルベルト・フォン・カラヤンである。今まで彼は閉ざされた扉の後ろ側でのみ、オーケストラとリハーサルを行なっていた。この指揮者に関する世間の全く不思議なうわさや彼の同僚が言うには、彼の脳の中にはあたかもばねが入っているかのであるとのことだ。彼はあるリハーサルで、彼が特に愛している人物であるベックメツサーのものまねをすることになった。そして神が彼に美声を恵んだなら、彼は自らベックメツサーの生涯のために歌つたに違いなかった。彼はその総譜を全て暗記しており、彼が知人に会つた時にはワーグナーに關してではなく、スキー、パイロットの試験、現代文学について雑談していた。カラヤンはニルンベルクの職人たちの間をゆつくりと動き、歌い出しを指示し、徒弟たちによく言い聞かせていた。彼は熱狂的な活動家であり、しなやかで、自ら何かを模範として示したり共に力を貸し与えたりする心づもりが常にあつた。そして、彼はハンブルクの北西ドイツ放送交響楽団の名高い指揮者ヴィルヘルム・シュヒターと共に、ピアノの前に着席していた。シュヒターの双肩には、マイスターたちの合唱の難しいアンサンブルを覚え込ませる責任ののしかかつていたのである。力強くどろろき出す「目覚めよ」の合唱の順番が来た時、合唱指揮者ヴィルヘルム・ピッツは行動を起こした。彼の上にも、ただ熱狂した声のみが押しよせた。彼はドイツでも歌の好きな人々が住む地方の出身であり、合唱団から精密さと強弱表現に際し持てる力の





全てを引き出した。合唱団は全員の彼のために、また彼は合唱団のために命をおしまないことだろう……。

バイロイトの広報担当長アイヒナー博士の言葉から響き出している熱狂は、当時バイロイトの緑の丘にいた者全てを最高の出来ばえへと運んで行つた。再び国際的な評価が戦後六年たつて戻つて来た！それは偉大な成果であつた！

カラヤンのためには、翌年バイロイトで楽劇《トリスタンとイゾルデ》が上演された。演出はヴァーランド・ワグナーであった。その前年に《ニibelungの指環》でそうしたように、ワグナーの孫は《トリスタン》でも舞台から徹底的に大道員を取りのけてしまった。

それは、保守主義者カラヤンの氣に入らなかつた。カラヤンはヴィーラントのことをそれ以外でも、「その同僚に能力

がないことを望むような独裁者」と見なしていた。より正確には、ヴィーラントはカラヤンの抗議を受けつけようとしなかったのである。

「世界の音楽総帥」は、もはやその時からバイロイトへは少なくとも指揮者としては決して向かわなかった。——せいぜい観客として一度、彼の美しい三番目の夫人と一緒に訪れたのみであった。

次回より第7章「帝王」がはじまります。

〔注釈〕
(1) この年はJ・S・バッハの没後二〇〇年にあたり、各地でこれを記念する演奏会があった。ウィーンでは「国際バッハ音楽祭」として大規模な記念週間が催された。

(2) ルンスト・マリシユカ監督によるカ
十五分のモノクロ映画。本デイスコグラフィ
はこの映像の収録を前年四九年の十一月に係
けた。カラヤンの手がけた映像作品の最初
の作品。ウィーン楽友協会合唱団の記録として
この作品の録音を四八年十一月の前半として
いる。いずれにせよ、五〇年六月の「国際
ツハ音楽祭」よりは前に収録されたものでも
ある。

(3) 五一年におけるパイロライト音楽祭での「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」は七月二十七日・八月五・十六・十九・二十・二十四日の六回上演され、最後の二日分をライブ録音されLP化された。また「指環」は第二部を指揮した。八月十一日(ラインの黄金) 十二日(ワルキューレ) 十三日(ジークフリート) 十五日(神々の黄昏)。

(4) 一八九七—一九七三アーヘン郊外の
 プライニク出身の合唱指揮者。カラヤンとはい
 アーヘン時代に知り合い、戦後のバイロイト
 音楽祭に推薦・起用された。七一年に現役引
 退するまでこの地位にあった。

ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 (資料提供: デイヴィッド・C・ラムボン(イギリス))

「ディスコグラフィ記載方法」

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(⒫)、ディレクター(Ⓓ)、レコーディング・エンジニア(Ⓔ)、マトリックス番号(Ⓜ)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前のⓋは映像作品を示す。
● レコード番号は S、P、E、P、L P(10インチを含む)、C D、L Dの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
● L P期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって配してある。
● アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示しているはない。
● 未発売のものについては、わかる範囲でデータを付した。
● オペラ全曲盤よりのアリア一曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
● 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用しな。

SEL 1641, SCBQ 3027, SCBQ30
48. C 50510

LP : SHZE 110, 153 291 265-3
CD : CDC 749 502-2

◎ドニゼッティ／歌劇「ランメルモールのルチア」

■ マリア・カラス(S:ルチア), ジュゼッペ・ディ・ステファノ (T:エドガルド), ロランド・パネライ(Br:エンリーコ), ニコラ・ザッカリア(Bs:ライモンド), ジュゼッペ・ザンビエリ(T:アルトゥーロ), ルイザ・ヴィア(Ms:アリーサ), レナート・エルコラーネ(T:ノルマンノ), ミラノ・スカラ座cho., ベルリンRIAS so.

▶ 1955年9月29日ベルリン市立歌劇場
 ④ LP: OP 7549-50, GT 7053-5

CD: CE30 5120-1, TOCE 6018-9
[部分]

EP : GM 23
LP : CA 1003, EAC 93027-8, EAC70
198, EAC 81030

⑧ L P : 33CX 1296-8, 33FCX 472-4, C
90462-4, 33WCX 1296-8, 33QCX
10156-8, 1C 153 00 424-6, 2C
163 00 424-6, 3523C, EX 29 12
65-3, SLS 5015, 3C 163 00 424
-6

CD : CDS 747 959-8

〔ハイライト〕

LP : 33CX 1787, C 80529, 33FCX 30
135, 33WSX 546, 33QCX 10471,
SELW 1625, 33WSX 546, 33QC
X 10471, 33WSX 546 SLS 5104

〔部分〕

EP : SEL 1617, SEL 1625, SEL 1637.

◎ブッチーニ／歌劇「蝶々夫人」

■ マリア・カラス(S:蝶々夫人), ルチア・ダニエル(Ms:スズキ), ルイザ・ヴィッラ(Ms:ケート), ニコライ・ゲッダ(T:ピンカートン), レナート・エルコランニ(T:ゴロー), マリオ・カルリン(T:ヤマドリ), マリオ・ポリエロ(Br:シャープレス), ブリニオ・クラバッシ(Bs:僧侶ボンゾ), エンリーコ・カンビ(Bs:神官), ミラノ・スカラ座cho., ノルベルト・モーラ(合唱指揮), ミラノ・スカラ座o.

▶1955年8月1～6日ミラノ・スカラ座
ホール

⑨ウォルター・レグ

【E】ロバート・ペケット

M XBX 22-7

Ⓛ P : XL 5138-40, OL 3166-8, AB 90
74-6, AB 9354-6, EAC 77086-8

(S), フィルハーモニア。

▶1956年6月20日ロンドン, ロイヤル・フェスティヴァル・ホール

□ウォルター・レッグ

□ダグラス・ラター

CD : TOCE 6872-6

CD : CMS 763 709-2, CDM 763 655-2

※フィルハーモニア管弦楽団の演奏会のライブ録音。春/眠るとき/夕映えの中に/9月の順で演奏されている。

◎ヴェルディ/歌劇「トロヴァトーレ」

■マリア・カラス(S:レオノーラ), フェードラ・バルビエリ(Ms:アズチエーナ), ルイザ・ヴィッラ(Ms:イネス), ジュゼッペ・ディ・ステファノ(T:マンリーコ), レナート・エルコラーニ(T:ルイス/使者), ロランド・パネライ(Br:ルーナ伯爵), ニコラ・ザッカリア(Bs:フェランド), ジュリオ・マウリ(Bs:老ジプシー), ミラノ・スカラ座cho., ノルベルト・モロー(合唱指揮), ミラノ・スカラ座o.

▶1956年8月3~4日, 6~9日ミラノ・スカラ座ホール

□ウォルター・レッグ

□ロバート・ベケット

CD : BX 65-9

CD : LP : XL 5208-10, RL 3053-5, AB 9306-8S, EAC 77096-8

[部分]

LP : AB 8011, EAC 40157, AB 9395-7, AA 93027-8, EAC 70198, EA C 70211-3-3, EAC 81030, EAC 80126-7

CD : CE30 5116-7, TOCE 6016-7

CD : LP : 33CX 1483-5, 3554C, 33CX 1483-5, 33CX 763-5, C 90561-3, 33WCX 1483-5, 33QCX 10267-9, 1C 153 00 454S-6, SLS 869

CD : CDC 749 348-2

[ハイライト]

LP : 33CX 1682, 3743, 3814, 36966, 33FCX 30181, C 80492, 33WSX 530, 2C 161 01 433-4, 1C 191 01 433-4, 1C 191 01 593-4, 1C 053 01 677, 1C 187 28 985-6, 1C 063 03 253, 1C 065 00 741, 1C 027 03 903, SLS 856, SLS 5104, SLS 5057, S 36966, D 0124 91-2

[部分]

EP : SLC 1627, SLC 1641, SLC 1645, SLC 1653, SLC 1671, SLC 1678, SLC 1789, ESBF 17099, SEBQ 223, SCBQ 232, SCBQ 3045, S CBQ 3047



▲C 80492(ヴェルディ「トロヴァトーレ」-ハイライト)

◎R.シュトラウス/楽劇「ばらの騎士」作品59

■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S

CD : LP : SLF 5021

CD : LP : Fonit Cetra LO 531

CD : Joker CD 44122, Licenza Nuova Era NS Hvk 105, ARKADIA CD KAR 231

①

LP : Foyer FO 1034, CGL 14

②

LP : Maestri del Secolo APE 1201, Movimento Musica 01.003, WG Records WG 30004, Joker SM 1315

※モーツァルト生誕200年記念週間におけるライブ録音。



▲CD 44122(モーツァルト ピアノ協奏曲第20番他)

◎ヴェルディ/歌劇「ファルスタッフ」

■ティト・ゴッピ(Br:ファルスタッフ), エリーザベト・シュヴァルツコップ(S:フォード夫人), アンナ・モッフォ(S:ナンネッタ), ナン・メリマン(Ms:ペイジ夫人), フェードラ・バルビエリ(Ms:クイックリー夫人), ルイジ・アルヴァ(T:フェント), トーマゾ・スパターロ(T:ケイアス), レナート・エルコラーニ(T:バルドルフォ), ロランド・パネライ(Br:フォード), ニコラ・ザッカリア(Bs:ピストーラ), フィルハーモニアcho., ロベルト・ベネーリ(合唱指揮), フィルハーモニアo.

▶1956年6月18日, 21~23日, 25~29日, 7月24日ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

□ダグラス・ラター/クリストファー・パーカー

CD : YAX 16-21 || XAX 981-6

CD : LP : RL 3031-3, OS 3057-9, AA 9240-2, EAC 57001-2

CD : EC30 5203-4

CD : LP : SAX 2254-6, 33CX 1410-2, S MS 1001, SLS 5037, SLS 5211, 3552C, S 3552C, C 90524-6, ST C 90524-6, 33WCX 1410-2, 33QCX 10244-6, 0C 153 00 442-4, 1C 165 02 125-7, 1C 153 00 442-4, 2C 167 03 951-2, 2C 167 951-2, 3C 163 00 442-4, EX 74 9 668-1

CD : CDS 749 668-2

[ハイライト]

LP : 33CX 1939, SAX 2578, 1C 063 02 209, 1C 027 03 903, C 8061 5, 33WSX 568, 1C 153 03 951-2, 820 520

[部分]

CD : CDM 769 338-2

◎R.シュトラウス/4つの最後の歌AV. 150

■エリーザベト・シュヴァルツコップ

CD : PAL 2009-10

[部分]

CD : ANF 15

CD : LP : LER 101, BJR Records BJR 13 3, Morgan Records MOR 5401, Fonit Cetra LO 18, Turnabout THS 65144-5, Replica ARPL 3 2495, Paragon DSV 52004, Movimento Musica 02.001, Fonit Cetra ARK 5

CD : Melodram MEL 26004, HUNT CD 502, Rodolphe RPA 232518, Verona 2709-10, Movimento Musica 012 010, Rodolphe RPL 32518, VIRTUOSO 2697232, Rodolphe RPV 32667-8, CDS 763 631-2

[部分]

LP : Rodolphe RP 12701, Dischi Ricordi OCL 16331, Joker SM 12 98, Longanesi Periodici GML 1, M10 44825(ソヴィエト)

CD : Movimento Musica 011.002, Fonit Cetra CDE 1027, VIRTUOSO 2697112, Licenza Nuova Era NS Hvk 110, CDS 51027, CDS 51029, HRCDO 8002, HRCDO 8003, Rodolphe RPC 32484-7

◎ムソルグスキー(ラヴェル編)/組曲「展覧会の絵」

■フィルハーモニアo.

▶1955年10月11~12日, 1956年6月18日ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

□ダグラス・ラター

CD : YAX 61-2 || XAX 977-8

CD : LP : RS 3007, OS 3007, OL 3229, S CA 1041, AA 7282, AA 7388, A A 8649, AA 9937-8, AA 5101, EAC 30257, EAC 55036

CD : LP : SAX 2261, 33CX 1421, SXLP 3 0445, SLS 5019, 35430, S 35430, 33FCX 518, SAXF 131, C 90532, STC 90532, 33WCX 1421, 33QCX 10266, SAXQ 7271, 1C 037 01 390, 2C 053 01 169, 3C 065 00 445, 3C 063 00 445, SME 2 021-2, SMC 90532, SCB 3710, AE 34419

CD : CDZ 762 860-2

[部分]

LP : 2C 053 01 413



▲35430(ムソルグスキー「展覧会の絵」)

◎モーツァルト/①ピアノ協奏曲第20番二短調K.466②交響曲第41番ハ長調K.551「ジュピター」

■ヴィルヘルム・ケンプ(p)(①), ベルリンpo.

▶1956年1月21日ベルリン

③

EP: AA 4068
LP: AA 93017-8, EAC 47115-6
※LP: 33CX 1496, 35482, 33FCX 689,
33QCX 10321, C 90286, 33WCX
512, 2C 069 02 604, 1C 137 54
360-3, 2M 055 03 388
CD: CDS 763 321-2

◎①ヒンデミット/交響曲「画家マティス」
②ベートーヴェン/交響曲第7番
イ長調作品92

■ウィーンso.

▶1957年2月18日ウィーン, ムジークフ
ェライン・ザール

CD: PHCF 5226

※CD: Orfeo C 232 901A



▲C 232 901A(ヒンデミット/交響曲「画家マティス」他)

◎シューマン/交響曲第4番ニ短調作品
120

■ベルリンpo.

▶1957年4月25〜26日ベルリン, グリュ
ンネヴァルト教会

Pフリッツ・ガンス

Eホルスト・リントナー

M XRX 225 || RX 31-2

LP: ZL 3005, OL 3001, AA 7384, EA
C 40007

CD: TOCE 5984-7

※LP: 33C 1056, 33HC 111, 1C 137 54
095-9, FC 1070, 1C 147 01 441,
RLS 768, C 70080, 2M 055 01
441

CD: CDS 763 321-2, CDF 300016-2

※ベルリン, グリュンネヴァルト教会での初
録音セッション。

◎ベートーヴェン/交響曲第9番ニ短調
作品125「合唱」

■エリザベト・グリュンマー(S), マ
ルガ・ヘフゲン(A), エルンスト・ヘ
フリガー(T), ゴットロープ・フリッ
ク(Bs), 聖ヘドヴィヒ大聖堂cho., ベ
ルリンpo.

▶1957年4月25日ベルリン

※LP: Maestri del Secolo APE 1209,
Movimento Musica 08.001, Re-
plica SRPL 22400, WG Records
WG 30009, Joker SM1340, C 86,
ARTEMIS 910 001

CD: ARTEMIS 710 001

※ベルリン・フィル創立75周年記念演奏会の
ライブ録音。

【訂正】

52年11月のパッハのミサ曲短調と54年7月
の「タイスの瞑想曲」のヴァイオリン・ソロ
のフィルハーモニア管弦楽団のコンサート
・マスターをマノウ・バリキアンと訂正いた
します。また、53年11月のモーツァルト協奏
交響曲とセラナードのオーボエ・ソロをシド
ニー・サットクリフと訂正いたします。

ッラーロ(イタリア語版)

▶1956年12月22日(①), 1957年4月28日
(①/②), 30日(②)ロンドン, キング
ズウェイ・ホール(1956), アビーロー
ド・EMI・第1スタジオ(1957)

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター

M YAX 192-3 || XAX 1334-5

LP: RL 3062, OS 3010, AA 7355, A
A 8130, EAA 148, EAC 70110,
EAC 81050

①

LP: TS 3066

②

EP: GM 28, AA 4034, AA 4501, AA
4674

LP: CD 1001, HJ 5047, SCD 1012,
AA 93019-20, EAC 47117-8

※LP: SAX 2375, 33CX 1559, 35638,
S 35638, 33FCX 30531, 33QCX
10339, 3C 053 00 863, SHZE 2
43, 33FC 25168, 1C 063 01 361,
2M 055 16 305, SAXF 130531,
3C 063 00 868

①

LP: C 70081, 33WC 506, 2C 053 01
169

CD: CDZ 25 2201-2

②

EP: ESBF 17079, SMC 50600, SMC
41609

LP: SXLP 30161, SLS 839, C 70391,
STC 70461, SMC 80975, 1C 063
00 737, 2C 053 00 723, 023 769
404-1, 065 100 737-1

CD: 521 159 915-2, 627 769 437-2

※「ピーターと狼」のナレーションは5ヶ国語,
6種類ある。オリジナルのユスティノフ盤
の録音は57年12月17日に行なわれている。レ
オポルド・モーツァルトの「カサシオン」
はハイドンの「おもちゃの交響曲」と表記さ
れているものもある。



▲CDZ 25 2201-2(プロコフィエフ「ピーターと狼」)

◎ワーグナー/①楽劇「トリスタンとイ
ゾルデ」より前奏曲と愛の死②歌劇「タ
ンホイザー」序曲③楽劇「ニュルンベル
クのマイスタージンガー」第一幕前奏
曲

■ベルリンpo.

▶1957年1月7〜8日(①/②), 2月18
〜19日(③)ベルリン, グリュンネヴァ
ルト教会

Pウォルター・レグ(③), フリッツ・
ガンス(①/②)

Eホルスト・リントナー(②/③)

M XRX 217-8

LP: XL 5224, OL 3137, AB 7028, AA
7385, AA 9927, AA 8657, AA 51
04

②

LP: AA 93017-8, EAC 47115-6

：ウェルデンベルク侯爵夫人/貴族の
孤児), オットー・エーデルマン(Bs:
オックス男爵), クリスタ・ルースヴィ
ヒ(Ms: オクタヴィアン/貴族の孤児),
エーベルハルト・ヴェヒター(Br: フ
ァニナル), テルザ・シュティヒ=ライ
ダ(Sc: ゴッティ), パウル・クーエ
ン(T: ヴァルツァツキ), エーリッヒ
・マイクート(T: 侯爵家の家令), ゲ
ルハルト・ウンガー(T: ファニナル
家の家令/動物売り), ニコライ・ゲッ
ダ(T: 歌手), リューバ・ヴェリッテ
ユ(S: マリアンネ), ケルスティン・
マイヤー(A: アンニーナ/貴族の孤
児), フランツ・ビルバハ(Bs: 警
部), ハラルト・ブレイクルホフ(Br:
公証人), カール・フリードリヒ(T:
料理人), アニ・フェルベルマイヤー(S:
小間物売り), ラフトン女子高校cho.,
バンクロフト高校児童cho., フィルハ
ーモニアcho., ヴィルヘルム・ビツ
(合唱指揮), フィルハーモニアo.

▶1956年12月10〜15日, 17〜22日ロンド
ン, キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラーター/クリストファー
・パーカー

M YAX 49-56 || XAX 1159-66

LP: OS 3110-3, AA 9209-12, AA 94
53-6, EAC 77217-20

CD: CE30 5022-4, TOCE 6444-6

[ハイライト]

LP: EAA 80200

CD: CE33 5485

※LP: SAX 2269-72, 33CX 1492-5, SL
S 810, 3563D, S 3563D, 33FCX
750-3, C 90566-9, STC 90566-9,
33WCX 1492-5, 1C 191 00 459
-62, 2C 165 00 459-62, EX 29
00 453, EX 749 354-1

CD: CDS 749 354-2

[ハイライト]

LP: 33CX 1777, SAX 2423, 35645, S
35645, S 3754, 30507, 130507, 1C
063 00 720, C 80661, STC 8066
1, 061 100 720-1, 33WSX 597

CD: CDM 763 452-2

[部分]

CD: CDM 763 657-2, CMS 769 131
-2, CDM 769 338-2, CMS 763
790-2



▲S 3563D(R.シュトラウス「ばらの騎士」)

◎①プロコフィエフ/「ピーターと狼」作
品67②L.モーツァルト/カサシオン
ト長調

■フィルハーモニアo.

①の各国語ナレーション
ピーター・ユスティノフ(英語版), ア
ンネリーゼ・ローテンベルガー(ドイツ
語版), ロミー・シュナイダー(ドイツ
語版), ロベルト・ヒルシュ(フランス
語版), 坂本九(日本語版), ティノ・カ

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

ヘルベルト・フォン・カラヤン



連載「指揮棒の魔術師」第七章：帝王①

再びベルリン・フィルの指揮台へ

ハンス・ヤーコプ・クレーバー著 高橋みき訳・注釈

ある有名な指揮者も、そのパーティーの招待客である。彼の名はヘルベルト・フォン・カラヤンである。

晩餐会の間、その指揮者はそのママカンの隣に着席している。彼は魅惑し、魅惑し返された。彼は生き生きとまた深い関心を持って、音楽についてだけでなく神と世界について雑談している。そしてその後……彼はムレー嬢を、翌日のティニスへ誘っている。彼は彼女を打ち負かしている。——もちろん試合でも。そしてその後、それ以上の進展はなかった。エリエツテは二十五年後に回想して「ほとんど私は彼を忘れてしまったのです」と語った。まずは、最小限のことが起こったのだ。



結婚式後にはじめて公表された2人の写真(1958年)

ヘルベルト・フォン・カラヤンもまた、何はさておき別のことをなさねばならなかった。彼は、自身の音楽帝国を建設している最中だったのである。カラヤンは皇帝、音楽世界における最大の帝王《Imperator maximus musicae》であり、それ以上でもそれ以下でもなかった。帝国の建設は、一九三八年に初めてベルリン・フィルハーモニー管弦楽団を指揮することが許された時から既に始まっていたのだ。その時に彼は、「このオーケストラを世界中のどのオーケストラよりもすぐれたものにしてみせる！」と自らに誓ったのである。

だが——既に三〇年代の終わりにティエーチェンとの対立の中で（注）機を見るに敏な出世戦略家であることがはつきりしたように——彼は今また再び辛抱強く待ち続ける態度を、別な言い方をすれば猫が好機を待ち伏せる姿勢を、実際にとっていたのだ。この件について、カラヤンは自ら次のような比喻を使って描いてみせた。「私は猫の跳躍に感心する。まあ見てごらんさい。どのようにして猫が慎重にその目標に一跳びで達せられるかどうかを正しく測るか、そのためにいかにゆっくりやるか、そしてどのようににその際絶えず鋭敏に観察して、成功を確信した瞬間に跳躍するかということ——失敗すると思えばやらないんだが。」

カラヤンもまた、一九五〇年頃そのようであった。彼はベルリン・フィルを好いていたようであり、オーケストラもまた彼のことを好いていたようだ。ベルリン・フィルの理事エルンスト・フィッシャーは既に一九五〇年、正指揮者ヴィルヘルム・フルトヴェングラーとヘルベルト・フォン・カラヤンに関する意見の一致をみていた。なるほどフルトヴェングラーは、その若き「才能ある指揮者」がベルリンで指揮できるはずしかの演奏会に對しては怒っていないが、ベルリン・フィルの演奏旅行にカラヤンが同行することだけは嫌っていた。フルトヴェングラーのそれ以後の数年にわたるカラヤンに対するなお超然とした態度にと

りしたように——彼は今また再び辛抱強く待ち続ける態度を、別な言い方をすれば猫が好機を待ち伏せる姿勢を、実際にとっていたのだ。この件について、カラヤンは自ら次のような比喻を使って描いてみせた。「私は猫の跳躍に感心する。まあ見てごらんさい。どのようにして猫が慎重にその目標に一跳びで達せられるかどうかを正しく測るか、そのためにいかにゆっくりやるか、そしてどのようににその際絶えず鋭敏に観察して、成功を確信した瞬間に跳躍するかということ——失敗すると思えばやらないんだが。」



飛行機の操縦を習っていた頃のカラヤン

つて、ウィーンでカラヤンとその《マタイ受難曲》のために楽友協会から受けた決定的な打撃は手痛いものだったというのは、明らかである。

だがカラヤンは決して、無理な要求を通そうとはしなかった。一九五二年、ロンドンのフィルハーモニア管弦楽団と共にその大演奏旅行の途中でベルリンに現れ(注2)、拍手喝采が波のように押し寄せて碎ける回想にとらわれたものだ。エールンスト・フィッシャーは、一度カラヤンと話し合う機会をえた。彼は六月三日付けで、少し以前から病弱であるフルトヴェングラーに次のような手紙をしたためた(フィッシャーはそれ以外にも、フルトヴェングラーはつまりもととすぐれた指揮者ではなく、作曲家としての方がはるかに良いということ、を、ますます頻繁に主張するようになっていた)。

「コンサートの後、私はフォン・カラヤン氏と私達理事の計画について語り合いました。その結果は、以前になされた書簡のように、全く無益なものでした。二度と再び、貴殿もしくは当オーケストラが願わないような、カラヤン氏がベルリンに来るなどという誤解ないし曲解が広まらないよう、ベルリン市議会の評議員に通知を行いました。」

その間にも、カラヤンはたゆまずに客演指揮の活動を続けた。それがロンドンのフィルハーモニア管弦楽団であれ、ウィーン交響楽団であれ、他のオーケストラであれ——「Herr von Karajan」全速力さん、「Propeller(プロペラ)」Herbert(ヘルベルト)——といった、彼のあだ名のうちのいくつかでのみ呼ばれるほどに、注目を浴び、その国際的な名声を確固たるものにできる場所では、どこでも至る所で彼は演奏活動を行なったのである。

「より機敏に」なるため、彼は一九五三年夏にスイスのアスコナ(注3)で飛行機の操縦を身につけた。大空へと駆け昇り、全ての卑小な事柄を眼下にするということは、彼にふさわしいことである。数年後には、彼が「辞任する」か「戸を後ろ手にボタンと閉める」時には、彼は常に自家用飛行機に乗るようになる。そうすると彼はますます飛行場めざして姿を消し、そして飛び去ってしまうのだ。

だがとうとうベルリンという都市が、自らにとつて割って入る余地があるように、彼の目に映り始めた。というのは、ベルリン・フィルの支配人ゲルハルト・フォン・ヴェスターマンとベルリン市の文化評議員ヨアヒム・ティブルティウスが彼を招待したのである。カラヤンは一九五三年九月八日、ベルリン・フィルとの戦後初めてのコンサートでティタニア宮殿で指揮した。それにより、ベルリン芸術週間開幕は切って落とされた。プログラムには、バルトークの《管弦楽のための協奏曲》とベートーヴェンの交響曲第三番《英雄》が組まれた。そしてその一年後の五四年九月二十三日、彼は再びベルリン芸術週間のベルリン・フィル特別演奏会でバルトーク、モーツァルト、ブラームスの作品(注4)を指揮した。経験豊かな音楽通である著名な評論家フリードリヒ・ヘルツフェルトが、「ベルリン・モールゲンポスト紙」に書いた内容はきわだっている。

「カラヤンはもとの土地にとどまった。彼は指揮している時、あいかわらず聖人のように祈り、礼をする時には司会者のよ

うに微笑む。彼のオーケストラの多様なヴィルトゥオジテは、ほとんど他に比すべきものがない(中略)以前は、彼はいつもフルトヴェングラーに対する反目者と見られたものだ。今日までずっとそうであった……ヴィルトゥオジテの大勝利だ……彼は司祭ではなく魔術師、言うまでもなく感銘を与えるためのすばらしい魔法を心得ている一人の魔術師なのである。」

〔注釈〕

(一)一九三八年のベルリン国立劇場のデビュー曲目について、総支配人ハイント・ティエーチェンと長い交渉があった。カラヤンは「フィデリオ」(トリスタンとイゾルデ)、「ニルンベルクのマイスタージンガー」のいづれかを十分な積古をした後で申し出た。ティエーチェンは、ワグネルレディナーの《カレールの市民》、《カルメン》、《タンホイザー》を要求した。結果として九月三十日に「フィデリオ」、十月二十一日に「トリスタンとイゾルデ」を振るわけだが、その後もティエーチェンはカラヤンをベルリンにつなぎとめようとした。そのため、アーヘン＝ベルリン間の寝台列車を一周間のうち四回使うという過酷な日程が続いたという。

(二)五二年五月十二日から三十日まで行なわれたフィルハーモニア管弦楽団の欧州演奏旅行の最後の二日間、ベルリンで演奏会を持った。曲目は、《水上の音楽》、ストラヴィンスキー《カルタゴ》、《ドン・ファン》、ブラームス《交響曲第一番》などであった。

(三)スイスのテッシン地方の観光地。背後の丘は、今世紀の初頭に思想家・芸術家たちによるコロニーが開かれてから、モンテ・ヴェリタ Monte Verità (真理の山) という名で世界的に有名になった。ゲルマン神話やワグナーの音楽の雰囲気色濃く残している。

(四)バルトーク《ピアノ協奏曲第三番》、デザ・ファンダ、モーツァルト《交響曲第三十九番》、ブラームス《交響曲第一番》。





ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 (資料提供: D.C. ランボン(英), 鈴木恭司)



[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(P)、ディレクター(DI)、レコーディング・エンジニア(EI)、マトリックス番号(MI)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の[V]は映像作品を示す。
- レコード番号はS.P., E.P., L.P.(10インチを含む), C.D., L.D.の順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L.P.期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータを示した。
- オペラ全曲盤よりのアリアー曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

◎①ドヴォルザーク/交響曲第9番短調作品95「新世界より」②スメタナ/交響詩「わが祖国」より「モルダウ」

■ベルリン po.

▶1957年11月28~29日(①), 1958年1月6~7日(②), 5月18~20日(①/②) ベルリン, グリュネヴァルト教会

□ウォルター・レッグ

■ホルスト・リントナー

■YRX 1006-7 || XRX 246-7

■L.P.: RL 3075, RS 3008, OS 3060, OL 3228, SCA 1100, AA 7300, EAC 70108, EAC 55001

①

L.P.: AA 7380, AA 8214, AA 8215, A A 8216, AA 8217, AA 9901-2, AA 9919-20, EAC 93159-60, EAC 93163-4, EAC 93167-8, EAC 93171-2, EAC 47010, EAC 4712

21-2, EAC 30278, EAC 30282, EAC 30285, EAC 30287, EAC 3 0289

C.D.: TOCE 7142

(第4楽章)

L.P.: EAC 35002

②

E.P.: AA 4034, AA 4116, AA 4513, A A 4546, AA 4624

L.P.: SCD 1004, AA 7386, AA 8359-61, AA 8473, AA 8573, AA 8658, AA 9919-20, AA 9928, AA 9987-8, AA 93017-8, AA 5106, EAC 47115-6

C.D.: CE28 5458

■L.P.: SAX 2275, 33FCX 814, SHZE 1 60, SXLP 1004911, 33CX 1642, ASD 2863, SLS 839, 35615, S 3 5615, C 91003, STC 91003, 33W CX 1642, SAWX 2275, IC 063 02 348, 2C 065 02 348, 2C 059 02 348, 3C 063 00 491

①

L.P.: ASAXF 144, STC 91255, C 912 55, IC 037 02 940

②

E.P.: C 50546, SELW 1816, SEDQ 68 6, C 41153, SMC 50546, SMC 4 1610

L.P.: 33FCX 824, SAXF 160, C 70426, 33WCX 529, 33QCX 10348, SAX Q 7263, SXDW 3048, IC 053 0 1 414, IC 063 00 737, STC 704 26, 023 769 404-1, 065 100 737-1, ORBIS 76947, 720 203, SME 80975

C.D.: CDM 769 465-2, CDM 627 769 437-2, 521 159 915-2

◎①ブルームス/交響曲第3番長調作品90

■ベルリン po.

◎ヴェルディ/歌劇「ファルスタッフ」

■ティート・ゴッビ(Br: ファルスタッフ), ロランド・バネライ(Br: フォード), ルイー・アルヴァ(T: フェン

トン), トマソ・スパーロ(T: 医師カウス), レナート・エルコラニ(T: バルドフェ), マリオ・ベトリ(Bs: ピストラ), エリーザベト・シュヴァ

ルツコフ(S: フォード夫人), アンナ・モッフォ(S: ナンネッタ), アンナ・マリア・カナリ(Ms: ペイジ夫人), ジュリエッタ・シミオナート(Ms: ク

イックリー夫人), ウィーン国立歌劇場 cho., ウィーン po.

▶1957年8月10日ザルツブルク, 祝祭大劇場

■C.D.: HUNT 2CDKAR 226

◎②R.シュトラウス/交響詩「ドン・ファン」作品20(部分)

■ベルリン po.

▶1957年11月3日東京, 旧NHKホール

■L.D.: TE-D703, TE-S162

※ベルリン市が広報のため製作した映画よりとられている。

◎①バルトーク/弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽Sz106②ヒンデミット/交響曲「画家マティス」

■ベルリン po.

▶1957年11月28~29日(②), 1960年11月9~11日(①)ベルリン, グリュネヴァルト教会

□ウォルター・レッグ

■YRX 3-4 || XRX 39-40

■L.P.: OS 3104, AA 7013, AA 8535, E AA 188, EAC 70179

C.D.: CE28 5194

■L.P.: SAX 2432, 33CX 1783, SET 91 179, SXLP 30536, 35949, S 3594 9, 33FCX 917, SAXF 235, 33QC X 10502, IC 063 00 547, CCA 9 17, IC 137 54 360-3, C 91179, STC 91179

C.D.: CDM 769 242-2



Herbert von Karajan
berlin philharmonic orchestra

▲SAX 2432(バルトーク「弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽」他)

◎ブルックナー/交響曲第8番短調

■ベルリン po.

▶1957年5月23~25日ベルリン, グリュネヴァルト教会

□ウォルター・レッグ

■ホルスト・リントナー

■YRX 1012-5 || XRX 229-32

■L.P.: RL 3058-9, OL 3205-6, AA 703 3-4, AA 7652-3, AA 8622-3, EA C 40017-8

■L.P.: ST 772-3, T 772-3, 33CX 1586 -7, SXDW 3024, 3576B, SB 357 6, C 90972-3, STC 90972-3, 33 WCX 1586-7, SAXW 9501-2, 1 C 187 00 763-4, CFP 41 4434-3

C.D.: CMS 763 469-2

◎ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第3番短調作品37

■グレン・グールド(p), ベルリン po.

▶1957年5月26日ベルリン

■C.D.: DMS 67, KICC 2122

■C.D.: Nuova Era 013.6323, Nuova Era 2351-6, VIRTUOSO 269706 2, Music & Arts CD 678

※ベルリン・フィル定期演奏会(5月24・25・26日)の最終日の録音とされる。

◎ベートーヴェン/歌劇「フィデリオ」作品72

■バウル・シェフラー(Bs: ドン・ビツァロ), ジュゼッペ・ザンビエリ(T: フロレスタン), クリステル・ゴルト(S: レオノーレ), オットー・エーデルマン(Bs: ロッコ), セーナ・ユリナッチ(S: マルツェリーネ), ワルデマー・クメント(T: ヤキーノ), ニコラ・ザ

ッカリヤ(Bs: ドン・フェルナンド), エーリヒ・マイク(T: 囚人1), ワルター・ベリー(Bs: 囚人2), ウィーン国立歌劇場 cho., ウィーン po.

▶1957年7月27日ザルツブルク, 祝祭大劇場

■L.P.: Melodram MEL 040

C.D.: CLAUQUE GM 2007-8, HUNT 2C DKAR 222

(序曲)

L.P.: Maestri del Secolo APE 1210, WG Records WG 30010, Joker SM 1340, C 86

(レオノーレ序曲第3番)

L.P.: Maestri del Secolo APE 1210, WG Records WG 30010, Joker SM 1340, C 86

C.D.: ARTEMIS 710 000

※この年ザルツブルク音楽祭へ8年ぶりに復帰をする。「フィデリオ」(5回), 「ファルスタッフ」(4回), オークストラ・コンサート(5回)を指揮する。

※LP: S 35613, 33CX 1548, SLS 5019, SXLP 30450, 35613, 33WCX 1548, SCB 3710

①

LP: 33QCX 10328, C 90985, 1C 063 00 737

CD: CDM 769 466-2

②

LP: 33QCX 10328, 2C 053 00 703, ASD 5360

CD: CDM 769 466-2, 627 769 437-2

③

EP: C 50545, STC 50545, SELW 18 13

LP: S 37231, C 70426, STC 70426, 33WC 529, 2C 053 01 414, 1C 063 00 737, SME 2021-2, SME 80975, ASDQ 5360, ORBIS 7694 7, 720 203, 2C 059 43 355, 023 769 404-1, 065 100 737-1

CD: CDM 769 228-2, CDZ 62860-2

◎R. シュトラウス/楽劇「ばらの騎士」第1組曲

■フィルハーモニア。

▶1958年1月18日ロンドン, キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

◎① オッフェンバック(ロザンタール編)/バレエ「パリの喜び」(ハイライト)
② ロッシーニ/歌劇「ウィリアム・テル」よりバレエ音楽, チロルの合唱
③ グノー/歌劇「ファウスト」よりバレエ音楽「ワルブルギスの夜」

■フィルハーモニア。

▶1958年1月13~16日(①), 18日(①/②/③) ロンドン, キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター/ロバート・ベケット

M YAX 83-4

※LP: RL 3077, RS 3006, AA 7003, EAC 30258

①

LP: AA 7399, AA 9925-6

CD: CE28 5042

②

LP: AA 7659, AA 8609, EAC 55035 [②の部分]

LP: AA 5105

③

EP: AA 4076

LP: SCD 1006, AA 7389, AA 8646, AA 5103

CD: CE28 5042, CE28 5686

※LP: SAX 2274, 33CX 1588, ST 1084, 35607, S 35607, 33FCX 789, SA XF 134, 33QCX 10326

①

EP: SEL 1634, ESL 6261, C 41132, SEGW 7909, SEDQ 681

LP: SLS 5019, SXLP 30224, SAXQ 7286, 2C 059 03 054

CD: CDM 769 041-2

[①の部分]

EP: C 41155, C 41132

②

LP: SAXQ 7286, S 37231, 3C 053 0 0 996

CD: CDM 763 113-2

③

LP: SXLP 30224, SLS 839, SAXQ 7288, SHZE 216, 1C 137 03 059-60, 3C 053 00 996, 1C 137 29 0 77-3, 1C 137 46 469-70, C7048

7 290 077-3, 037 146 175-1, 2 C 069 03 626

CD: CDM 769 467-2, 627 769 437-2, 537 762 699-2, 521 159 918-2

③

EP: SLBQ 3054

LP: SLS 5019, S 37231, 1C 053 00 726, SLS 839, C 37232, 1C 137 03 059-60, 35246, S 35246, SCD W 3048, 2C 053 01 414, SMC 70486, 1C 137 46 465-6, 1C 13 7 29 077-3

CD: 521 159 915-2

④

EP: C 41153

LP: S 37231, 2C 053 00 726, 1C 13 7 03 059-60, SLS 5019, SME 20 21-2, S 37550, 1C 137 29 077-3

CD: CDM 769 467-2, 627 769 437-2

⑤

EP: SCD 2228, SMC 41605

LP: SLS 5019, 1C 137 29 077-3, 1C 137 46 467-8, 1C 037 30 953, 2 C 059 43 355, ORBIS 76947, C 70496, STC 70497

CD: CDM 769 465-2

※①のキャノン砲の音は58年2月6日に収録合成されている。



▲SHZE 150 (チャイコフスキー「1812年」他)

◎① レスビーギ/交響詩「ローマの松」
② ベルリオーズ/序曲「ローマの謝肉祭」作品9
③ リスト/交響詩「前奏曲」G.97

■フィルハーモニア。

▶1958年1月9日(②), 10日(①), 13日(①), 17日(③) ロンドン, キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター/ロバート・ベケット(③)/ハロルド・ダヴィットソン(③)

M YAX 204/77

※LP: RL 3041, EAC 30263

①

EP: AA 4075, AA 4655

LP: OS 3044, AA 7388, AA 8649, A 5101, EAC 55036

CD: CE28 5459, CE25 5687, TOCE 7151

②

EP: AA 4655

LP: OS 3044, AA 7399, AA 9925-6

CD: CE28 5459

③

LP: SCD 1005, AA 7387, AA 8659, AA 9929, AA 93017-8, AA 5107, EAC 47115-6, EAC 55065

CD: CE28 5189, CE25 5687, TOCE 7 151

▶1957年

※LP: WG Records WG 30008, Joker SM 1348, C 87, ARTEMIS 951 003, 910 003

CD: ARTEMIS 710 003

※57年のライヴとされるが演奏会のデータが存在しない。

◎レーガー/モーツァルトの主題による変奏曲とフーガ作品132

■ベルリン。

▶1958年1月6~7日ベルリン, グリュネヴァルト教会

Pウォルター・レグ

◎① チャイコフスキー/大序曲「1812年」作品49
② ベルリオーズ/劇物語「ファウストの劫罰」よりラコツィイ(ハンガリー)行進曲
③ リスト/「メーラー=ベルクハウス編」ハンガリー狂詩曲第2番
④ シベリウス/「クオレマ」より悲しきワルツ作品44-1
⑤ ウェバー/「ベルリオーズ編」舞踏への招待

■フィルハーモニア。

▶1958年1月7日(②), 1月9日(②/③/⑤), 10日(③), 16日(④), 17日(①/④), 18日(②/⑤), 2月6~7日(①)

ロンドン, キングズウェイ・ホール

Pウォルター・レグ

Eダグラス・ラター(②~⑤), ロバート・ベケット(①/④/⑤)

M YAX 239 78 XAX 1365-6

※LP: RL 3041, OS 3044, EAC 30259

①

EP: AA 4115, AA 4537

LP: SCD 1005, AA 7387, AA 8616, AA 8659, AA 9929, AA 93017-8, AA 5107, EAC 47115-6, EAC 5 5065

CD: CE28 5459, TOCE 7151

②

EP: AA 4075, AA 4115, AA 4537, A 4655

LP: SCD 1008, AA 7399, AA 9925-6, AA 93019-20, EAC 47117-8, EAC 55065

CD: CE28 5460

③

EP: AA 4072, AA 4514, AA 4515, A 4636, AA 4655

LP: SCD 1004, AA 7387, AA 8226, AA 8359-61, AA 9915-6, AA 86 59, AA 9515-6, AA 9929, AA 93 017-8, AA 8226, AA 5107, EAC 55065

④

LP: AA 7398, AA 9923-4, AA 5110

CD: CE28 5460, CE25 5687

⑤

EP: AA 4072, AA 4505, AA 4636

LP: AA 7398, AA 8359-61, AA 9915-6, AA 9923, AA 9987-8, AA 93 019-20, AA 5110, AA 47117-8

CD: CE28 5471, CE28 5458, CE25 5 658

※LP: SAX 2302, SHZE 150, 33CX 15 71, 35614, S 35614, 33FCX 824, SAXF 160, SCB 3710, 33QCX 1 0359, SAXQ 7260, 1C 243 01 2 01

①

LP: 2C 053 01 414, SME 2021-2, SLS 839, C 37232, 1C 053 01 4 13, SCDW 3048, SMC 70486

CD: CDM 769 466-2

②

LP: SLS 5019, S 37231, 1C 137 03 059-60, 2C 053 00 724, 1C 151 30 641-2, 35246, S 35246, 1C 0 37 46 175, 1C 137 46 463-4, 13

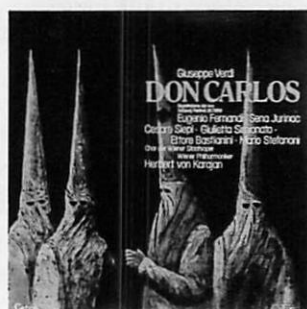
(S: エリザベッタ), ジュリエッタ・シモオナート(Ms: エボリ姫), エットレ・バステリアニーニ(Br: ロドリゴ), テーザレ・シエビ(Bs: フィリッポ2世), マルコ・ステファノニ(Bs: 宗教裁判所長), ニコラ・ザッカリヤ(Bs: 修道士), ノルベルト・バラチユ(S: テバルド), カルロ・シュミット(T: レルマ伯爵), マルガレータ・シェステット(Ms: ムンデカール侯爵夫人), エルフリード・リュース(Aレンベルク伯爵夫人(黙役)), ノーマン・フォスター(Br: 国王の伝令), アンネリーゼ・ローテンベルガー(S: 天の声), ウィーン国立歌劇場cho., ウィーンpo.

▶1958年7月26日ザルツブルク, 祝祭大劇場

LP: Historical Operatic Treasures
ERR 119, Fonit Cetra LO 72,
Foyer FO 1029

CD: HUNT 2CDKAR 220
[部分]

LP: Longanesi Periodici GML 19,
Legendary Recordings LR 105,
Melodram MEL 080, MEL 081



▲LO 72(ヴェルディ「歌劇「ドン・カルロ」」)

◎ベートーヴェン/ミサ・ソレムニス
二長調作品123

■エリーザベト・シュヴァルツコップ
(S), クリスタ・ルートヴィヒ(Ms),
ニコライ・ゲッダ(T), ニコラ・ザッ
カリヤ(Bs), ウィーン楽友協会Cho.,
フィルハーモニアo.

▶1958年9月12~16日ウィーン, ムジ
クフェライン・ザール

□ウォルター・レグ
□ダグラス・ラター

YAX 158-61

LP: RL 3103-4, OS 3069-70, AA 90
01-2, AA 9468-9

外LP: ST 914-5, 33CX 1634-5, SLS 5
198, CFDP 4420-1, 3595B, SB 3
595, 33FCX 828-9, SAXF 177-8,
C 91019-20, STC 91019-20, 33
WCX 1634-5, 33QCX 10369-70,
SAXQ 7317-8, 1C 137 00 627-
8, 2C 181 00 627-8, 2C 193 02
581-2, 2C 167 02 581-2, SBL
3595, COL 291-3, 1C 191 00 62
7-8, 820 558-9, 825 558-9, 3 C
153 00 627-8

LP: Foyer FO 1034, WG Records W
G 30005, Joker SM 1338, C 86



▲WG 30005(ベートーヴェン/交響曲第5番)

◎ワーグナー/楽劇「ワルキューレ」より
第1幕3場後半, 第2幕4場

■ビルギット・ニルソン(S: ブリュ
ンヒルデ), レオニー・リザネク(S: ジ
ークリンデ), ルートヴィヒ・ズートハ
ウス(T: ジークムント), ミラノ・ス
カラ座o.

▶1958年4月21日ミラノ, スカラ座

外CD: HUNT 12CDKAR 223

※スカラ座で4回上演された「ワルキューレ」
の21日のライブ。

◎マルタン/弦楽合奏のためのエチュー
ド

■ベルリンpo.

▶1958年5月18~20日ベルリン, グリュ
ンネヴァルト教会

□ウォルター・レグ

◎シュベルト/交響曲第5番変ロ長調
D.485

■ベルリンpo.

▶1958年5月18~20日ベルリン, グリュ
ンネヴァルト教会

□ウォルター・レグ

□ホルスト・リントナー

YRX 1005

CD: TOCE 5984-7

外LP: 1C 137 54 360-3

CD: CDS 763 321-2

◎J.シュトラウス/①喜歌劇「ジプシー
男爵」序曲②皇帝円舞曲作品437③ア
ンネン・ポルカ作品117④ポルカ「雷鳴
と電光」作品324⑤ワルツ「春の声」作品
410, ヨハン&ヨーゼフ・シュトラウス
/⑥ピチカート・ポルカ, J.シュトラ
ウス/⑦ポルカ「狩り」作品234⑧ワル
ツ「美しき青きドナウ」作品314, J.シ
ュトラウスI/⑨ラデツキー行進曲作
品228

■ヒルデ・グーデン(S)(⑤), ウィ
ーン楽友協会cho., ウィーンpo.

▶1958年6月ブリュッセル

外LP: Movimento Musica 01 039

CD: Movimento Musica 051 030,
HUNT 3CDKAR 215(②/⑤/
③/⑥/⑧)

※ブリュッセル万国博覧会でのライブ録音。
日付は特定できないが同じくベルリン・フィ
ルとも16日, 17日の2日間演奏会をブリュ
ッセルで催している。

◎ヴェルディ/歌劇「ドン・カルロ」

■エウジェニオ・フェルナンディ(T:
ドン・カルロス), セーナ・ユリナッチ

4, STC 70484, ASDQ 5358

CD: CDM 769 041-2

※①は第1, 2, 6, 8-18, 22, 23曲のハイラ
イト。

◎ビゼー/①劇音楽「アルルの女」組曲
第1番②第2番③歌劇「カルメン」組
曲

■フィルハーモニアo.

▶1958年1月14~15日(①/②), 16日(③)
ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レグ

□ダグラス・ラター/ロバート・ペケ
ット

YAX 81-2

外LP: RL 3046, OS 3020, OL 3229, AA
93011-2, EAC 47109-10, EAC 3

0255, EAC 55034

CD: TOCE 7149

①

LP: SCD 1009, AA 7389, AA 8646,
AA 9937-8, AA 5103

[①の部分]

EP: AA 4033, AA 4528

②

LP: SCD 1009, AA 7389, AA 8646,
AA 5103

[②の部分]

EP: GM 42, AA 4033, AA 4528

LP: AA 8359-61, AA 9987-8

③

EP: AA 4071, AA 4503, AA 4648

LP: AA 8226, AA 8359-61, AA 9925
-6, AA 9987-8

CD: CE28 5460, CE25 5687

外LP: SAX 2289, 33CX 1608, ST 1044,
EMX 2028, 35618, S 35618, 33F
CX 775, SAXF 133, C 91094, 33
WCX 1608, SAXW 2289, 1C 05
3 00 995, 023 769 396-1, 2C 0
59 00 995, 3C 053 00 995

CD: CDZ 762 852-2

①

EP: SEL 1639, SEL 1632, ESL 6264,
ESL 6257

LP: SLS 5019, SHZE 210, 1C 137 0
3 059-60, 33SX 1394, SME 202
1-2, STC 70477

②

LP: STC 70477

[②の部分]

EP: SEL 1639, SEL 1632, ESL 6264,
ESL 6257

LP: SLS 5019, SHZE 210, 1C 137 0
3 059-60, 33SX 1394, SME 202
1-2, 137 290 077-3

③

LP: SLS 839, 2C 053 00 724, SXD
W 3048, ASDQ 5358

CD: CDM 769 467-2, 627 769 437-
2

※③のカルメン組曲は第4・3・2・1幕前奏曲
の順である。

◎ヨーゼフ・シュトラウス/ワルツ「天
体の音楽」作品235

■フィルハーモニアo.

▶1958年1月18日ロンドン, キングズウ
エイ・ホール

□ウォルター・レグ

◎ベートーヴェン/交響曲第5番八短調
作品67

■ベルリンpo.

▶1958年3月28日ベルリン

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

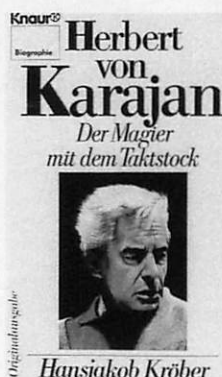
ヘルベルト・フォン・カラヤン



指揮者
オーストリア
1908.4.5~1989.7.16

第1期

◎第10回◎



「指揮棒の魔術師」
第七章…帝王②

“Le roi est mort, vive le roi!”
“王は死んだ、王よ万歳!”
ハンスヤーコプ・クレーバー著 高橋みき訳

一九五四年十一月の終わり、ヘルベルト・フォン・カラヤンはビゼーの《カルメン》をイタリアの放送局RAIで放送録音するためローマに滞在中であった。十二月一日の水曜日、彼はホテルでアン・ドレ・フォン・マッソーニと朝食をとっていた。一通の電報が銀の盆にのせて運ばれてきた。差出人の名はなく、匿名で七語のみの電文であった。“Le roi est mort, vive le roi!”(王は死んだ、王よ万歳!) マッソーニはとび上がって街角の売店へ走り、新聞を買い求めた。その第一面には、「フルトヴェングラー死す!」という文字が踊っていた。

翌日の午後、ゲルハルト・フォン・ヴェスターマンがローマのカラヤンへ電話をしてきた。「フォン・カラヤンさん、ベルリン・フィルのアメリカ縦断演奏旅行をフルトヴェングラーの代役として引き受けてくれますか?」カラヤンは即座に答えた。「喜んで!だがヴィルヘルム・フルトヴェングラー博士の終身にわたる後継者として彼と同一の契約条件をもつてであれば」。アメリカ演奏旅行の主催者はコロンビア・アーティスト・マネジメント社であり、まさにこの「コロンビアAM」はどっちにしてもカラヤンとはフイルハーモニア管弦楽団を介してつながりがあった。そして「コロンビアAM」

は、カラヤンがフルトヴェングラーの代役を勤めることを望んでいた。それは、ベルリン・フィルハーモニア管弦楽団の願いにもかなっていた。同オーケストラの総会はこの年の十二月十三日、次のような決議を表明した。即ち、「支配人ゲルハルト・フォン・ヴェスターマンはヘルベルト・フォン・カラヤンと、同氏に『当楽団の重要な演奏会及び演奏旅行における指揮を、さらに詳しく決定されるべき期間にわたり任せる』という目的のもとに、交渉を開始できる」というものである。

その期間は、カラヤンにより既に「終

身にわたって」と決定されていた。そしてそれはそうになった。

さて、カラヤンはそれ以外にもミラノ・スカラ座における雇用契約から解放されなければならなかった。そこでは、ちょうど彼は《ワルキューレ》を練習しているところだったが、アンドレ・フォン・マッソーニは、外渉手腕の巧みさをもつてその作品を終りにすることができた。スカラ座の支配人ギリンググエリはカラヤンを自由にしたばかりか、あまつさえ彼の成功を祈ったのだった。

アメリカ演奏旅行は、一九五五年の二月二十五日から四月二日までであった。



アメリカ演奏旅行の出発に際し空港でティブルティウスに別れを告げるカラヤン



「終身」契約書に署名するカラヤンとティブルティウス

始まった当初カラヤンは、第三帝国時代ナチ党に加入していたとして、粗暴な攻撃の連続砲火にさらされることになった。だがアニータ夫人が、彼をそれから十二分にかばった。それは長くは続かなかった。同演奏旅行は凱旋行進へと発展していったからである。そしてその途上で——三月五日に——オーケストラの全メンバーは前年の決議を確認し、全会一致でヘルベルト・フォン・カラヤンを終身首席指揮者に選出したのだ。文化評議員ティブルティウスが四月二十四日、カラヤンが二十五日、ベルリン市の財政評議員ハースが二十六日に署名したその契約は、フルトヴェングラー博士のものと同じように全箇条にわたっては厳密に記されていなかったということが、一九八四年の大騒動の際になってようやく、成立後三十五年近くたって判明することとなった。このことはカラヤンの人間不

信にさらにもう一つ新たな根拠を付け加えた——なぜならカラヤンは、評議員ティブルティウスに要求し、彼から「フルトヴェングラーと全く同じ条件で」と約束された時、彼を盲目的に信じてしまったからである。

フルトヴェングラーはウィーン・フィルの首席指揮者でもあったため、同オーケストラはカラヤンともうまうまいったに違いないと思われる。だが彼等はそんな申し出をするには、遅きに失してしまった。オーストリア人カラヤンはベルリンを選ぶことを決心した——そしてそのことを彼は、その後のより苦しい道のりにおける意見の衝突や軋轢にもかかわらず、決して後悔することにはなかった。ちょうど一年後、その上になお彼はザルツブルク音楽祭の芸術監督としての四年契約に署名した。——それは、わざわざ彼のために新たに用意された指導的地位であった。マエストロはもちろん、ミラノ・スカラ座を放棄しはしなかった。彼はそこでオペラの演出をし、歓呼して迎えられたのである。例えばドニゼッティの《ランメルモールのルチア》を最高のプリマドンナ、マリア・カラスと共に創り上げた。一九五六年六月十二日にその作品でウィーン国立歌劇場に客演した後、カラヤンはその世界的に名だたる機構の芸術監督に招かれた。彼が夢見てやまない帝国の建設のため、新たな礎石が据え置かれたのである。

今や彼は前代未聞のことを始めていた。それ以後オペラは全て、その原語で——平日のレパートリーでも——歌われるべ

く義務づけられるようになったのである。カラヤンは、「日々発展を遂げているレコード、ステレオ放送、ジェット機運航の時代、そしてやがてはテレビジョンも普及していくような時代においては、聴衆は世界最高の歌い手たちを当然のこととして望んでいるのだ」という見解を代表していた。彼らは今や、ヴェルディやプッチーニのオペラをイタリア語で歌っている。その第一の理由としては、最高の歌い手たちはいづれにせよイタリア人ないしスペイン人であるからであり、第二に、彼らは作品の原語でもって地球上をあまねく客演することができからである。なぜなら、マリア・カラス、レナータ・テバルディ、マリオ・デル・モナコ、ジュゼッペ・ディ・ステファノが、彼らの役をドイツ語で（もしくはニューヨークの《メロ》のために英語で）歌わなかったというのはむしろもつともなことだ。彼らは全くドイツ語やその他の言語を使用する地域の歌劇場の舞台を踏むことはなかったのである。さもないれば、ウィーンでカラヤン以前の時代に起こったような、一人の男性歌手がイタリア語で、一人の女性歌手が英語で、さらに合唱団はドイツ語で、同一のオペラ上演で歌ったというような、とんでもない事態が持ち上がったことだろう。

この類のばかげたことを、カラヤンはその芸術上の目的を遂行していく中で全くやめさせたのだ。最高のものであるのは、同時に、十分に良いものだ——という、彼の信条にのっとって、「我々が生きているのは、もはやガス燈の時代じゃない」と、会話の中で彼は何度も繰り返した。「ガス燈をともしていた時代のような上演を、我々にはや行なうことはできないんだ！」そして、そのことを彼は歌劇場での実際の上演だけでなく、——彼の卓越した、テクノロジへの決して衰えを知ることのない好奇心から養われた先見の明をもって——あらゆるメディアの進歩と発展にも関連づけたのである。

カラヤンは今や、ミラノ・スカラ座とウィーン国立歌劇場という両歌劇場を全面的に相互に客演させるため、ありとあらゆる機会を利用しつくした。それどころか彼は先々さへも考慮して、世界最高のオペラ歌手たちから多過ぎない程度の人数を、最上の状態を保ったまま公演日にはきちんと適材適所起用するため、一つの網羅的な編成を計画していたのだ。カラヤンのこの「アンサンブル・シスター（合同歌劇場）」という理念は、一つの都市に音楽家たちを契約で固く拘束するという従来通りの原則のようなものではなく、特定の演出のためにそのつどあるまとまった期間、ミラノかウィーンかベルリンかジュネーヴかパリか、とにかく可能なあらゆる首都であらうと、そこにおいて中心的な配役陣をひとまとめに客演させるといったものであった。——それは事実、はるか大いなる、壮闊だったのである。ベルリン、ウィーン、ミラノ、ザルツブルク、ロンドン（フィルハーモニア管弦楽団の首席指揮者として）——これらの都市は当時、カラヤンの音楽帝国の主要都市なのであった。（つづく）



ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 [資料提供:D.C.ランボン(英), 鈴木恭司]



[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(P)、ディレクター(D)、レコーディング・エンジニア(E)、マトリックス番号(M)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の[V]は映像作品を示す。
- レコード番号はS P、E P、L P(10インチを含む)、C D、L Dの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L P期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって配してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータを付した。
- オペラ全曲盤よりのアリアー曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

①~④/⑥/⑦/⑨), AA 9301 5-6(8)
 C D : CE28 5458(6), CE28 5460 ①
 /⑧/②/⑨), CE25 5686 ⑨
 /②/⑧/①), TOCE 7149 ③
 /⑤)
 ●L P : SAX 2294, 35793, S 35793, 33F
 CX 830, SAXF 142, 33QCX 103
 66, SAXQ 7259, SAXW 2294, 1C
 037 00 422, STC 91065
 [オムニバス]
 E P : C 41147(5)
 L P : SLS 5019(①~⑥), 1C 053 00
 724(②/③/⑧/⑨), 1C 137 0
 3 059-60(②/⑧), SXLP 30445
 (⑦), SLS 839(⑧), SHZE 150
 (⑧), SXDW 3048(③), SMPR 7
 4547(⑧), FCX 789(⑧), 1C 137
 29 077-3 ②/⑧), 1C 137 46 4
 69-70(⑤), 1C 037 30 951(⑧),
 1C 137 46 465-6(⑧), ASDQ 53
 58(⑧/②/⑨/③)
 C D : CDM 769 467-2(①/⑧/②/
 ⑨), 627 769 437-2(②/⑧), 52
 1 159 915-2(⑧)



▲S 35793(オペラ間奏曲集)

- ゴダール/歌劇「ハーリ・ヤーノシュ」
 間奏曲
 ■フィルハーモニアo.
 ▶1959年1月5日ロンドン、キングズウ
 ェイ・ホール
 [P]ウォルター・レッグ
- マスカーニ/歌劇「カヴァレリア・ル
 スティカーナ」間奏曲
 ■フィルハーモニアo.
 ▶1959年1月5日ロンドン、キングズウ
 ェイ・ホール
 [P]ウォルター・レッグ
- シベリウス/①交響曲第5番変ホ長調
 作品82②交響詩「フィンランディア」作
 品26
 ■フィルハーモニアo.
 ▶1959年1月5~6日(②), 1960年9月

[P]ウォルター・レッグ
 [E]ハロルド・ダヴィットソン
 [M]YAX 245-6
 ●L P : OL 3133, OS 3001, SCA 1088,
 AA 7394, AA 8647, AA 5102, E
 AA 139, EAC 70109, EAC 47109
 -10, EAC 30254, EAC 81021
 [①の部分]
 E P : AA 4007, AA 4511
 ②
 L P : AA 8359-60, AA 9937-8, AA 93
 011-2
 ●L P : SAX 2306, SLS 839, SXLP 302
 00, S 35740, SAXQ 7297, 33FCX
 832, 1C 053 00 409, 2C 053 00
 409, 1C 063 00 409, CGL 16, E
 MX 41 22067-1, SMC 90319, R
 L 32051, 2C 059 00 409, 3C 06
 3 00 409, 023 769 415-1
 C D : 417 455-2
 [①の部分]
 L P : SMC 41605, SHZE 216
 ②
 L P : 2C 053 00 726, 1C 137 03 059
 -60
 [部分]
 L P : SHZE 216, 137 290 077-3

●オペラ間奏曲集

- ①ブッチーニ/歌劇「マノン・レスコ
 ー」第3幕間奏曲②ヴェルディ/歌劇
 「椿姫」第3幕間奏曲③レオンカヴァル
 ロ/歌劇「道化師」間奏曲④マスカ
 ニ/歌劇「友人フリッツ」間奏曲⑤シ
 ユミット/歌劇「ノートル・ダム」間
 奏曲⑥ベルリオーズ/歌劇「カルタゴ
 のトロイ人」より王の狩りと嵐(第2
 部第2幕間奏曲)⑦ムソルグスキー/
 (R=コルサコフ編)/歌劇「ボヴァンシ
 チナ」第4幕間奏曲⑧オッフェンバッ
 ク/歌劇「ホフマン物語」より舟歌⑨
 グラナドス/歌劇「ゴイエスカス」間
 奏曲
 ■フィルハーモニアcho.(⑥), フィルハ
 モニアo.
 ▶1959年1月2~3日(③/④), 3日(①
 /②/⑨/⑦), 5日(⑨/⑦/⑥/⑧),
 6日(⑧/⑤/⑥)ロンドン、キングズ
 ウェイ・ホール
 [P]ウォルター・レッグ
 [E]ハロルド・ダヴィットソン
 [M]YAX 243-4
 ●L P : OS 3018, AA 7054, EAC 30262
 [オムニバス]
 E P : AA 4071(②/⑧), AA 4504(⑧),
 AA 4648(⑧)
 L P : SCD 1008(⑦), AA 7397 ⑧/
 ①~④/⑦/⑨), AA 7398(⑦),
 AA 7399(⑥), AA 8225(⑧), AA
 8359-61(⑧), AA 9925-6 ⑧/

- モーツァルト/①交響曲第29番イ長調
 K.201②第38番ニ長調K.504「ブラハ」
 ■ベルリンpo.(①), フィルハーモニアo.
 (②)
 ▶1958年9月16~17日(②), 1960年2月
 29日~3月1日(①)ウィーン、ムジ
 クフェライン・ザール(②), ベルリン
 グリュネヴァルト教会(①)
 [P]ウォルター・レッグ
 [E]ダグラス・ラーター(②)/ホルスト・
 リントナー(①)
 [M]①YRX 1519
 ②XAX 1747 || YHAX 1
 ●L P : OS 3011, OL 3120
 ①
 L P : AA 7024, AA 7384, AA 8637
 C D : CE22 5448-50
 ②
 L P : SCA 1107, AA 7393, AA 7572,
 AA 8648, EAC 40008
 ●L P : SAX 2356, 33CX 1703, T 1032,
 ST 1032, 35739, S 35739, 33FCX
 810, C 91069, STC 91069, 33WC
 X 523, SAXW 2356, 33QCX 104
 01, SAXQ 7296, 1C 037 00 635,
 1C 137 54 095-9
 C D : CDM 769 873-2, CDM 769 012
 -2
 ①
 L P : RLS 768
 C D : CDF 300016-2, CDF 30012-2
 [部分]
 L P : 1C 053 00 726
 ②
 L P : 3C 053 00 653
 C D : CDS 769 882-2
- ブラームス/ピアノ協奏曲第2番変ロ
 長調作品83
 ■ハンス・リヒター=ハーザー(p), ベル
 リンpo.
 ▶1958年12月30~31日ベルリン
 [P]ウォルター・レッグ
 [M]YRX 1507-8
 ●L P : RL 3088, RS 3009, OL 3134, O
 S 3008, SCA 1049, AA 7559, E
 AC 30081
 ●L P : SAX 2328, 33CX 1680, ST 1090,
 35796, S 35796, C 91052, STC 9
 1052, 33WCX 1680, SAXW 2328,
 33QCX 10492, SAXQ 7369, 1C
 053 01 973, SMC 91052, 820 43
 3, 825 433
- チャイコフスキー/①バレエ組曲「白
 鳥の湖」作品66
 ②「眠りの森の美女」
 作品66
 ■フィルハーモニアo.
 ▶1959年1月1~2日(①), 2~3日(②)
 ロンドン、キングズウェイ・ホール

- ⑧ LP : SXL 2154, LXT 5524, SDD 175, ADD 175, CM 9236, CS 6129, ST 15083, STS 15083, SDD 211, 6.35 145DX, 6.41 808AH, JB 2 7, 6.48 177DM, 593 003
CD : 417 720-2
[部分]
LP : DDS 501



▲LXT 5524 (R.シュトラウス「ツァラトゥストラはかく語りき」)

◎①モーツァルト／交響曲第40番短調 K.550②ハイデル／交響曲第104番二長調「ロンドン」

- ウィーン・ポ.
▶1959年3月27～28日ウィーン、ゾフィエン・ザール
Pジョン・カルショウ
Eゴードン・バリー／ジェイムズ・ブラウン
M ZAL 9631-2 || K2RP 3301-2
⑧ LP : LS 2243, SHP 2001, RA 1015, RA 2056, SLC 1991

- ① LP : SRA 2060, SLC 6065, SLC 2021, GT 9006, GT 9126, SLC 8012, L18C 5069, L25C 3052, K20C 8 652, 360R 56003

- CD : 230E 51003
[第1楽章]
LP : MZ 9003
CD : POCL 2302

- ② LP : SRA 2071, SLC 6059, GT 9010, GT 9130, K15C 8032, L16C 161 5, K15C 7052

- CD : 223E 1149
⑧ LP : SB 2092, RB 16219, LM 2535, L SC 2535, SDD 233, STS 15106, 630529-32, 640558-61, 6.35 138 DX, 6.41 556AN, LD 6407, LDS 6407, LD 2347, LDS 2347, LM 2 347, LM 2347, LSC 2347, ROA 1 6219, SMD 1212, DK 11535

- ① LP : SDD 361, VIV 6.417 695-1, 6.43 594AD, 592 013

- CD : 417 695-2
[部分]
LP : DDS 501

- ② LP : SDD 362, VIV 52, 592 012

◎J.シュトラウス／①喜歌劇「こゝろり」序曲②アンネン・ポルカ作品117③ヨーゼフ・シュトラウス／ワルツ「うわごと」作品212④J.シュトラウス／喜歌劇「ジプシー男爵」序曲⑤ポルカ「狩り」作品373⑥ワルツ「ウィーンの森の物語」作品325

- ウィーン・ポ.
▶1959年4月7～8日ウィーン、ゾフィエン・ザール

- M ZAL 9633-4 || K2RP 3293-4
⑧ LP : LS 2241, SRA 2022, SHP 2162, RA 2031, SRA 2060, SLC 6086, SLC 1990, GT 9007, GT 9127, K15C 8005, K15C 7055, K15C 9 004
CD : 230E 51091

- ⑧ LP : SB 2087, RB 16212, LD 2348, LM 2348, LDS 2348, LSC 2348, LM 2536, LSC 2536, SDD 232, SMD 1185, STS 15107, 630529-32, 640558-61, 6.41 548AN, LD 6407, LDS 6407, CC 7502, SNA 25027, SMR 8010, 6.42 892BA, 592 010

◎ブラームス／交響曲第1番八短調作品68

- ウィリー・ボスコフスキー(vn), ウィーン・ポ.
▶1959年3月23日, 26日ウィーン, ソフィエン・ザール
Pジョン・カルショウ
Eゴードン・バリー／ジェイムズ・ブラウン
M ZAL 10377-8 || K2RP 3297-8

- ⑧ LP : LS 2242, SA 7001-4, SHP 2005, RA 2025, SRA 2071, SLC 6091, SLC 2154, GT 9008, GT 9128, K15C 8009, K16C 1613, K15C 7 058

- CD : K30Y 1565, 230E 51027
⑧ LP : SB 2086, RB 16211, LSC 2351, LM 2351, LM 2537, LSC 2537, SDD 283, STS 15194, 630 529-32, 6.35 135DX, LD 6407, LDS 6407, FM 1037, 640 558, VIV 35, SNA 25027, SMR 8011, 6.42 7 72BA, 6.43 247AH, 592 009, DK 11524, LD 2351, LDS 2351, SOR 630 532

- CD : 417 739-2



▲LS 2242 (ブラームス／交響曲第1番)

◎R.シュトラウス／交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」作品30

- ウィリー・ボスコフスキー(vn), ウィーン・ポ.
▶1959年3月23日, 4月9日ウィーン, ソフィエン・ザール
Pジョン・カルショウ／レイ・ミンシャル
Eジェイムズ・ブラウン／ゴードン・バリー
M ZAL 4449-50 || ARL 4449-50

- ⑧ LP : LB 44, SLB 12, SLC 1112, SLC 1439, SLC 6060, GT 9001, GT 9 121, SLC 9021-2, K15C 8026, L 16C 1619, K15C 7073

- CD : K30Y 1559, 230E 5156
[冒頭部分]
LP : MZ 9003
CD : POCL 2070

- 20～21日(①), 23日(①)ロンドン, キングズウェイ・ホール
Pウォルター・レッグ
Eダグラス・ラーター(①)／ハロルド・ダヴィットソン(②)
M YRX 659-60 || XAX 2031-2
⑧ LP : OL 3227, OS 3093, AA 7062, EA C 47115-6

- ① LP : SCD 1001, AA 7390, EAC 40020

- ② EP : AA 4116, AA 4546
LP : AA 7391, AA 8309, AA 9937-8, AA 9987-8, AA 93017-8, AA 82 26, EAA 122, EAC 70107

- CD : CE28 5460, CE25 5687, TOCE 7 258

- ⑧ LP : SAX 2392, 33CX 1750, 35922, S 35922, SAXQ 7328, 1C 053 00 523

- ① LP : SXLP 30430, STC 70480, C 70 480

- ② EP : C 41153
LP : SLS 5019, 37232, S 37232, C 90 383
CD : CDM 769 467-2

◎R.シュトラウス／交響詩「英雄の生涯」作品40

- ミシェル・シュヴァルベ(vn), ベルリン・ポ.
▶1959年3月2～4日ダーレム, イエス・キリスト教会
Pハンス・リッター
Dヴェルナー・ヴォルフ
Eギュンター・ヘルマンズ
M 138 025

- ⑧ LP : LGM 165, SLGM 7, SLGM 1181, MG 2161, MG 9601-2, MG 9750 -4, MG 8110-4, MGX 7003, 20M G 0374

- CD : POCG 2066

- ⑧ LP : SLPM 138 025, LPM 18 550, 2740 111, 2535 194, 2740 256, DGS 712022, DMG 12022

- CD : 429 717-2

※ドイツ・グラモフォンへの戦後初録音。もちろんイエス・キリスト教会での初録音セッションとなる。



▲SLPM 138 025 (R.シュトラウス／英雄の生涯)

◎ベートーヴェン／交響曲第7番イ長調作品92

- ウィーン・ポ.
▶1959年3月9～10日ウィーン, ソフィエン・ザール
Pジョン・カルショウ
Eゴードン・バリー／ジェイムズ・ブラウン

L P : LY 59, SLH 3005, SLC 3001, GT 9015
 C D : POCL 2705
 [凱旋行進曲・バレエ音楽]
 L P : SLC 1737, GT 9086, SLX 1-6, SLC 8054, K15C 8077, K15C 70 22
 C D : K30Y 1594, 230E 51065, 230E 5 1070
 [部分]
 E P : LS 5119
 L P : SLC 8106, L20C 1773, K20C 86 51, L35C 5288-9, L20C 2064, K 20C 9908
 C D : KICC 9039-40, KICC 9067-8, P OCL 2436
 * L P : SXL 2167-9, LXT 5539-41, A 4 345, OSA 1313, 6.35 261EX, 41 4 087-1, SXL 21026B, 390 049
 C D : 414 087-2
 [ハイライト]
 L P : 6.41 522AN, SXL 2242, LXT 55 97, CS 25206, SXL 20510, BLK 2 0510, SLA 25018, KD 5, SKD 5
 C D : 417 763-2
 [部分]
 L P : CEP 676, SEL 5075, CEP 700, SEL 5091, BR 8501, SWL 8501, SLA 25018, DIMC 508, SXCI 2 242, ESXCI 2242
 C D : 421 176-2



▲LXT 5539-41 (ヴェルディ/歌劇「アイダ」)

「アイダ」のレコーディング・セッション



第1幕録音のあいまにレナータ・テバルディ、カルロ・ベルゴンツィと。



プロデューサー、ジョン・カルショウと打ち合わせをするカラヤン。右はジュリエット・シモナート。

C D : ARTEMIS 710 003
 ※ARTEMIS 盤は5月12日と誤記している。

◎グルック/歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」

■ジュリエット・シモナート (Ms: オルフェオ), セーナ・ユリナッチ (S: エウリディーチェ), グラツィエル・シュツェッティ (S: アモール), ウィーン国立歌劇場 cho., ウィーン po.
 ▶1959年8月5日ザルツブルク, フェルゼンライトシュレ

* L P : Legendary LR 132-3, Replica RPL 2436-7

C D : Nuova Era 2215-6, Memories HR 4382-3

[部分]

L P : Melodram MEL 081, Longanesi Peridici GML 68

C D : Licenza Nuova Era NS HvK 110

※アモール役は最初の予定では、アンナ・モッフォであった。



▲RPL 2436-7 (グルック/歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」)

◎ベートーヴェン/ミサ・ソレムニス 二長調作品123

■レオンティン・プライス (S), クリスタ・ルーツウィヒ (A), ニコライ・ゲッダ (T), ニコラ・ザッカリア (Bs), ウィーン楽友協会 cho., ウィーン po.
 ▶1959年8月19日ザルツブルク, フェルゼンライトシュレ

* L P : Melodram MEL 704, Joker SM 1343

C D : Nuova Era 2262-3

◎ヴェルディ/歌劇「アイダ」

■レナータ・テバルディ (S: アイダ), ジュリエット・シモナート (Ms: アムネリス), カルロ・ベルゴンツィ (T: ラダメス), コーネル・マックニール (Br: アモナスロ), アルノルド・ヴァン・ミル (B: ランフィス), フェルナンド・コレナ (Bs: エジプト王), ビエル・デ・バルマ (T: 使者), エウゲニア・ラッティ (S: 尼僧), ウィーン楽友協会 cho., ラインホルト・シュミット (合唱指揮), ウィーン po.
 ▶1959年9月2〜15日ウィーン, ソフィエン・ザール

◎ジョン・カルショウ/ジェイムズ・ウォーカー

◎ジェイムズ・ロック/ゴードン・バリ

◎ZAL 4545-50 || ARL 4545-50

* L P : LX 322-4, SLC 1008-10, SLX 1-3, SLC 7022-4, SLA 7501-3, L 54C 5070-2, L54C 5257-9
 C D : F75L 59037-9, POCL 2396-8 [ハイライト]

◎ジョン・カルショウ

◎ゴードン・バリ/ジェイムズ・プラン

◎ZAL 9925-6 || K2RP 3305-6

* L P : LS 2244, SLS 2045, SA 8001, R A 2038, SRA 2093, SLC 6087, GT 9003, GT 9123, K15C 8019, K16C 1616, K15C 7067

C D : KICC 9037-8

①

E P : RA 1015, ES 31, SX 8502, SCP 3001, SCP 3521

L P : SHP 2086, SLC 8054

C D : 230E 51008, POCL 2063

②

E P : RA 1015, ES 31, ES 8538, SCP 3561

L P : SHP 2086, MZ 9003

C D : 230E 51008

③

L P : SHP 2086

C D : 230E 51091

④

E P : SCP 3001, SCP 3561

L P : SHP 2086

C D : 230E 51091

⑤

E P : ES 31, ES 8538, SCP 3561

C D : 230E 51091, POCL 2063, POCG 9151-64, POCG 2633-4

⑥

L P : RA 1015, SX 8507, ES 8566, SH P 2086, SCP 3521

C D : 230E 51091, POCL 2063

* L P : SB 2091, RB 16216, LM 2538, LSC 2538, SDD 259, STS 1516 3, 630529-32, 640558-61, LD 64 07, LDS 6407, 6.41 578AN, SMV 1249, JB 68, 592 007, SVAS 100 5, LD 2346, LDS 2346, 6.43 245 AH

①

L P : HZT 101, SHZT 101

C D : 417 788-2

②

L P : 6.41 829AF, ASD 22090

③

L P : 6.41 829AF, 6.48 158DM

④

L P : 6.41 829AF, LSC 2346, LM 234 6, ASD 22090

⑤

L P : 6.41 829AF, ASD 22090

C D : 435 335-2

⑥

L P : LSC 2346, LM 2346

◎ワグナー/楽劇「トリスタンとイゾルデ」第2幕2場より「愛の二重唱」

■ヴォルフガング・ヴィントガッセン (T: トリスタン), ヒルギット・ニルソン (S: イゾルデ), ヒルデ・レツセル = マイダン (Ms: ブランゲネ), ミラノ・スカラ座。

▶1959年4月30日ミラノ・スカラ座

* C D : HUNT 4CDKAR 224

※4月28日初日で4回上演されたミラノ・スカラ座での「トリスタンとイゾルデ」より4月30日の第2幕2場である。

◎ブラームス/交響曲第2番二長調作品73

■ベルリン po.

▶1959年5月22日ベルリン

* L P : WG Records WG 30002, Joker SM 1347, C 87, ARTEMIS 951 0 03

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

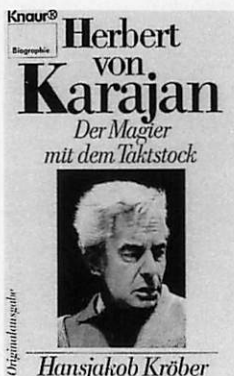
ヘルベルト・フォン・カラヤン



1908.4.5~1989.7.16

第1期

第11回



「指揮棒の魔術師」
第七章・帝王③

もう一つの帝国、エリエツテとの結婚 ハンスヤー・ヨラ・クレーバー著 高橋みき訳・注釈

カラヤン自身の全く私的な帝国——二度目の結婚生活——は、必然的に崩壊せざるを得なかった。ロベルト・C・パツハマンは、五〇年代、「猛烈なる活動の再開の後、カラヤンとアニータとの仲は冷え、最終的には二人は別れることになった」と記している（注一）。それはまことにエルミー（注二）と過ごした時代のものであり——ただ、それよりももっと性急であった。ヨガをして調整したにもかかわらずである。

アニータはいずれにせよ、だんだんと他のものに関心を持つようになり——彼女が愛し独占したく思っているにもかかわらず、決して彼女のそばにはいない人のもとで、この全く自意識の強い女性には自分になお残されているもの全てに関心を向け始めたのである。彼女は受身の態度を保つには、あまりに個性が強すぎた。それゆえなおさらアニータは、「肉体的成熟の頂点にありながら、カラヤンから十分には必要とされていない」（前掲書一九九頁・邦訳二九三頁）と感じたのである。四二年に始まった夫婦生活は、五八年にひとつそりと終わりを告げた。アニータは再婚せず、エルミーのように「フォン・カラヤン」という姓を名のり続けた。

当時カラヤンは非常に仕事熱心であり、女性関係について言えば離婚の悲しみな

ど無縁であった。ただ、彼の女性関係が一度も表面化しなかっただけである。それは一時的なもので人には気づかれなかった。——一九五八年のある日、ロンドンで指揮するまでは……

ロンドンではとうの昔から彼のコンサートは華麗なる事件であって、いつもチケットは売り切れていた。エリエツテ・ムレーは英国王室のメンバーと婚約したも同然であった。その夜ロイヤル・フエスティヴァル・ホールを訪れた。拍手喝采

の中カラヤンは、美しいブロンドの女性を一階正面席に見つけ、微笑みながら軽くうなずいて合図をした。

彼女は楽屋までメモを届けさせた。それには英語で、「サン・トロペを覚えていますか？」と小さく走り書きされていた。数分後、カラヤンの私設秘書マツトニーが、その若い女性を厳重に守られた指揮者控室へ招き入れた。「今晚一緒に食事する時間がありますか？」マエストロは尋ねて、彼女を緑がかつた青い目でじ



ロンドン空港に降り立ち、バラとチューリップの花束を贈られたカラヤン夫妻

髪が最も長かった頃のエリエット夫人。
右は長女イザベラ(1962年夏)

結婚式はカラヤン流そのものであり、

「飯に私がその美しい頭をしたマヌカンの——彼女の髪は輝く黄金の冠のため蚕が紡いだかのようだった——若くてほっそりとした容姿に気づかなかったとしても、エリエット・ムレーの微笑みに私はうっとりしてしまつて、彼女を雇ったことだろう——彼女の幸福な微笑みと好感を抱かせる声に魅かれて。

この娘が入つて来る時には、サロンが突然陽光に満たされるような気がしたものだ。皆彼女が好きだった。私の従業員だけじゃなく、お客様も全員そうだった。若く美しい彼女にとって、それは決して小さくない業績だった。

彼女が私たちと一緒に働くようになって間もなくのある日、不意に彼女はフランス語で、『私は公爵をつかまえたのよ』と言つて大笑いした。彼女のファンだったある公爵をうまくひっかけ、そのことを彼女は大いに楽しんだのだ。だが結局のところ、エリエットにとって偉大な肩書きは大した意味を持つてはいなかった。彼女はすぐにロンドンの社交界に受け入れられたが、実際には彼女は田舎娘そのものだった。そして遂に彼女は自分の願っているものを見つけた。それは、真実の価値を見きわめ彼女の行動を決定する勘であった。彼女はドイツ語の授業を受け、レコードプレーヤーとレコードを買つて真剣にクラシック音楽を聴いて理解することを始めた。今日ではエリエット・ムレーはフォン・カラヤン夫人だ。

それは密かに挙行された。ちょうどその時ローマに滞在していたマットーニは、その主人から電話で連絡され、あいた口がふさがらなかつた。「私は明日メジェーヴで結婚式を挙げるから、指輪と花嫁が持つブーケを持ってすぐ来て下さい。」マットーニは車で疾走し、途中ジュネーヴで頼まれた品を調達し、モンブランの西30kmに位置するフランスのウインタースポーツの地、メジエーヴまで突っ走つた。一九五八年十月六日、ヘルベルト・フォン・カラヤンとエリエット・ムレーは戸籍役場で結婚した。マットーニとエリエットのスキーの先生が立会人であつた。教会でのカトリックにのつとつた挙式は六年後に行なわれた——いずれも人目につくことはなかつた。

かつてエリエットはデ・ヴィラジョンが侯爵に「私は、ヘルベルトが求めるあらゆるぜいたくの頂点なのだ」と語つたことがある。その言葉には、何か真実なものがある。そのブロードの女性はマエストロの傍らでその男らしさを強調し、彼は彼女の魅力的な外見を楽しんでいる。なぜなら彼は音楽に限らず、ありとあらゆる美を愛しているからだ。

このことは彼の仕事にまでも徹底している。ウィーン国立歌劇場総務部長であり、カラヤンの最も親しい協力者の一人であつたパウ・ハーガーが、それについて物語っている。

マエストロ——無限の権力を帯びた芸術監督のように見えた——は、一九六二年にクロード・ド・ビュッシーのオペラ《ペレアスとメリザンド》を演出した。カラヤンは自分で用意した光学器械を使いながら、そのための照明リハーサルを数え切れないほど行なつた。

「彼は光を用いることで現実の風景を想像に描いていたのだ。回想は続く。『長い髪のかつらをかぶったエキストラの女性』が呼び出された。彼女はメリザンドとして舞台の上方に立ち、数時間もいるいろにテスト照明をあてられた。だが一つとして巨匠のお気に召すものはなかつた。そこで彼は突然暗い観客席に座つていた妻の方へ、昔日のオーストリア貴族の持つ魅力をつぶりふりまきながら振り返つた。彼女の肩から毛皮のコートを脱がせてやり、『すまないが、どうかあそこへ上がつて行って、髪を解いてみてくれ給え!』とフランス語で頼んだ。

エリエットは言われるままにした。彼女は、舞台装置のバルコニーの上に立つていた。そのひざにまで達するかと思われる長いブロードの髪は、柔らかに輝きながらまっすぐ落ちていた——カラヤンは劇場全体に電流を通じさせた。ドビュッシーの音楽に対する鮮やかな感覚をもつて、彼は妻の髪に照明をあてた。彼は天国にいるような気分であり、至福の絶頂にあつた——それは一時間十五分も続いた。終わると、彼女の手にキスをした。彼は『Merci Chérie!』(ありがとう、いとしい人!)と言ひ、彼女には恐ろしいほど優しくなつた」と、パウ・ハーガーは伝えている。そして《ペレアスとメリザンド》は、カラヤン時代の、ウィーン国立歌劇場の全上演の中で、最も素晴らしいものの一つとなつた。





カラヤンの演出技法は、度々八方から酷評された。「天才的指揮者」と言われているのに、いったいなぜ彼は演出しなげればならないのか？彼には、それはまるで不可能だ。どうしてかは全く簡単だ。舞台を重んじる気持ちは、それが音楽に（原作者の意図にも）ふさわしくないとされた時には、彼の指揮を妨げるのだ。というのは、コンサートとは逆にオペラでは、カラヤンは暗譜で指揮する時、眼を閉じないからだ。また、彼は他の監督たちの思いつきや冗談にしばしば同意できなかったで、彼は自分の手がける「舞台作品」については、自ら指揮と演出を兼務することを好んだのだ。それを最初、ほとんど知られていないことが既にアーヘンで《ニュルンベルクのマイスタージンガー》（四〇年）と《ばらの騎士》（四一年）で行なっていたのである。彼はその手仕事を駆け出しからたき上げて習熟していたので、同時に、音楽・最も微妙な色彩の濃淡・動作の流れ、これらの関係について鋭敏な感覚を持っているので、確かに指揮と演出の兼務ができるのである。（つづく）

〔注釈〕

（一）「カラヤン——ある栄達へのコメント Karajan: Anmerkungen zu einer Karriere」デッセルドルフ・ウィーン・エコー社、一九八三年、一九八頁。「カラヤン光の裏側」に（音楽之友社・横田みどり訳、一九八五年、二九一頁）。

（二）歌手エルミール・ホルガー・レフ。カラヤンとはアーヘンで一九三六年十二月三十一日（「つづき」で共演）、二年後に結婚した。

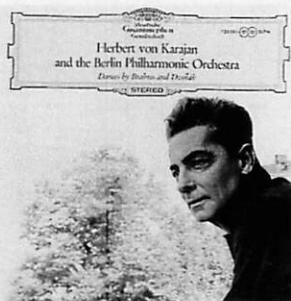
ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊（資料提供：D.C.ランボン（英）、鈴木恭司）

〔ディスコグラフィ記載方法〕

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー（〔P〕）、ディレクター（〔D〕）、レコーディング・エンジニア（〔E〕）、マトリックス番号（〔M〕）、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の〔V〕は映像作品を示す。
- レコード番号はS P, E P, L P（10インチを含む）、C D, L Dの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L P期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって配列してある。
- アルバムの中からは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータを付した。
- オペラ全曲盤よりのアリア曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは（部分）としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

435 590-2(9)~(13)



▲SLPM 138 080（ブラームス／ハンガリー舞曲第5番他）

◎①チャイコフスキー／幻想序曲「ロメオとジュリエット」作品13②R.シュトラウス／交響詩「ドン・ファン」作品20

■ウィーンpo.

▶1960年1月7～9日(①), 6月22～30

日(②)ウィーン、ゾフィエン・ザール

□ジョン・カルショウ／エリック・スミス

□ジェームズ・ブラウン／ゴードン・バリー

■ZAL 5063-4 || ARL 5063-4

◎L P : LY 5010, SLC 1080, SLC 1498,

GT 9012, L16C 1617

①

L P : SLC 1498, SLC 6069, GT 9132,

K15C 8074

C D : K30Y 1560, 230E 51057

②

E P : LS 5030

(⑩), F30G 20271(⑩), F30G 20282(①), F24G 20357(①), POC G 2062(①), POCG 2063(⑩), P OCG 2067(⑨~⑬), POCG 2076(①~⑧), POCG 2143(⑩), F0 OG 27045(⑨~⑬)

◎L P : SLPM 138 080, LPM 18 610, 138 610, 4 3582 002, SEPL 121 550, 618 610

〔オムニバス〕

E P : ELP 30550(①/②/④/⑤), EPL 32237(①/②), NL 32309(⑨/⑩)

L P : 135 031(①/②/④/⑤), 135 070

(⑨/⑬), 121 550(①/②/④/⑤),

121 688(⑨/⑩/⑬), 7 2464 (①

~⑧), J73 127(①~⑧), LPE 1

7223(①~⑧), 2543 509(⑨~⑬),

413 238-1(①), 413 239-1(⑩),

2725 001(①~⑧), 2545 006(⑤

/④/①/②), 2535 108(⑤/④/①

/②), 2535 175(③/⑧/⑦/⑥),

2543 046(①~⑧), 2721 075(⑤

/④), 2721 157(⑤/④/①/②/⑨

/⑩/⑩), 2563 357(①), 2721 07

4(①/③), 2563 650(①), 2521 0

73(①), 2721 081(①/②), 2563

486(②/⑨), 2721 084(②/⑨),

2563 482(②/⑨), 2725 002 (⑨

~⑬), 2543 509(⑨~⑬), 2545

001(⑨~⑬), 2721 074(①~⑤/

⑨/⑩), 2726 516(⑨~⑬), 2545

011(⑨~⑬), 2545 004(⑬), 253

5 628(①/②/④/⑤), 2721 191

(①/②/⑤), 2535 683(⑤), 2542

193(①/②/④/⑤)

C D : 423 206-2(⑨~⑬), 423 207-2

(①~⑧), 427 869-2(⑨~⑬),

◎①ブラームス／ハンガリー舞曲第5番嬰へ短調②第6番変二長調③第17番嬰へ短調④第3番へ長調⑤第1番短調⑥第20番短調⑦第19番短調⑧第18番二長調⑨ドヴォルザーク／スラブ舞曲第1番八長調⑩第10番短調⑪第3番変イ長調⑫第16番変イ長調⑬第7番八短調

■ベルリンpo.

▶1959年9月4日

□オットー・ゲルデス／エルザ・シラー

□ハンス・ヴェーバー

□ギンター・ヘルマン／ヴェルナー・ヴォルフ

■ZAL 5063-4

◎L P : LGM 185, SLGM 17, SLGM 115

1, MG 1151, SMG 2036, MG 20

36, MG 9379-85, 20MG 0325

C D : FOOG 27045, POCG 2076

〔オムニバス〕

E P : SEPG 4(①/②/④/⑤), SKG 1

001(①~⑤/⑧), SKG 1036(⑨/

⑪/⑬/⑩)

L P : DG 1003(⑤/①/②), LG 1089

(①~⑧), DG 1034(⑤/⑩), SLG

1008(①~⑧), SLGM 1182(①),

MG 1482(①/②), MG 9901(③),

MG 9346-7(①), MG 8783-97

(④/②/①/⑧/⑨/⑩/⑬/⑩), M

GA 9906(①/②/④/⑤), MGA 9

908(⑨/⑩/⑬/⑩), 30MG 0270-

1(①/②/⑤/⑨/⑩), 18MG 4506

(⑨~⑬), 15MG 0901(①), 15M

G 0902(⑩)

C D : F26G 20181 (①), F26G 20182

(⑩), F26G 29023(⑨~⑬), F2

6G 29035(①~⑧), F30G 20221





▲STC 91093(シベリウス/交響曲第2番)

◎シュベルト／交響曲第8番短調口。
759「未完成」

■ベルリンpo.

▶1960年6月10日ベルリン

⑧LP : WG Records WG 30008, Joker
SM 1350

◎J.シュトラウス／喜歌劇「こうもり」
作品56

■ヒルデ・グーデン(S : ロザリンデ),
ヴァルデマル・クメント(T : アイ
ゼンシュタイン), エリカ・ケート(S
: アデーレ), ワルター・ベリ(Bs :
ファルケ), エバーハルト・ヴェヒター
(Br : フランク), ジュゼッペ・ザンビ
エリ(T : アルフレッド), レジーナ・
レズニック(Ms : オルロフスキー公爵),
ペーター・クライン(T : プリント),
エーリッヒ・クンツ(Br : フロッシュ),
ヘドヴィッヒ・シュベルト(S : イ
ーダ), オマル・ゴッドノウ(バリモ
ア卿), B. ファゾルト(イワン), アンド
レ・フォン・マッソーニ(カリコーニ),
ウィーンpo., ウィーン国立歌劇場cho.
(ガラ・パフォーマンズ : ゲスト)
レナータ・デバルディ(S), ビルギッ
ト・ニルソン(S), ジョーン・サザー
ランド(S), レオンタイン・ブライス
(S), リューバ・ヴェリッヒ(S), テ
レサ・ベルガンサ(Ms), ジュリエッタ
・シミオナート(Ms), マリオ・デル
・モナコ(T), ユッシ・ビョルリンク(T),
エッレ・バステアニーニ(Br), フ
エルナンド・コレナ(Bs)

▶1960年6月12~20日ウィーン, ソフィ
エン・ザール

□ジョン・カルショウ／エリック・ス
ミス／クリストファー・レイバーン
⑧ゴードン・バリ／ジェイムズ・ブラ
ウン／ピーター・アトウッド

■ZAL 4923-8 || ARL 4923-8

⑧LP : SLC 1021-3, SLX 2-5, SLC 702
8-30, SLA 7547-9, K15C 9081-3,
L69L 1221-3

CD : F70L 50482-3, POCL 2278-9
[ハイライト]

LP : SLH 3022, SLC 3007, GT 9018,
SLC 6120, GT 9138, L20C 1826

CD : F30L 20204, POCL 2719

[序曲]

EP : LS 5085

LP : SLC 1737, GT 9086

CD : F28L 28013

[バリエーション]

EP : LS 5085

LP : SLC 1737, GT 9086

[部分]

CD : POCL 2202, POCL 2205, POCL
2440, POCL 2451

⑧LP : SET 201-3, LXT 6015-6, SXL 6
015-6, MET 201-3, A 4349, OSA

LP : OL 3151, OS 3024, SCD 1011

②
EP : AA 4515, AA 4580

LP : OS 3192, SCD 1011, AA 8225

③
LP : OS 3192

④
EP : AA 4674

LP : OL 3151, OS 3024, SCD 1011

⑤
EP : AA 4502, AA 4580, AA 4629, A
A 4674

LP : OS 3192, SCD 1011, AA 7398,
AA 8359-61, AA 9915-6, AA 99
23-4, AA 9987-8, AA 5110

⑥
LP : OL 3151, OS 3024

⑧LP : SAX 2378, 33CX 1729, SXLP 3
0203, 35890, S 35890, 33FCX 79
8, 33WSX 755, SAXQ 7309, SA
XF 132, 33QCX 10412, 1C 063
00 512, 2C 053 00 512 2C 059
00 512, C 80850, SMC 80850, 0
23 769 412-1, ASDQ 5357

CD : CDM 763 113-2

①
LP : SLS 5019

②
EP : SEGW 7964, ESGW 7508, C 41
136, STC 41136, SCBQ 3075

LP : SLS 5019, 1C 03 059-60, SXDW
3048, 1C 137 29 0077-3

③
LP : C 91093, STC 91093, SME 202
1-2

④
EP : SEGW 7964, ESGW 7508, C 41
136, STC 41136, SCBQ 3075

⑤
LP : SLS 839, S 37231

CD : 627 769 437-2

⑥
LP : SLS 839, S 37231

⑦
LP : SLS 839, S 37231

⑧
LP : SLS 839, S 37231

⑨
LP : SLS 839, S 37231

⑩
LP : SLS 839, S 37231

⑪
LP : SLS 839, S 37231

⑫
LP : SLS 839, S 37231

⑬
LP : SLS 839, S 37231

⑭
LP : SLS 839, S 37231

⑮
LP : SLS 839, S 37231

⑯
LP : SLS 839, S 37231

⑰
LP : SLS 839, S 37231

⑱
LP : SLS 839, S 37231

⑲
LP : SLS 839, S 37231

⑳
LP : SLS 839, S 37231

㉑
LP : SLS 839, S 37231

㉒
LP : SLS 839, S 37231

㉓
LP : SLS 839, S 37231

㉔
LP : SLS 839, S 37231

㉕
LP : SLS 839, S 37231

㉖
LP : SLS 839, S 37231

㉗
LP : SLS 839, S 37231

㉘
LP : SLS 839, S 37231

㉙
LP : SLS 839, S 37231

㉚
LP : SLS 839, S 37231

㉛
LP : SLS 839, S 37231

㉜
LP : SLS 839, S 37231

㉝
LP : SLS 839, S 37231

LP : SLC 1493, SLC 6083, GT 9133,
K15C 8042

CD : K30Y 1559, 230E 51056

⑧LP : SXL 2269, LXT 5629, CM 9278,
CS 6209, CC 7528, CSP 3, SPS
119

①
LP : SPA 119, 6.41 633AN, JB 71 A
V, 6.41 544AH, 6.43 246AH, 59
2 004

②
CD : 417 722-2

③
LP : 6.35 145DX, JB 27, CS 6211, S
PA 219, 6.41 554AN, 592 003,
SNA 25027

④
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑤
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑥
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑦
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑧
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑨
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑩
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑪
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑫
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑬
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑭
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑮
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑯
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑰
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑱
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑲
CD : 417 720-2, 417 788-2

⑳
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉑
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉒
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉓
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉔
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉕
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉖
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉗
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉘
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉙
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉚
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉛
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉜
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉝
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉞
CD : 417 720-2, 417 788-2

㉟
CD : 417 720-2, 417 788-2

㊱
CD : 417 720-2, 417 788-2

㊲
CD : 417 720-2, 417 788-2

㊳
CD : 417 720-2, 417 788-2

㊴
CD : 417 720-2, 417 788-2

㊵
CD : 417 720-2, 417 788-2



▲35890(ロッシニ序曲集)

◎シベリウス／交響曲第2番二長調作品
43

■フィルハーモニア。

▶1960年3月28~29日ロンドン, キング
ズウェイ・ホール

□ウォルター・レック

□ハロルド・ダヴィットソン

■YAX 573-4 || XAX 1939-40

⑧LP : OS 3022, AA 7085, AA 7391, A
A 8309, EAA 122, EAC 40019,
EAC 70107, EAC 55016

CD : TOCE 7258

[第1楽章]

LP : EAC 35002

⑧LP : SAX 2379, 33CX 1730, SXLP 3
0414, SMC 91093, STC 91093, 3
5891, S 35891, 33QCX 10409, S
AXQ 7305, 33WCX 1730, SAXW
2379, C 91093



▲IC 053 00 648(チャイコフスキー/交響曲第4番)

◎ロッシニ／①歌劇「泥棒かきさぎ」
序曲②歌劇「セビリアの理髪師」序曲

③歌劇「アルジェのイタリア女」序曲
④歌劇「絹のはしこ」序曲⑤歌劇「ウ
ィリアム・テル」序曲⑥歌劇「セミラ
ーミデ」序曲

■フィルハーモニア。

▶1960年3月26日(①/④/⑥), 27日(④
/⑤), 29~30日(②/③/⑤) ロン
ドン, EMI・第1スタジオ(3/26~
27, 30), キングズウェイ・ホール(3/
29)

□ウォルター・レック

□ハロルド・ダヴィットソン

■YAX 571-2 || XAX 1937-8

⑧LP : AA 7102, AA 7659, AA 8609, A
A 9915-6, AA 93015-6, AA 510
5, EAC 47113-4, EAC 30256, E
AC 55035

①
EP : AA 4629

②
EP : AA 4629

③
EP : AA 4629

④
EP : AA 4629

⑤
EP : AA 4629

〔部分〕
C D : Melodram MEL 18003

◎モーツァルト／レクイエム 二短調 K. 626

■レオンティン・ブライス(S), ヒルデ・レクセル=マイダン(A), フリッツ・グンダーリヒ(T), ウルター・ペリー(Br), ウィーン楽友協会cho., ウィーンpo.

▶1960年8月24日ザルツブルク, 新祝祭大劇場

⑨C D : ANF 52, 25CDS 6006

⑩L P : HRE Records HRE 317, Movimento Musica 01.023

C D : Historic recording CDS 1-6001, CLAUQUE GM 2003-4, Price-less D 16573

※Melodram盤のC D (MEL 18003)は60年ザルツブルクの表記で同一の独唱者であるが別の演奏であり、後日に係ることにする。

Ⅲ◎R.シュトラウス／楽劇「ばらの騎士」

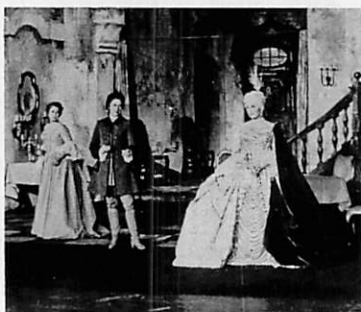
■エリーザベト・シュヴァルツコップ(S : ウェルデンベルク侯爵夫人), オットー・エーデルマン(Bs : オックス男爵), セーナ・ユリナッチ(Ms : オクタヴィアン), エーリヒ・クンツ(Br : ファニナル), アンネリーゼ・ローテンベルガー(S : ゴフィエ), ジュディス・ヘルヴィヒ(S : マリアンネ), レナート・エルコレニ(T : ヴァルツァツキ), ヒルデ・レクセル=マイダン(A : アンニナ), ジークフリート・ルドルフ・フリーズ(T : ファニナル家の家令), エーリヒ・マイクート(T : 侯爵家の家令), アイロス・ベルネルストルファー(Bs : 警部), ジョセフ・ナッパ(Br : 公証人), ジュゼッペ・ザンビエルリ(T : 歌手), フリッツ・スベルバウアー(T : 料理人), ハンス・クレス(T : 調髪師), リーゼロッテ・マイクエル, イヴリン・ラプルーチェ, ユッテ・フライ(3人の狐児), マリー・リヒャルト(S : 帽子売りの女), クルト・エキルト(T : 動物売りの男), ウィーン国立歌劇場cho., ザルツブルク・モーツァルト管弦楽団員, ウィーン国立歌劇場バレエ団, ウィーンpo.

▶1960年ザルツブルク, 新祝祭大劇場

監督：パウル・ツィンナー, 演出：ヘルベルト・フォン・カラヤン, 舞台監督：ルドルフ・ハルトマン, 舞台装置：テオ・オットー, 舞台衣裳：アーネ・クニャート, 録音技術：エドガー・ヴェッター

⑨L D : K94L 5031-2, 485L 2501-2

VHD TFCD 1017-8



第3幕：アンネリーゼ・ローテンベルガー(ゴフィエ), セーナ・ユリナッチ(オクタヴィアン)とエリーザベト・シュヴァルツコップ(侯爵夫人)

L P : SLC 1498, SLC 6069, GT 9132, K15C 8070

C D : K30Y 1559, 230E 51056

⑨L P : SXL 2261, LXT 5620, CS 5620, LXT 6283, SXL 6283, SDD 211, CM 9280, CS 6211, SMD 1207, 592 002

①

L P : JB27, 6.35 145DX, 6.41 554AH, 6.42 511AH, HZT 101, SHZT 1 01, SNA 25027

C D : 417 722-2

②

L P : 6.42 511AH

C D : 417 788-2

③

L P : 6.35 145DX, 6.41 554AH, SNA 25027

C D : 417 720-2

◎R.シュトラウス／楽劇「ばらの騎士」

■リーザ・デラ・カーザ(S : ウェルデンベルク侯爵夫人), オットー・エーデルマン(Bs : オックス男爵), セーナ・ユリナッチ(Ms : オクタヴィアン), エーリヒ・クンツ(Br : ファニナル), ヒルデ・クエンデン(S : ゴフィエ), ジュディス・ヘルヴィヒ(S : マリアンネ), レナート・エルコレニ(T : ヴァルツァツキ), ヒルデ・レクセル=マイダン(A : アンニナ), エーリヒ・マイクート(T : 侯爵家の家令), ジークフリート・ルドルフ・フリーズ(T : ファニナル家の家令), アイロス・ベルネルストルファー(Bs : 警部), ジョセフ・ナッパ(Bs : 公証人), ジュゼッペ・ザンビエルリ(T : 歌手), フリッツ・スベルバウアー(T : 料理人), ウィーン国立歌劇場cho., ウィーンpo.

▶1960年7月26日ザルツブルク, 新祝祭大劇場

⑨C D : HUNT 3CDKAR 213

〔第一幕フィナーレ〕

C D : HUNT 3CDKAR 227

※ザルツブルク音楽祭40周年記念, また新祝祭大劇場のこけら落し公演の初日のライブ録音。7月26日, 8月4, 6, 13, 18, 28日と6回上演されたうちシュヴァルツコップが侯爵夫人を歌ったのは6, 18日の2回のみであった。またゴフィエの8月の5回はアンネリーゼ・ローテンベルガーが歌っている。

◎モーツァルト／歌劇「ドン・ジョヴァンニ」

■エーベルハルト・ヴェヒター(Br : ドン・ジョヴァンニ), レオンティン・ブライス(S : ドンナ・アンナ), チェザレ・ヴァルレッティ(T : ドン・オッターヴィオ), エリーザベト・シュヴァルツコップ(S : ドンナ・エルヴィーラ), ウルター・ペリー(Bs : レボレロ), グラツィエルラー・シュッティ(S : ツェルリーナ), ロランド・パネライ(Bs : マゼット), ニコラ・ザッカリア(Bs : 騎士長), ウィーン国立歌劇場cho., ウィーンpo.

▶1960年8月3日ザルツブルク, 新祝祭大劇場

⑨C D : ANF 73

⑩L P : HRE Records HRE 247, Movimento Musica 03.001, Paragon DSV 5201

C D : Movimento Musica 013.6012, Curcio OP 6

〔序曲〕

L P : Foyer FO 1034

C D : Melodram MEL 18003

1319-21, 6.35 107EK, OSA 1249, A 4247, D247 D3, LXT 2055-6, SXL 20055-6, LXT 2023-5, SXL 20023-5, 592 152

C D : 421 046-2

〔ハイライト〕

L P : 6.41 799AH, LXT 6155, SXL 61 55, CEP 6607, SEL 5507, DDS 501, L 25923, 825 532, BD 556B, SLK 16208, BLK 16208, SX 211 86

〔序曲〕

E P : SEC 5507

L P : STS 15208

C D : 417 455-2, 417 774-2

〔バレー音楽〕

E P : SEC 5507

L P : STS 15208, ADD 150, SDD 150, SMD 1129

C D : 417 774-2

〔部分〕

E P : DX 2205

L P : SLA 25018, F 132

※ガラ・パフォーマンズでの各曲をとりだしているアメリカ・メトロポリタン盤, ロウ「マイ・フェア・レディ」より「踊りあかそう」(MET 204)や日本ボリドールのCD, ガーシュウィン「ボギーとベス」より「サマータイム」(POCL 2437)などをカラヤン指揮ウィーン・フィルの独立した曲とすることは不適当であり, ここではガラ・パフォーマンズ全体をカラヤンの指揮でないものとする。またカリコニ役のアンドレ・フォン・マッテニは実際のカラヤンの秘書である。



▲MET 201-3(J.シュトラウス/喜歌劇「こもり鼠」)

◎R.シュトラウス／①交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたすら」作品28◎楽劇「サロメ」より「7つのヴェールの踊り」◎交響詩「死と変容」作品24

■ウィーンpo.

▶1960年6月22～30日(①/③), 9月

(②)ウィーン, ゴフィエ・ザール
⑩ジョン・カルショウ/エリック・スミス(①)

⑩ジェイムズ・ブラウン/ゴードン・パリー(①)

⑩LAL 5019-20 ⑩ ARL 5019-20

⑩L P : GT 9013, L16C 1618

①

L P : LS 5061

C D : K30Y 1560, 230E 51057

②

L P : SLC 1060, SLC 1225, SLC 1493, SLC 1766, SLC 6083, GT 9133, K15C 8042

③

L P : SLC 1060, SLC 1225, SLC 1493, SLC 1766, SLC 6083, GT 9133, K15C 8042

③

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

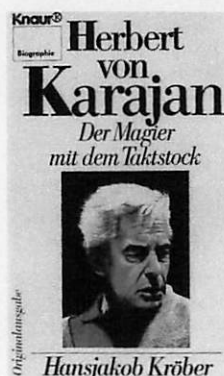
ヘルベルト・フォン・カラヤン



1908.4.5~1989.7.16

第1期

第12回



「指揮棒の魔術師」
第七章・帝王④

ウィーン国立歌劇場での活躍 ハンスヤーコプ・クレバー著 高橋みき訳・注釈

数え切れないほどの照明リハーサルに
もかわらず、カラヤンが演出を手がけ
た多くの舞台は暗すぎるという結果にな
ってしまった——そのことで彼は非難を
浴びることになったのだが。名高いワー
グナー歌手ビルギット・ニルソンは、そ
のためある時など坑夫が使う坑内ランプ
を頭上につけてリハーサルに現れたりし
た。もしくは、総支配人パウ・ハーガ
ーが見聞きしたように、苦情を言つたも
のだ。「その所でビルギットは、スウ
エーデンの大邸宅所有者の気位に満ちて
言つた。『いつたいぜんたい私はここで
何をやるの？みみずの役でも演じるとで
も？カラヤンはリハーサルで私に、その
つどどのような身のこなしをすべきか、
そしてそれがどんなに美しく見えるかを
説明するけど、この暗さじゃまるで何も
見えないじゃないの！』ウィーン国立歌
劇場での楽劇《トリスタンとイゾルデ》
のリハーサル中、両大家の間に決定的な
衝突が起こった。やはり第二幕は暗くさ
れ、それに反して指揮者には、歌い出し
を指示する彼の手の動きが見えるようス
ポットライトが当てられていた。けれど
も舞台上には、舞台装置から舞台を斜め
に横切つて光を投げる側面の照明がいく
つかあるだけだった。

カラヤンはヘッドホーンを着け、集め
られるだけの機械を指揮台の回りに置い
て何度も舞台上へ呼びかけている間、彼
女は「光を捜せ」ねばならず、「もとも
とイゾルデの感情を「捜す」だけで十分
なのに、光まで捜してられないわ」と幾
度もぼやいていた。イゾルデが「汝は我
がものか？」と歌い、トリスタンが彼女
に「汝再び我がもとに帰り来たるか？」
と応じる情熱的な場面が終わつてまもなく、
ニルソンは演技を中断してしまい、
両手を胸の前で握つて抗議の面持ちで舞
台のへりまで行き、そこに腰を下ろして
しまった。スポットライトに目がくらみ
しかもヘッドホーンを着けていたカラヤ
ンは、初め全然気がつかなかつたが、そ
れでもとうとう舞台上がもぬけのからで
あることに気づいた。彼が譜面台を指揮
棒で叩いて演奏をやめさせた時、ニルソ
ンはワーグナーの原文を逆にした古めか
しくて単純な文をカラヤンに言つた。「汝
は光の中に、我は闇の中に！」（原文には
「汝は闇の中に、我は光の中に」とある）。
ハーガーによれば、「その時誰も笑お
うとする者はいなかつたし、二人の間に
は和解のきざしもなかつた」ということ
だ。カラヤンはその出来事について何も
言わなかつた。にもかかわらず、彼は冷
ややかてよそよそしい態度をとり続けた。
もつともニルソンの方は、ユーモアの精

神を持ち続けていた。彼女が一九六八年
契約と期日に関する際限なく困難な交渉
の後で、カラヤンの演出による楽劇《ワ
ルキューレ》のリハーサルのためニュ
ーヨークのMetに到着した時、総支配人
ルドルフ・ピングはこのワーグナーのヒ
ロインを優雅にひざまづいて歓迎し、う
やうやしくその手にキスをした。それに
対してニルソンは慈悲深く微笑みながら
「やあ、ハービー（Herbie）はどい？」と
尋ねたのだ。しかしカラヤンもユー
モアを示すことができたのだ。一九六〇
年ウィーンでの楽劇《神々の黄昏》の七
十五回目の照明リハーサルに際し、国立
歌劇場の従業員代表はその上役カラヤン
に全従業員からの月桂冠を贈呈した——
それをカラヤンは笑つてただちに肩の上
に置こうとした。ただそれは、きやしや
でやせたマエストロにとつてすら、残念
ながら小さすぎたのだが……。

カラヤンは徹頭徹尾論理的に演出する
ことをわきまえていた、ということがそ
の間に明らかになっていった。彼は原作
者の着想を忠実に守り続け、そして次の
ように強調していた。「私にとつてはア
イダは掃除婦などではない」「そして
ライン川はワーグナーにとつても私にと
つても炭坑地帯を流れるルール川など
ではない」「一個の作品はそれそのものが



積木遊びをする長女イザベラとカラヤン(1962年夏)

ドキュメントなのだ。ドキュメント上の誤りを私は犯すわけにはいかない！」
「彼は偽善者とはまるで正反対だった」と、ハーガーは彼のかつての上司の性格を描き出している。そしてそこそが、ウィーンにおいてマエストロの生活を辛いのにしたのだった。ハーガーによると「彼は巨大な計画や構想を練り上げることでは偉大な才能を発揮したが、瑣末な事からはその気まぐれでたびたび混乱させてしまっていた」ということである。そこへ、連邦劇場の官僚社会のいざこざがどつと押し寄せたのである。「ウィーンでは誰もが『あなたのうしろだてになります』と言うが、振り向いてみると誰もない！」と、カラヤンは嘆いたものだ。けれどもある日、カラヤン自身がいないことがあった。テノール歌手アン・デルモータはそのことをよく回想

していた。一九六〇年の六月の終わり、グスタフ・マラーの生誕百年を記念して、その誕生日が間近に迫ったある日曜日に祝賀マチネが開催されることになっていた。プログラムは《大地の歌》であった。デルモータはその曲を一度も歌っていないだったので、カラヤンは土曜日の午後(注一)にリハーサルをするよう彼に命じていた。だがデルモータは持ちこたえきれなかった。彼はそのリハーサルのことを忘れていたのだろうか？それは、ちょうどその時マエストロに女の子が生まれていたのである。イザベルである。それは、一九六〇年六月二十五日のことだった。そしてカラヤンは、彼が「忘れていなかった日曜日のコンサートが終わってから、ウィーン・フィルの団員たちに洗礼立会人になってくれるように頼ん

だ。その儀式は、キッツビュール(注二)に近いオーベルンドルフの森の礼拝堂で行なわれた。ウィーン・フィル団員からなる弦楽四重奏団がクラリネット奏者アルフレート・プリントツと一緒に、小さなイザベルに敬意を表してモーツアルトのクラリネット五重奏曲から緩徐楽章を演奏した。そしてエリザベト・シュヴァルツコップが、モーツアルトの《アヴェ・ヴェルム・コルプス》を歌い——誇り高きババ、ヘルベルト・フォン・カラヤンが、シュルシュ音をたてる田舎風のリードオルガンを力強く踏みながら伴奏したのである。

だがこのような牧歌的な風景は、一年と半年後にはほとんど考えられないものとなってしまう。連邦劇場の道具方たちがストライキを起こしたのである。彼らはとくに施行されているべき超過勤務規則を連邦劇場管理局(注三)に通過させようとしていた。カラヤンは、ウィーン国立歌劇場の芸術監督であったが、ちょうどドビュッシーの《ペレアスとメリザンド》を演出しているところであった。そのストライキのせいで、カラヤンは舞台装置家ギンター・シュナイダー

「ジームセンに『舞台装置を簡単に』するよう、指示せざるを得なかった。我々は節約された光と映写機だけに制限された」との、シュナイダー「ジームセンの言葉通りに彼は行なったのである。そのようにしてカラヤンによる光の演出は始められた。一九六二年一月六日の初演はウィーン国立歌劇場の栄光の一頁となり、さらにそれを越えて『ボス』と技術員

との連帯の表明にまでなっていた。経営協議委員会は、「私たちはあなたのためを思っている。この闘争を行なったのです！」と宣言したのである。

にもかかわらず、とうとう今や超過勤務の問題が解決されなければならなくなっていた。様々な提案がなされたが退けられた。ついに文部大臣ハインリヒ・ドゥリンメル博士が、マエストロを訪ねてわざわざ歌劇場へ向うことになったのである。それは一月三十日の出来事だった。ドゥリンメル博士はカラヤンに、その交渉を自分で行なうよう頼んだが、それに対しカラヤンは、出発を延ばせない旅行があるのでそれから帰った後すぐそのために尽力するであろう旨を告げた。

文部省は二日後、「この深刻な未だ解決されざる諸問題のせいで」一九六二年の歌劇場の舞踏会は開催できないと漏らした。

その爆弾宣言は、ゆきぶりますますような威力を持ったようだ。伝統ある国際的な年中行事、祝別されたウィーン国立歌劇場の舞踏会が中止になるかもしれない!! 闘争は突然衰弱してしまいった。連邦劇場管理局は、カラヤンの知らないところで直接に道具方労働組合と交渉したのである。上司カラヤンは、二月五日に帰って来た時、状況が全くめっちゃめっちゃになってしまっているのを目のあたりにした。妥協を成立させた諸条件を、彼は受け入れることはできなかったし、またそれをしようとしなかった。歌劇場の舞踏会——もちろんそれで救われた——は、彼とは何の関わりもなかった。彼は再び、うし

ろだてになつてくれる人を捜そうと後ろを振り返つてみたが、そこには誰一人として立ってくれる人はいなかったたのである。

二月七日に(注4) ヘルベルト・フォン・カラヤンは辞表を提出して、ウィーン国立歌劇場における全ての役職に辞意を表明した。

その後、彼はすぐさま飛行場へ行き、次の便に搭乗してスイスへ去つてしまつた。

翌日、美術及び技術用員たちが、カラヤンへの同情から座り込みストライキに入つた。その日の夜、イタリアの有名な指揮者トウロ・セラフィンは、ヴェルディの《仮面舞踏会》を始めずして、一度振り上げた指揮棒を下ろさねばならなかった。「我々のカラヤンを返せ！」という、聴衆のシュプレヒコールがどよめきわたつたからである。(つづく)

〔注釈〕

(1) マーラー生誕百年記念のカラヤン指揮《大地の歌》は、ヒルデ・レツセルマイヤー(A)とフリッツ・ヴンターリヒ(T)の独唱で六月十八日(土)と十九日(日)に行なわれている。イザベルの誕生と重なるデルモータとのリハーサルは別の演奏会があつたと思われるが、詳しくは不明である。

(2) オーストリアのチロル州東部の小都市。インスブルックから東へ93km、すぐれたスキー場が多いことで有名である。

(3) オーストリア文部省直属の監督官庁。その支配下には、ブルク劇場・アカデミー劇場・ウィーン国立歌劇場・ウィーン国民歌劇場(フォルクスオーパー)がある。

(4) ホイサーマン等の伝記では国立歌劇場への辞表は二月五日に出されている。七日はウィーンを離れ、チューリヒへ移動している。

ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 [資料提供: D.C.ランボン(英), 鈴木恭司, 金井清]

〔ディスコグラフィ記載方法〕

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(P)、ディレクター(D)、レコーディング・エンジニア(E)、マトリックス番号(M)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の(V)は映像作品を示す。
- レコード番号はS P, E P, L P(10インチを含む), C D, L Dの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L P期は初出のアルバムことと配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータをつけた。
- オペラ全曲盤よりのアリア曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

※ベルリン芸術週間10周年記念演奏会のライヴ録音。この日のプログラムはウェーベルの「管弦楽の6つの小品」「ジュリアス・シーザー」と「アイダ」よりアリア(レオンティン・ブライス)、ブラームスの交響曲第1番であった。

◎オペラ、バレエ曲集

①ヴェルディ/歌劇「アイダ」第2幕2場よりバレエ音楽②ムソルグスキー(R=コルサコフ編)/歌劇「ボヴァンシチナ」よりベルシヤの奴隷の踊り③ボロティン/歌劇「イーゴリ公」より だっかん人の娘達の踊りとだっかん人の踊り④ボンシエルリ/歌劇「ジョコンダ」より 時の踊り⑤ワーグナー/歌劇「タンホイザー」より ヴェヌスヴェルクの音楽

■フィルハーモニア

▶1960年9月21日(①), 22日(③~⑤), 23日(②/④/⑤) ロンドン, キングズウェイ・ホール

□ウォルター・レッグ

■ダグラス・ラター(①/②)

■YAX 653-4

① L P : OS 3089, EAC 30261

②

E P : AA 4035, AA 4076, AA 4554

L P : SCD 1006

C D : CE28 5042, CE25 5686

③

L P : SCD 1008, AA 7398, AA 9923-4, AA 5110

C D : TOCE 7149

④

E P : AA 4514

L P : SCD 1008, AA 7387, AA 8359-6

C D : CE28 5459

⑤

E P : AA 4003, AA 4513, AA 4579

L P : AA 7386, AA 8359-61, AA 8473, AA 8658, AA 9515-6, AA 9919-20, AA 9928, AA 93015-6, AA 5106

C D : CE28 5471, CE25 5686

① L P : SAX 2439, 33CX 1791, 35950, S 35950, T 639, ST 639, SXL 3021 0, EMX 41 2052-1, IC 053 01 143, 023 769 417-1

②

L P : STC 70497, SME 2021-2, WC 573, C 70497, 555 769 020-2

③

L P : 1C 137 54 360-3

C D : CDS 763 321-2

④

L P : 1C 137 54 360-3

C D : CDS 763 321-2

⑤

L P : STC 70497, WC 573, C 70497

C D : CDM 769 465-2

⑥

L P : SXDW 3048, ASDQ 5360

C D : CDM 769 466-2, 523 762 502-2, 545 769 466-2

◎ヘンデル/歌劇「ジュリアス・シーザー」第2幕より「二つの瞳よ、御身らが暮わしい(夜は青く)」

■レオンティン・ブライス(S), ベルリン

po. ▶1960年9月18日ベルリン

① L P : Legendary LR 139

◎①ウェーバー/歌劇「魔弾の射手」序曲

②ワーグナー/歌劇「さまよえるオランダ人」序曲③歌劇「ローエングリン」

第1幕前奏曲④ニコライ/歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」序曲⑤メン

デルスゾーン/序曲「フィンガルの洞窟」作品26

■ベルリンpo.

▶1960年9月16日(①~⑤), 17~19日(①~③/⑤), 20日(④)ベルリン・グリュネヴァルト教会

□ウォルター・レッグ(②~⑤)/フリッツ・ガンス(①)

■ホルスト・リントナー(①~③/⑤)

■YRX 1526-7 || XRX 1526-7

① L P : OS 3105, SCA 1023, AA 7351, EAC 47113-4

②

E P : AA 4003, AA 4502, AA 4579

L P : AA 7386, AA 8225, AA 8359-61, AA 8473, AA 8658, AA 9515-6, AA 9919-20, AA 9928, AA 9987-8, AA 93015-6, AA 8226, AA 5106

③

L P : AA 7385, AA 8473, AA 8675, AA 9927, AA 5104

C D : TOCE 5984-7

④

E P : AA 4068

L P : AA 7385, AA 8675, AA 9919-20, AA 9927, AA 5104

C D : TOCE 5984-7

⑤

L P : AA 7386, AA 8359-61, AA 8658, AA 9919-20, AA 9928, AA 93015-6, AA 5106

※60年11月3日と4日ミラノで行なわれたベルリン・フィルの演奏会のライブ。なお3日の演奏会に先立って、前日ミラノで没したディミトリ・ミトロポロス追悼のためブッチーニの「マノン・レスコー」間奏曲が演奏されている。

○リスト/①交響詩「マゼッパ」G.100②ハンガリア狂詩曲第4番ニ短調③第5番ニ短調④ピアノと管弦楽のためのハンガリー幻想曲G.126

■シュラー・チェルカスキー(p), ベルリンpo.

▶1960年12月12~13日(③/④), 1961年2月16~17日(①/②)ダーレム, イェス・キリスト教会

□エルザ・シラー(①/④)/オットー・ゲルデス(②)/ハンス・リッター(③/②)

■ギンター・ヘルマンズ

M 138 692

●LP: LGM 1025, SLGM 1025, MG 21 44

CD: POCG 2068

①

LP: MGX 7047

CD: F66G 50354-5

②

LP: MGX 7047

④

LP: DG 1045

CD: F66G 50354-5

●LP: SLPM 138 692, LPM 18 692, 2 725 001, 2736 006

①

LP: 415 628-1, 2726 517, 2535 110

CD: 415 967-2, 427 859-2

②

LP: 135 031, 2538 077, 2535 175, 41 5 628-1, 2726 517, 2535 110, 25 43 037, 2535 628, 2530 698, 121 550, 138 031, 2542 193

CD: 423 220-2

③

LP: 135 031, 2538 077, 2535 175, 41 5 628-1, 419 862-1, 2530 698, 121 550, 138 031

CD: 419 862-2

④

LP: 135 031, 2538 077, 2535 175, 41 9 862-1, 121 550, 138 031

CD: 415 967-2, 419 862-2, 429 156-2

○ベートーヴェン/歌劇「フィデリオ」

■ビルギット・ニルソン(S:レオノーレ), ジョン・ヴィッカーズ(T:フロレスタン), ハンス・ホッター(Br:ドン・ビツェロ), ゴットロープ・フリック(Bs:ロッコ), ウィルマ・リップ(S:マルツェリーネ), ゲルハルト・ウンガー(T:ヤキーノ), フランツ・クラス(Br:ドン・フェルナンド), ミラノ・スカラ座cho., ミラノ・スカラ座o.

▶1960年12月20日ミラノ, スカラ座

●LP: HRE Records HRE 388

※17日より5回上演された「フィデリオ」の20日のライブ録音。なおこの年イタリア政府よりイタリア共和国大將校勲章が授与された。

○J.シュトラウス/喜歌劇「こうもり」作品56

■ビルデ・ギューデン(S:ロザリンド), エバーハルト・ヴェヒター(T:アイゼンシュタイン), エーリヒ・クンツ(Bs:ファルケ), ゲルハルト・シュ

7396(②), AA 7398(④/①), A A 7399(⑤), AA 8130(③/⑦), AA 8225(⑦/②/①), AA 822 6(④/③/②), AA 8359-61(⑦/①/③/③/②/⑨/④), AA 45 38(③/⑥), AA 8525(⑨/⑦/③/⑥/③), AA 8528(⑨/⑦/③/⑥), AA 9515-6(⑦/①/③/⑨/④), AA 9923-4(②/④/①), AA 9925-6(⑤), AA 998 7-8(①/③/⑦/⑨), AA 9301 3-4(⑥/②/③), AA 93019-20 (⑦/⑨/④/①/⑧), AA 822 5(①/②/⑦), AA 8226(③/④/⑨), AA 5108(⑨/⑦/⑥/③), AA 5110(①/④), EAA 148(③/⑦), EAC 70110(③/⑦), EAC 77117-8(①/④/⑤/⑦~⑨), EAC 81050(③/⑦)

CD: CE28 5460(③/④/⑤/⑧), CE 28 5474(④), CE28 5458(①), CE2 8 5459(⑦/⑨), CE25 5811(④), CE25 5686(①/⑦), CE25 5687 (③/④)

●LP: SAX 2404, 33CX 1758, T 838, ST 838, CFP 40368, 35926, S 35 926, 33FCX 894, SAXF 216, 1 C 037 00 765, 3C 065 00 765, C 80464, STC 80464, SMC 80464

CD: 521 159 917-2

[オムニバス]

EP: SEL 1528(④), SEL 1568(②/③/⑥)

LP: SLS 839(①/③~⑤/⑦/⑨), 1C 187 30 200-1(②/⑥), S 37931(⑥/⑦), 2C 053 00 703 (⑦/⑨), 1C 137 03 059-60(①~④/⑦), SLS 5019(⑤/⑧), S 37250(⑤/①), 2C 053 01 414 (④), 2C 053 00 726(①~③/⑤/⑥), SXLP 30224(①), S 3 7232(③), SXDW 3048(①/③/④), STC 41 132(⑨), ASDQ 5360(⑨/⑦), 137 290 077-3(①~③/⑦), 1C 137 29 0077-3(④/⑦), 1C 137 46 465-6(④), 1C 1 37 46 467-8(③), 1C 137 46 46 1-2(②), 2C 059 03 054(①), 3 C 053 00 996(⑨)

CD: CDM 769 467-2(③~⑤/⑧), CDM 769 466-2(⑦/⑨), CDM 769 465-2(①), CDZ 762 506-2 (④), 627 769 437-2(⑦/⑨/③), 521 159 917-2(⑦), CDZ 7 62 507-2(①)



▲SAX 2404(プロムナード・コンサート)

○ベートーヴェン/交響曲第6番「田園」作品68

■ベルリンpo.

▶1960年11月4日ミラノ

●LP: WG Records WG 30007, Joker SM 1339, C 86

1, AA 8659, AA 9515-6, AA 992 9, AA 93019-20, AA 5107, EAC 47117-8

CD: CE28 5042, CE28 5474, CE25 5 808

④

EP: AA 4035, AA 4554

LP: HJ 5048, SCD 1006, AA 7398, AA 8225, AA 8359-61, AA 9515 -6, AA 9923-4, AA 9987-8, AA 93019-20, AA 8225, AA 5110, E AC 47117-8

CD: CE28 5042

●LP: SAX 2421, 33CX 1774, 33FCX 210, CND 571, 35925, S 35925

①

LP: S 37250, STC 70484, C 70484

CD: CDH 769 041-2, CDM 769 041 -2

②

LP: 33QCX 10192, SAXQ 7344, S 3 7250, SXLP 30445, 2C 053 01 41 3, SLS 839, SXLP 30200, EMX 412 607-1

③

LP: 33QCX 10192, SAXQ 7344, SHZ E 216, SLS 5019, S 37232, 1C 037 01 390, 1C 151 30 641-2, 2C 053 01 413, SXDW 3048

CD: CDH 769 041-2, 627 769 437-2, CDM 769 041-2, CDZ 762 501 -2

[③の部分]

LP: SXLP 30445

④

LP: 33QCX 10192, SAXQ 7344, S 3 7250, 35793, SHZE 216, SLS 50 19, 2C 053 00 724, 1C 137 03 059-60, STC 70484, C 70484, ASDQ 5358, 1C 137 29 0077-3

CD: CDH 769 041-2, CDM 769 041 -2, 521 251 707-2

⑤

LP: 33QCX 10192, SAXQ 7344

○プロムナード・コンサート

①ワルトイフェル/ワルツ「スケートをする人々」作品183②J.シュトラウス/トラッチ・トラッチ・ボルカ③J.シュトラウスI/ラデツキー行進曲④シャブリエ/狂詩曲「スペイン」⑤楽しい行進曲⑥J.シュトラウス/ボルカ「電光と雷鳴」⑦スッペ/喜歌劇「軽騎兵」序曲⑧ワインベルガー/歌劇「バグパイプ吹きのシュワンダ」よりボルカ⑨オッフェンバック/喜歌劇「天国と地獄」序曲

■フィルハーモニアo.

▶1960年9月21日(⑦/①), 23日(⑤/⑧/①/⑨/④), 24日(④/②/⑥/③) ロンドン, キングズウェイ・ホール(9/21, 23)EMI・第1スタジオ(9/24)

□ウォルター・レック

■ダグラス・ラーター(①/③~⑤/⑧/⑨)/E.ハントリー(③)

■YAX 657-8

●LP: OS 3083, OL 3213, SCA 1110, AA 7350, EAC 47111-2, EAC 30 260, EAC 55049

[オムニバス]

EP: AA 4006(⑦/⑨), AA 4073(③/⑥), AA 4075(⑤), AA 4501 (⑦), AA 4503(④), AA 4504(⑨), AA 4505(①), AA 4515(③/⑥), AA 4578(⑦/⑨), AA 4620(③), AA 4624(⑥/⑦), AA 4655(⑤) LP: AA 7395(⑨/⑦/③/⑥), AA

LX 2314, BR 8501, SWL 8501,
CM 5701, CS 25701, 6.41 581A
N, SLS 975, OS 25701

CD : 421 324-2

[部分]

LP : SXL 20523, BLK 20523, SKD 5,
KD 5, SLA 25018

CD : 421 309-2

◎クリスマス曲集

①グルーバー(マイヤー編)/清しこの
夜②メンデルスゾーン(マイヤー編)/
天には栄え③ホプキンス(マイヤー編)/
われら東方の三人の王④民謡(マイ
ヤー編)/あれ野の果てに⑤もみの木
⑥ともによろこびせ⑦ウィリス(シ
アズ編/マイヤー編)/あめなる神に
は⑧パッハ(ルター編/マイヤー編)/
高き天より⑨民謡/おさなごイエス⑩
シューベルト(サバティエ二編)/ア
ヴェ・マリア⑪アダン(トツツ
アワー編)/オー・ホーリー・ナイト⑫
パッハ(グノー編/サバティエ二編)/
アヴェ・マリア⑬モーツァルト/モ
テット(エクステルターテ・ユビラート)
K.165よりアレレヤ

■レオンティン・ブライス(S), ウィ
ーン・グロスシュタット少年cho., ウィ
ーン楽友協会cho., ラインホルト・シ
ュミット(合唱指揮), ウィーンpo.

▶1961年6月3~5日ウィーン, ソフィ
エン・ザール

□ジョン・カルショウ

■ゴードン・バリー/ジェイムズ・ブ
ラウン

■ZAL 5232-3

■LP : SLC 1255, SLC 1454, SLC 1574,
SLC 1729, SLC 1720, GT 9020,
GT 9140, K18C 8030, L16C 162
7, K15C 7080

CD : K30Y 1566, 230E 51026

[オムニバス]

EP : 17 5029 (①/⑫/⑬/⑭), 17M
5027 (①/⑫/⑬/⑭), LS 5037
(①/⑫/⑬/⑭), LS 5123 (①/
⑫/⑬/⑭)

LP : MZ 9003 (⑫)

CD : K30Y 3052 (⑫), 250E 54012 (⑫)

■LP : SXL 2294, LXT 5657, OS 25280,
6.41 367AN, JB 38, CS 6251,
5644

CD : 421 103-2

[オムニバス]

EP : SVD 1018 (⑫), VD 1018 (⑫)

LP : 6.41 836AF (⑫), 6.41 828AH
(⑫), GRV 10AV (⑫), SXL 2103
3 (⑫), BLK 21033 (⑫)

CD : 425 850-2 (⑫), 425 016-2 (⑫/
⑬)

※①の2番の歌詞はドイツ語で歌われており、
⑨は無伴奏である。



▲JB 38(クリスマス曲集)

CD : F26G 29036

②の部分

LP : 30MG 0268-9

■LP : SLPEM 136 257, LPEM 19 257,
2535 189, 2538 095, 2538 041, 4
13 981-1, 413 266-1

①

LP : 2724 004

①の部分

EP : 30 655

LP : 135 009, 2721 074, 2721 157, 27
21 183, 2545 009, 2538 101, 272
1 219, 2535 621, 2535 607 HL
00 213

CD : 423 215-2, 429 163-2

②

LP : 2736 006, 2721 219

CD : 423 215-2, 429 163-2

②の部分

EP : 32 306

LP : 135 009, 2548 251, 2538 101, 25
35 621, 2535 607, HL 00 213



▲LPEM 19 257(ドリーブ「コッペリア」他)

◎ヴェルディ/歌劇「オテロ」

■マリオ・デル・モナコ(T : オテロ),
レナータ・テバルディ(S : デズデー
モナ), アルド・プロッチ(Br : イア
ゴ), ネルロ・ロマーナート(T : カッ
シオ), トム・クラウゼ(Br : モンター
ノ), アナ・ラケル・サトレ(Ms : エミ
リア), ラナラケル・コレナ(Bs : ロ
ドヴィーコ), リベロ・アルバーチェ(Bs
: 伝令), ウィーン国立歌劇場cho., ウ
ィーン・グロスシュタット少年cho.,
ロベルト・ヘナリオ(合唱指揮), ウィ
ーンpo.

▶1961年5月10~21日ウィーン, ソフィ
エン・ザール

□ジョン・カルショウ/レイ・ミンシャル
■ゴードン・バリー/ジェイムズ・ブ
ラウン

■ZAL 5211-6

■LP : SLX 3-6, SLX 3-35, SLC 7050-
2, SLA 7580-2, K15C 9072-4, L
54C 5040-2, L54C 5144-6

CD : F70L 50423-4, POCL 2334-5

[ハイライト]

LP : SLC 3012, GT 9016, SLC 6117,
GT 9136, L20C 1830

[部分]

LP : MZ 9003, SLC 2497-506, K16C
89-90

CD : F30L 20208, POCL 2202, POCL
2451

■LP : SET 209-11, MET 209-11, OSA
1324, 6.35 107, 6.35 254EX, SX
L 20031-3, LXT 2031-3, A 4352,
390 057

CD : 411 618-2

[ハイライト]

LP : GP 359, GP 7655, LXT 5683, S

ルツェ(T : オルフスキーク公爵), ジ
ュゼッペ・ザンビエリ(T : アルフレ
ッド), ワルター・ベリー(Bs : フェ
ルケ), ベーター・クライン(T : プリン
ト), リタ・シュトライト(S : アデ
レ), エルフリーデ・オット(S : イ
ダ), ヨーゼフ・マインラート(Br : フ
ロッシュ), ウィーン国立歌劇場cho., ウ
ィーン国立歌劇場o.

▶1960年12月31日ウィーン, 国立歌劇場

■LP : Foyer FO 1031

CD : Foyer CF 2021, HUNT 3CDKA
R 215

[部分]

LP : Longanesi Periodici GML 25

◎ワグナー/舞台神聖祭典「バルジ ファル」

■エーベルハルト・ヴェヒター(Br : ア
ルフオンタ), トゥゴミール・フランツ
(Bs : ティットレム), ハンス・ホッ
ター(Bs : クルネマンツ), フリッツ・ウ
ール(T : バルジファル), ワルター・
ベリー(Bs : クリグゾル), クリスタ
・ルットヴィヒ(S : クンドリ [第2
幕]), エリーザベト・ヘンゲン(S :
クンドリ [第1・3幕]), リーゼロッテ
・マイケル(S : 小姓I), マルガレー
タ・シェステット(S : 小姓II/グル
ープII-3), エーリヒ・マイクート(T :
小姓III), クルト・エクヴィルツ(T :
小姓IV), エルマンノ・ロレンツィ
(T : 騎士I) コスタカ・パスカル(Br :
騎士II), グンドウラ・ヤノヴィツ
(S : グループI-1), ヒルデ・グー
デン(S : グループI-2), ビセルカ・
ツヴェイチ(S : グループI-3), アン
ネリーゼ・ローテンベルガー(A : グル
ープII-1), ケルダ・シャイラー(S :
グループII-2), ヒルデ・レスセル=マ
イダン(アルト・ソロ), ウィーン国立
歌劇場cho., ウィーン国立歌劇場o.

▶1961年4月1日ウィーン, 国立歌劇場

■CD : HUNT 3CDKAR 219

◎ベートーヴェン/①交響曲第8番へ長 調作品93②「レオノーレ」序曲第3番作 品72a

■ベルリンpo.

▶1961年4月15日ロンドン

■①

CD : HUNT 2CDKAR 208, Classical
Society CSCD 115

②

CD : HUNT 2CDKAR 222

※ロンドンでのベートーヴェン・チクルス
のライブ録音。

◎①ドリーブ/バレエ「コッペリア」組曲 ②ショパン/「ダグラス」/バレエ 「レ・シルフィード(風の精)」

■ベルリンpo.

▶1961年4月25~28日ダーレム, イエス
・キリスト教会

■ハンス・ヴェーバー

■グンター・ヘルマンズ

■136 257

■LP : LGM 1048, SLGM1049, MG 214
3, MGX 7032, 15MG 3038

CD : POCG 2069

①の部分

LP : SKG 1022, MGXA 9907, 30MG
0268-9

CD : F26G 29036, F30G 20283

②

LP : DG 1081

◎名演奏家
ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

ヘルベルトフォン カラヤン



1908.4.5~1989.7.16

第1期

◎第13回◎



「指揮棒の魔術師」
第七章・帝王⑤

ウィーン国立歌劇場での内紛 ハンスヤーク・クレバー著 高橋みき訳・注釈

オーストリア政府の官僚機構とカラヤンとの口論は一ヶ月も続き、その間カラヤンはチューリヒ（彼の弁護士たちのもとで）、シュルルス（注）（彼の崩れた体調とスキーのために）、ベルリン（彼のベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のもとで）、サン・モリッツ（彼の家族のもとで）と滞在場所を転々とした。超過勤務だけでなく、予算もその争点であった。予算は連邦劇場管理局が出し惜しみしていたので、カラヤンが主張したように、もともとどれぐらいの額がオペラのためにふりあてられているのか（超一流の歌手たちとの契約のためなど）、彼は一度も知らされていなかったのである。ある官僚が、その必要性について管理局の事務机に向かうだけでは全く見当をつけることができなかった不明朗な支出のことで、苦情を言っただけで終わるということをした。そしてカラヤンはそれを——当然のことながら——芸術監督としての管轄領域と決定権とに対する妨害と見なしたのだ。

遂に三月五日、円満解決がなされるように見えた。つまりカラヤンは、国立歌劇場内の行政上の側面のため共同監督を置くことを提案し、同時に連邦劇場管理局の手から離れることを要求した。

そして三月十日、音楽家カラヤンは官



サン・モリッツでエリエッテ夫人と

僚機構に勝利したのである。——それは、ウィーンで再び繰り返されることのなかった、一度限りの出来事であった。国立歌劇場は文部省の官僚主義から独立したのである。共同監督としては、シュトゥットガルトのヴュルテンベルク州立劇場の劇場総監督、ヴァルター・エーリヒ・シェーファー博士が契約を結んだ。

シェーファーはむろん老練で、それゆえ慎重な男であった。彼は片足でそのまゝシュヴァーベン地方にとどまり——そのようにしてうまくやってのけたのである。もう一方の足を彼は——象徴的な意味だけでなく本当に——骨折してしまっただけでなく本心に——骨折してしまっただけでなく心臓障害に続くことになっ

たこの足の骨折は、いずれにせよ彼がなじむことのできなかったウィーンの黒幕から救い出したのである。つまり彼は、シュトゥットガルトへ再び引きこもることになったのだ。そしてその間、一九六三年はカラヤンにとってますます陰鬱な年になっていった。彼が外国で指揮している時、五月十三日、楽劇《ニルンベルクのマイスタージンガー》を観に来た観客は帰宅させられるはめになった。その上演は中止になったのである。言語道断なことが起こったのだ。というのは、その夜はもともと楽劇《さまよえるオランダ人》が予定されていた。上演の変更については、シュトルツィングを歌うは



記者会見上で声明文を読み上げるヘルベルトとカラヤン
(1963年12月3日ウィーン)

ずだったテノール歌手ヴォルフガング・ヴィントガッセン以外、全員が知っていた。彼は連絡されていなかったために、上演に間に合わなかったのである。

共同監督シェーファーはもはや使いものにならず、国立歌劇場内部の事情はかなり混乱していた。新しい監督が必要とされた。そういうわけで——誰が推したのかはさだかでないが——オペラに対する熱烈な情熱家として有名であった男が推薦されることになった。エーゴン・ヒルベルト博士である。ご記憶のように、この男は終戦直後カラヤンに対し非常に肩入れた人物である。今では彼はウィーン芸術週間指導者であったが、それ以外にも余力を残し、おまけに内部ではカラヤンをねたんでむしろ自分がオペラに関する最高指導者になりたがっている

者として有名であった。

パウエル・ハーガーはカラヤンに「悪いことになりますよ!」と忠告したが、カラヤンは「ばかな。彼を一度招いて話し合おうじゃないか」と言ったため、アン・ドレ・フォン・マッソーニがその招待をヒルベルトに知らせることになった。

ヒルベルトはウィーンに到着した。彼はマッソーニと一度話すだけだろうと考えていたのだが、気がつくやうに突然カラヤンと対面していた。カラヤンはヒルベルトをあつさりまるめこみ、あつけにとられている彼に自分の見解を説明するやいなや、彼を車に乗せて文部大臣ドゥリンメル博士の所へと走った。二人はすぐに面会を許可された。そしてたちちにヒルベルトは共同監督となった。それは一九六三年六月十日、当局より公示された。これら全ての出来事は、カラヤンのお人好しな人柄とその人間認識の甘さとを物語っている。ヒルベルトを制することはできなかった。彼はますます芸術に関する諸々に介入するようになり、彼にはふさわしくない「国立歌劇場取締役」という肩書きを要求し、舞台上を絶え間なくせかせか動きまわって、そこでオペラについて熱狂的な長談義をし、おおかたの芸術家たちの神経をいらさらせるようになったのである。

もつとも次の出来事を記憶されておかれたい。一九四九年九月十一日の正午リヒャルト・シュトラウスがミュンヘンの東墓地で火葬された時、その偉大な作曲家のひつぎに寄りそって弔辞を述べた人々の中で最も心をうつ「告別の辞」を述べたと称されたのは、エーゴン・ヒルベルトであったということだ。

彼のことを「風変わりな人物」と、ヴァルター・エーリヒ・シェーファーは回想録「我が人生の舞台」の中で呼んだ。それはヒルベルトにあてはまっていた。

だが彼は、演劇が——ことに歌劇が——彼にとって人生の根幹をなしていたひとりの人間であった。シェーファーは回想している。「最も憤激していた敵たちでさえ言ったものだ。『もしも我々が彼を引退に追い込むなら、彼は劇場を去った瞬間に死ぬだろう。いったい誰が人殺しになりたいというのかね?』と。シェーファーはさらに「エーゴン・ヒルベルトは劇場を去り、そして文字通りその瞬間に死んでしまった」と記している。その日、退職した直後に心臓麻痺がヒルベルトを襲ったのだった。

一九六三年に戻ろう。イタリアの歌劇場では普通であるブロンプター・ボックス内の指揮者「マエストロ・ブロンプター」をめぐる、その年に騒動がもたらがった。カラヤンはそのようなマエストロ・ブロンプターをひとり、十一月三日にミラノ・スカラ座の客演による《ボエーム》の初演のために起用するつもりであった。それに対し、労働組合と労働省が横槍を入れた。両者は、そのイタリア人の労働許可ばかりか客演者としての雇用すらも拒否したのである。カラヤンによる、オーストリアの現行の劇場ブロンプターとイタリアのマエストロ・ブロンプターとは、その役割において全く根本的に異なっているという説明は無視されて

しまった。七ヶ月後になってようやく、ウィーンの行政裁判所はカラヤンの見解を正しいと認めた——だがもちろんその時には、もはや一切は遅すぎたのである。

いずれにせよ十一月三日、燕尾服を着たカラヤンとエーゴン・ヒルベルトは七時七分に幕の前に現れた。胸騒ぎを覚えた聴衆は抗議の声をあげた。ヒルベルトはどうかこうにか発言することができた。彼はその時自分で作成した、マエストロ・ブロンプターの使用は「指導幹部のみが無効にできる」芸術上の決定に従うという内容の文章を朗読した。そしてこの決定は労働組合により受け入れられなかったようなので、「芸術監督カラヤンと共同監督ヒルベルトで構成する指導幹部は、ウィーン国立歌劇場の芸術的な独立性がはつきりと確認されるまでは、この機構の秩序ある運営のための責任を放棄することを余儀なくされているよう判断するものである」と、宣言した。

それからヒルベルトは、その場で少なからず茫然としていたヘルベルト・フォン・カラヤンを抱擁してキスした——初演は中止になったのである!

カラヤンはしかし長くは関わり合えなかった。彼はすぐさまミュンヘンに行き、再建されたバイエルン国立歌劇場での祝賀公演の一環である《フィデリオ》の上演のため、そこで準備に取り組んだのである。

(注釈)

(1) オーストリアの西端、フォアアールベルク州の小都市。同州南部、スイスとの国境近くに位置する。



ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 [資料提供:D.C.ランボン(英), 鈴木恭司, 金井清]



[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(〔P〕)、ディレクター(〔D〕)、レコーディング・エンジニア(〔E〕)、マトリックス番号(〔M〕)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の〔V〕は映像作品を示す。
- レコード番号はS P, E P, L P (10インチを含む)、C D, L Dの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L P期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータを付した。
- オペラ全曲盤よりのアリア曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

○アダノ・バレエ「ジゼル」(原典版)

■ウィーンpo.

▶1961年9月5～22日ウィーン、ゾフィエン・ザール

〔P〕ジョン・カルショウ

〔E〕ジェームズ・ブラウン/ゴードン・バリ

〔M〕ZAL 5479-80

①L P : SLC 1216, SLC 1497, GT 9014, GT 9134, K15C 8062

C D : K30Y 1564, 230E 51064

②L P : SXL 6002, LXT 6002, JB 14, C M 9320, CS 6251, SXL 7024, 6. 41 410AN, 592 001, 417 738-1

C D : 417 738-2

○ホルスト/組曲「惑星」作品32

■ウィーンpo., ウィーン国立歌劇場cho.

▶1961年9月5～22日ウィーン、ゾフィエン・ザール

〔P〕ジョン・カルショウ

〔E〕ゴードン・バリ/ジェームズ・ブラウン

〔M〕ZAL 5413-4

①L P : SLC 1180, SLC 1496, GT 9002, SLC 6103, GT 9122, SLC 9021-2, SLC 8013, L20C 3069, K20C 8674

C D : K30Y 1552, 230E 51052

[木星]

C D : KICC 4003

[木星の前半]

L P : MZ 9003

②L P : SXL 2305, LXT 5669, SDD 400, JB 30, CM 9313, CS 6244, 6. 41 862AN, 6. 43 244AH, 592 014

C D : 417 709-2

[木星]

L P : CEP 5518, SEC 5518

○ドヴォルザーク/交響曲第8番ト長調 作品88

■ウィーンpo.

▶1961年9月29日～10月8日, 63年9月ウィーン、ゾフィエン・ザール

〔P〕ジョン・カルショウ

〔E〕ゴードン・バリ

〔M〕ZAL 6685-6 || ARL 6685-6

①L P : SLC 1429, SLC 1751, GT 9011, SLC 6076, GT 9131, SLC 8033, K18C 5029, L25C 3125, K20C 8 657, K1JC 9017

C D : K30Y 1574, 230E 51072

[第3楽章]

L P : MZ 9003

C D : K30Y 3061

②L P : SXL 6169, LXT 6169, SDD 440, CM 6443, CS 6443, 6. 41 635AN JB 71AV, 6. 43 246AH, 592 006, SNA 25027

SLC 8054
C D : K30Y 1560, 230E 51057, KICC 9037-8

〔②の部分〕

L P : SLX 1-6

C D : KICC 4002

③

L P : SLC 1737, GT 9086, SLC 8054

C D : K30Y 1560, 230E 51057, KICC 9 037-8

〔③の部分〕

L P : LS 5004, MZ 9003, SLX 1-6

C D : K30Y 3061

④L P : SXL 2308, LXT 5673, CM 9420, CS 6420, JB 16, 6. 41 593, STS 15208, CSP 3, 417 698-1, SXL 21047, BLK 21047, 6. 43 250AH, 6. 48 200 DM

①

L P : 6. 41 829, SMD 1277, CEP 5515, SEC 5515, 6. 41 593AN, 417 27 4-1, ST 900, SHZT 101, HZT 10 1, 6. 43 394OG, 592 004, 6. 48 20 0DM, 417 455-1

C D : 417 700-2

〔①の部分〕

E P : SVD 917, VD 917, SMC 41605

L P : 6. 41 829AF, SMD 1129, SAD 2 2090, STC 15208, SDD 150, AD D 150

C D : 425 847-2, 417 788-2

②

E P : SVD 916, VD 916

L P : CEP 5521, SEC 5521, 6. 41 633, SMD 1129, 6. 48 193DM, 6. 43 597AD, SDD 150, ADD 150

C D : 417 722-2, 417 788-2

〔②の部分〕

L P : 6. 41 836AF, STC 15208

C D : 425 849-2

③

L P : SMD 1129, 6. 48 193DM, 6. 43 597AD

C D : 417 722-2

〔③の部分〕

E P : SVD 916, VD 916



▲CS 6420(チャイコフスキー「くるみ割り人形」他)

○バッハ/ミサ曲短調BWV.232

■レオンティン・ブライス(S), クリスタ・ルーツヴィヒ(A), ニコライ・ゲッダ(T), ジェラルド・スザー(Br), ワルター・ベリー(Bs), ウィーン楽友協会cho., ウィーンpo.

▶1961年8月20日ザルツブルク, 祝祭大劇場

①L P : Movimento Musica 03.012

○ブラームス/①交響曲第3番ヘ長調 作品90②悲劇的序曲作品81

■ウィーンpo.

▶1961年9月5～22日(②), 29日～10月8日(①)ウィーン、ゾフィエン・ザール

〔P〕ジョン・カルショウ

〔E〕ジェームズ・ブラウン(①)/ゴードン・バリ(①)

〔M〕ZAL 5445-6

①L P : SLC 1285, SLC 1492, SLC 1742, GT 9009, SLC 6081, GT 9129, K15C 8010, K16C 1614, K15C 7 059

①

C D : K30Y 1574, 230E 51072

[第3楽章]

L P : MZ 9003

②

C D : K30Y 1565, 230E 51027

③L P : SET 231, MET 231, SDD 284, CM 9318, CS 6249, SXL 20050, SX 20050, 6. 35 135DX, STS 1 5194, LXT 6282, SXL 6282, LXT 2050, DK 11524, 592 008, 72 052

①

C D : 417 744-2

②

C D : 417 739-2, 417 788-2

○①チャイコフスキー/バレエ組曲「くるみ割り人形」組曲作品71a②グリグ/劇音楽「ペール・ギュント」第1組曲作品46③第2組曲作品55より

■ウィーンpo.

▶1961年9月5～22日ウィーン、ゾフィエン・ザール

〔P〕ジョン・カルショウ

〔E〕ジェームズ・ブラウン/ゴードン・バリ

〔M〕ZAL 5437-8

①L P : SLC 1185, SLC 1495, SLC 1741, GT 9005, SLC 6082, GT 9125, L16C 1621, K15C 7070

①

L P : SLC 1499-500, SLA 1013, K18C 9220, L25C 3027, K20C 8666

C D : K30Y 1551, 230E 51007

〔①の部分〕

L P : LS 5024, SLX 1-6, SLC 8054

C D : F30L 20191, POCL 2310

②

L P : LS 5004, SLC 1737, GT 9086,

- ①
LP: 109 152, 2740 713, 2535 349, 25
43 030, 2721 239, 2740 261, 254
2 112, 2725 101, 413 598-1
CD: 429 041-2, 423 204-2, 435 095
-2
[第1・2楽章]
LP: 109 106
[第4楽章]
LP: 2530 250, 643 201, 2740 261, 25
35 667
[リハーサル風景 第1・3・4楽章/第4楽
章より]
LP: 643 201, 2740 261, 2707 013, 9
106-7, 109 106-7

- ②
LP: LPM 39 001, SLPM 139 001,
SLPM 139 015, 2725 006, 2535
315
CD: 429 040-2, 431 159-2

※リハーサル風景の国内盤は非売品・特典盤
である。



▲109 152(ベートーヴェン/交響曲第9番)

◎ベートーヴェン/交響曲第6番へ長調
作品68「田園」

■ベルリンpo.
▶1962年2月13～15日ダーム, イエス
・キリスト教会

□オットー・ゲルデス/エルザ・シラー
□オットー・エルンスト・ヴォーラート
□ギュンター・ヘルマンズ
M 104 305

⑧LP: SKL 101-8, SLGM 1303, SMG
9011-4, SMG 2017, MG 2017,
MG 9501-9, MG 9111-4, MG 93
34-43, MG 2157, MG 9444-5, M
G 8503-10, MG 8557-8, MG 40
05, MGX 9953-4, 00MG 0145-52,
20MG 0310

CD: F26G 29021, POCG 2073, POCG
9052-3

[第1楽章冒頭]
CD: F30G 20281

⑨LP: SKL 101-8, KL 1-8, SLPM 138
805, LPM 18 805, 643 660, 2740
172, 2720 007, 2721 001, 2720 1
04, 2721 005, 2542 106, 2535 30
5, 2543 029, 2740 241, 2721 239
CD: 423 203-2, 429 036-2, 429 039-
2, 431 159-2

[第2楽章]
LP: 415 308-1

[第4楽章]
LP: HL 00 213

◎ベートーヴェン/交響曲第5番短調
作品67

■ベルリンpo.
▶1962年3月9～12日ダーム, イエス
・キリスト教会

□オットー・ゲルデス/エルザ・シラー
□オットー・エルンスト・ヴォーラート
□ギュンター・ヘルマンズ

8503-10, MG 4001, 00MG 0145-
52, 20MG 0398

①
CD: POCG 2071

②
CD: POCG 2072

⑨LP: SKL 101-8, KL 1-8, SLPM 138
801, 643 660-7, 2740 172, 2721
001, 2720 007, LPM 18 801, 272
0 104, 2721 005, 2542 102, 2531
301, 2740 241, 410 661-1

CD: 429 036-2

①
CD: 429 037-2

②
CD: 429 038-2



▲SKL 101-8(ベートーヴェン/交響曲全集)

◎ベートーヴェン/①交響曲第9番二短
調作品125「合唱付き」②第8番へ長調
作品93

■グンドウラ・ヤノヴィッツ(S/①),
ヒルデ・レツセル=マイダン(A/①),
ワルデマー・クメント(T/①), ワル
ター・ベリ(Bs/①), ウィーン楽友
協会cho. (①), ラインホルト・シュミ
ット(合唱指揮/①), ベルリンpo.

▶1962年1月23日(②), 10月8～9日(①),
12～13日(①), 11月9日(①)ダーム,
イエス・キリスト教会

□オットー・ゲルデス/エルザ・シラー
□オットー・エルンスト・ヴォーラート
(②)

□ギュンター・ヘルマンズ
M 104 307-8

⑧LP: SKL 101-8, SLGM 1305-6, MG
9501-9, MG 8503-10, 00MG 014
5-52

①
LP: SMG 9011-4, SMG 2051, MG 9
111-4, MG 9334-43, MG 8559-6
0, MG 9446-7, MGX 9955-6, M
G 4007, 20MG 0307

CD: F26G 29022, POCG 2075, POCG
9052-3

[第4楽章]

LP: MG 5010

[リハーサル風景 第1・3・4楽章より]

EP: KI 1296

LP: SMI 1012, MI 1109

CD: CDI 01007, DCI 1020

②

LP: SLGM 1330, SMG 2053, MG 22
06, MG 4003, 20MG 0387

CD: POCG 2074

[第2楽章]

LP: MG 9901

⑨LP: SKL 101-8, KL 1-8, SLPM 138
807-8, LPM 18 807-8, 643 660-
7, 2740 172, 2720 007, 2721 001,
2707 013, 2726 503, 2707 103,
2725 101, 2721 055, 2721 104,
2740 241

CD: 429 036-2, 427 857-2

CD: 417 744-2

※63年9月に取り直しが行われている。SKL
6169は65年4月新譜, 国内初出盤 SLC1429は
66年4月新譜である。



▲SKL 6169(ドヴォルザーク/交響曲第8番)

◎モーツァルト/レクイエム 二短調K.
626

■ヴィルマ・リップ(S), ヒルデ・レ
ツセル=マイダン(A), アントン・デルモ
ータ(T), ワルター・ベリ(Bs),
ウィーン楽友協会cho., ラインホルト
・シュミット(合唱指揮), ヴォルフガ
ング・マイヤー(org), ベルリンpo.

▶1961年10月5～12日ダーム, イエス
・キリスト教会

□エルザ・シラー

□オットー・ゲルデス

□ギュンター・ヘルマンズ

M 138 767

⑧LP: SLGM 1077, SLGM 1077, SMG
2014, MG 2014, MG 4014, 20MG
0336

CD: F26G 29031, POCG 2070, POCG
2182-4

[ラクリーモサ]

CD: F30G 20287

⑨LP: SLPM 138 767, LPM 18 767,
50915, DV 6280, 2535 257, 410
925-1, 419 867-1

CD: 423 213-2, 419 867-2, 429 160
-2

[クリエ]

LP: 136 301

[部分]

LP: 004 218



▲SLPM 138 767(モーツァルト/レクイエム)

◎ベートーヴェン/①交響曲第1番長
調作品21②第2番二長調作品36

■ベルリンpo.

▶1961年12月27～28日(①), 30日(②),
1962年1月22日(②)ダーム, イエス
・キリスト教会

□オットー・ゲルデス/エルザ・シラー
□オットー・エルンスト・ヴォーラート
□ギュンター・ヘルマンズ

M 104 301

⑧LP: SKL 101-8, SLGM 1300, SMG
2087, MG 2087, MG 9501-9, MG

(Bs:老ジブシー), クルト・エクヴィ
ルツ(T:使者), ウィーン国立歌劇場
cho., ザルツブルク祝祭cho., ウィ
ーンpo.

▶1962年7月31日ザルツブルク, 祝祭大
劇場

CD: ANF 1-2, KKCD 4064-5

LP: Privato Recording 105, Margan
Records MOR 6201, HRE Re-
cords HRE 287, Fanit Cetra A
RK 7, Movimento Musica 03.0
18, Melodram MEL 710

CD: Movimento Musica 012.001,
Rodolphe RPC 32482-3, ITALIA-
NA OPERA OPI 08, Priceless
D 20791

[部分]

LP: C10 15613

CD: Licenza Nuova Era NS Hvk 1
09



▲03.018(ヴェルディ/歌劇「トロヴァトーレ」)

◎ブッチェーニ/歌劇「トスカ」

■レオンティン・ブライス(S:トスカ),
ジュゼッペ・ディ・ステファノー(T:
カヴァラドッシ), ジュゼッペ・ダッ
ティ(Bs:スカルピア), カルロ・カ
ヴァ(B:アンジェロツィ), ピエロ
・デ・バルマ(T:スポレッタ), フェ
ルナンド・コレナ(B:堂守), レオナ
ルド・モンテレーレ(S:シャルロー
ネ), アルフレード・マリオリッティ(Bs:
看守), ヘルベルト・ワイス(Bs:羊
飼いの少年), ウィーン国立歌劇場cho.,
ロベルト・ベナーリオ(合唱指揮), ウ
ィーンpo.

▶1962年9月16日, 24~30日ウィーン,
ソフィエン・ザール
回ジョン・カルショウ

回ゴードン・バリ

MZAL 9642-5 || PRRS 2159-62

LP: SRA 2050-1, SRA 2236-7, SLC
7126-7, GT 7001-2, K18C 9245-
6, L36C 5250-1

CD: F50L 59040-1

[ハイライト]

LP: SRA 2125, SCP 3639, SLC 6123,
GT 9017, GT 9137, L20C 1831

CD: POCL 2715

[部分]

CD: POCL 2437

LP: SER 5507-8, LDS 7022, OSA 1
294, SBB 123-4, 6.35 232EK, R
E 5507-8, SBB 123-4, LSC 7022,
LM 7022, LD 7022, 390 035, SE
R 5507-8

CD: 421 670-2

[ハイライト]

LP: 6.41 799, LM 2841, LSC 2841,
RB 6655, SB 6655, 6.42 119AN,
SLA 25018

[部分]

LP: SLA 25018

LP: SKL 101-8, KL 1-8, SLPM 138
803, LPM 18 803, 643 600-7, 27
40 172, 2720 007, 2720 104, 272
1 001, 2535 303, 2721 055, 2742
104, 2740 241
CD: 429 036-2, 429 038-2



▲SLPM 138 803(ベートーヴェン/交響曲第4番)

◎ベートーヴェン/歌劇「フィデリオ」

■ジョン・ヴィッカーズ(T:フロレス
タン), クリスタ・ルートヴィヒ(S:
レオノーレ), ウルデマール・クメント
(T:ヤキーノ), グントウラ・ヤノヴ
イツ(S:マルツェリーネ), ウルタ
ー・クレッペル(Bs:ロッコ), ウルタ
ー・ベリ(Bs:ドン・ピツァロ), エーベ
ルハルト・ヴェヒター(Br:ドン・フェ
ルナンド), コスタス・パスカリス(Br:
囚人1), リュボミル・パンチェフ(Bs:
囚人2), ウィーン国立歌劇場cho.
ウィーン国立歌劇場o.

▶1962年5月25日ウィーン, 国立歌劇場

LP: Movimento Musica 03.014

[序曲/レオノーレ3番]

LP: Replica SRPL 22400

CD: Nuova Era 2235

◎モーツァルト/歌劇「魔笛」K.620

■ゴットロープ・フリック(Bs:ザラス
トロ), ニコライ・ゲッダ(T:タミー
ノ), エーベルハルト・ヴェヒター(Br:
弁者), エルマンノ・ロレンツィ(Bs:
第2の僧侶/第1の武士), コスタス
・パスカリス(Br:老僧), インゲボル
ク・ハルシュタイン(S:夜の女王),
ヴィルマ・リップ(S:パミーナ), ゲ
ルダ・シャイラー(S:第1の侍女),
グレース・ホフマン(S:第2の侍女),
ヒルデ・レツセル=マイダン(S:第3
の侍女), エーリヒ・クンツ(Br:パバ
ゲーノ), グラツィエラ・シュッティ
(S:パバゲーナ), パウル・キュン(T:
モノスタス), フレデリック・ガス
リー(Bs:第2の武士), ウィーン国立
歌劇場cho., ウィーン国立歌劇場o.

▶1962年5月30日ウィーン, 国立歌劇場

LP: Movimento Musica 03.015

CD: Movimento Musica 051.028

[序曲]

LP: Foyer FO 1034

CD: Licenza Nuova Era NS Hvk 1
10

◎ヴェルディ/歌劇「トロヴァトーレ」

■エトリ・バステアニーニ(Br:ル
ーナ伯爵), レオンティン・ブライス
(S:レオノーラ), ジュリエッタ・シ
ミオナート(Ms:アズチーナ), フラ
ンコ・コレリ(T:マンリーコ), ニ
コラ・ザッカリヤ(Ms:フェルナンド),
ローレンス・デュア(Ms:イネス),
ジークフリート・ルドルフ・フリース
(T:ルイス), ルドルフ・ツィンマー

M104 304

LP: SKL 101-8, SLGM 1270, SMG 9
007-10, SMG 2001, MG 2001, S
MG 9011-4, MG 9071-4, MG 9
111-4, MG 9501-9, MG 2206,
MG 9334-43, MG 9446-7, MG
9003-4, MG 8503-10, MG 8559-
60, MG 8561-2, MGX 9951-2,
MGX 9955-6, MG 4004, 00MG
0145-52, 20MG 0301

CD: F26G 29021, POCG 2073, POCG
9052-3

[第1楽章冒頭]

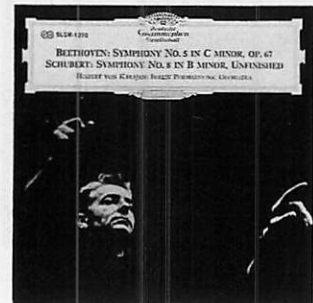
CD: F30G 20281

LP: SKL 101-8, KL 1-8, SLPM 138
804, LPM 18 804, 643 660-7, 27
40 172, 2720 007, 2721 001, 272
0 104, 2721 055, 2542 105, 2543
027, 2721 239, 2740 241, 2535 3
04, 62 196

CD: 423 202-2, 429 036-2, 427 857-
2, 423 203-2, 429 039-2

[第1楽章]

LP: 2545 016



▲SLGM 1270(ベートーヴェン/交響曲第5番)

◎ベートーヴェン/交響曲第7番イ長調
作品92

■ベルリンpo.

▶1962年3月13~14日ダーレム, イエス
・キリスト教会

回オットー・ゲルデス/エルザ・シラー

回オットー・エルンスト・ヴォーラート

回ギンター・ヘルマン

M104 306

LP: SKL 101-8, SLGM 1304, SMG 2
023, MG 2023, MG 9501-9, MG
9334-43, MG 8503-10, MG 4006,
00MG 0145-52, 20MG 0354

CD: POCG 2074

LP: SKL 101-8, KL 1-8, SLPM 138
806, LPM 18 806, 643 660-7, 27
40 172, 2720 007, 2720 104, 272
1 001, 2721 055, 2542 107, 2535
306, 2740 241

CD: 429 036-2, 429 040-2

[第2楽章]

LP: HL 00 212

◎ベートーヴェン/交響曲第4番変ロ長
調作品60

■ベルリンpo.

▶1962年3月14日, 11月9日ダーレム,
イエス・キリスト教会

回オットー・ゲルデス/エルザ・シラー

回オットー・エルンスト・ヴォーラート

回ギンター・ヘルマン

M104 303

LP: SKL 101-8, SLGM 1302, SMG
2053, MG 2053, MG 9501-9, MG
8503-10, MG 4003, 00MG 0145-
52, 20MG 0387

CD: POCG 2072

◎名演奏家

ディスコグラフィ◎

Herbert von Karajan

ヘルベルト・フォン・カラヤン



「指揮棒の魔術師」
第七章・帝王⑥

芸術監督辞任——ウィーンとの訣別 ハンスヤーコプ・クレーバー著 高橋みき訳・注釈

《ボエーム》の初演はそれでも、十一月九日ウィーン国立歌劇場で開催された。歌手たちは専属のプロンプターなしで歌った。彼らはある書簡できつぱり強調したように、ただヘルベルト・フォン・カラヤンに対する愛と恩義からその不利な条件を受け入れたのである。その声明文には、エッソーレ・バステリアーニ、フランコ・コレリ、フィオレンツァ・コッソット、ミレッラ・フレニー、イルヴァ・リガブーエ、ローランド・パネライ、ジャン・ライモンディ、ジュゼッペ・タディ、レオンタイン・ブライス、アントニエッタ・ステツァ、ジュリエッタ・シモナート、ガブリエッラ・トゥッチ、イヴォ・ヴィンコが署名した。

その後しばらくすると、問題はすっかり片付いてしまったかのように見えた。カラヤンに何とかキスした共同監督ヘルベルトは、歌劇場取締役へとどんどん地歩を築いていった。カラヤンがウィーン国立歌劇場の芸術監督に在任中は、その地位にヘルベルトは実際一度も就くことはなかったし、そもそも不可能であった。彼はその抑えられない熱狂でもって、芸術的な事柄においてもカラヤンの頭ごしに、またはその背後に隠れて好きなように行なっていた。ほどなくカラヤンは、彼とは手紙のやりとりしかしなくなった。

そしてヘルベルトが一九六四年五月、カラヤンの意に反し彼のために取っておかれた歌劇《タンホイザー》の上演を別の指揮者（一般には無名であったベルグラード歌劇場のオスカル・ダノン）に指揮させた時、カラヤンはその活動を終わりにした。彼は五月八日、新しい文部大臣テオドル・ピフルベルグに「辞職願」を送り、その内容は五月十一日に公表された。

そして六月二十三日、カラヤンはオーストリアの通信社APAを通じ、その声明を次のように伝えた。「一九六四年五月八日に辞職した後、文部大臣は五月十一日、指揮者及び監督としての私の今後の活動を保証するための諸条件を整えるよう命じました。七週間たつても文部省の側からは、実現可能でそれゆえ受諾できるような提案は何一つなされませんでした。それがもし実施されていたなら、要求されていた芸術上の諸条件を私に提供することになったのでありましょう。」

恩義と契約への忠実とから、私は、既に関与してしまつた義務についてはこれを履行するでしょう。十八年間に及ぶコンサート活動、ザルツブルクでの十六年間の活動、ウィーン国立歌劇場の芸術監督としての八年間の活動、これらオーストリアにおける私の仕事一切を八月三

十一日をもって終了することにします。「我々はオーストリアと絶縁する！」

——忠実な秘書マツトニーのこの言葉は広く知られるようになった。けれどもそれは、全く唐突というわけではなかった。カラヤンは契約を履行したからである。一九六四年六月十一日、彼はその辞任にあたり、自ら演出して指揮したR・シュトラウスの歌劇《影のない女》の輝かしい初演で有終の美を飾つたのだ。それが終わるとすぐさま、彼はザルツブルクへ飛び立った。そこで彼は夏の音楽祭のために《エレクトラ》を練習し——そしてこの波瀾万丈の年の八月には、ザルツブルク音楽祭の指導部に加わるよう説得されたのであった。

カラヤンをしてオーストリアに少なくとも半分まで背中を向けさせたのは、本当にウィーンでの憤りだけだったのだろうか？ というのは、オーストリアの税法がそこにはあったのであり、それは、年間六ヶ月以上同国に居住する者はこの地でも税金を支払わねばならないというものであった。「カラヤンはいずれにせよリヒテンシュタインの国民となり、今後それほど長くはオーストリアに住むことはない」——このような言葉が至る所でささやかれたものだ。

ともかくヘルベルト・フォン・カラヤ



ベルリン・フィル常任指揮者就任当時(ベルリンにて)

ンは既に一九六四年の年頭、彼の中心地は「ウィーン、ウィーン、ただおまえだけ」(注1)なので断じてないというところをはっきりさせた。六四年の一月二日には、幸福な両親エリエツとヘルベルトに二番目の娘アラベルが生まれた。そして今度はベルリン・フィルに洗礼立会人になってくれるよう、「シェフ」は依頼したのだ。なぜなら、シェフ・カラヤンは前々から「ベルリンは私の活動の中心地だ!」と公言し、実際その通り行なっていたからである。ベルリンでは仕事は彼にとって一点の曇りもない喜びであった。彼はその地で、ウィーンでの争いから回復したのである。

ところでミラノ・スカラ座も、カラヤンがウィーン国立歌劇場を去った後、オーストリアと絶縁した。カラヤン時代に最盛期を迎えていたような引越し公演は、その後二度と行なわれることはなかった。

古代ギリシャの哲人ヘラクレイトス(注2)は、しかしながら二五〇〇年も以前に「万物は流転する(Panta rhei)」というその代表的な思想を語っている。ギリシャ人の子孫であるカラヤン(注3)は、彼の流儀でそれを言い換えた。「私はこの先二度と、世界中の劇場においても歌劇の監督には断じてならない。ウィーンでの八年間は成功だった。私はただ、自分にとって喜びであることだけを行ないたいのだ。このように彼は、当時「南ドイツ新聞」の音楽兼舞台芸術評論家であったヴァルター・パノフスキーに語ったのである。

そして、ヘルベルト・フォン・カラヤンはこの時以来、衰えを知らない情熱をもって、彼にとって喜びであることを行なった。彼は美にたやすく新しい帝国を建設したのだ! その主要都市は、もはやウィーン、ベルリン、ミラノ、ロンドン、ザルツブルクだけにとどまらなかつた。否、彼は全世界を手に入れたのである。最新の技術、ハイファイ・メディア、四チャンネル方式、テレビジョン、ビデオなどによってである。

カラヤンの新しい構想とは、「何百万人もが享受できる音楽」ということであつた。同様にそれと平行して、彼はさらに別のものを創設したのである——それはエリート的なものというだけでなく、精選されたえり抜きの富裕でお洒落な人々のためのものであつた——「いやいや、我々はエリートじゃない。我々はスーパー・エリートなのだ」と、彼は語つたものだ。カラヤンはこの言葉で、彼以前にはリヒャルト・ワーグナーだけがバイロイトで完成し得たものを指していたのである。それは自分自身の、唯一無比の方法による、つまり彼の体に合わせて裁断された音楽祭であつた。

カラヤンは「万人のための芸術」と「少数者のための芸術」という二つの極を、互いに緊密に結びつけようというのを成し遂げたのだ——それは今世紀において他に例を見ない、比類なき真の芸術作品だったのである! (第7章元)

(注釈)

(1) ルドルフ・ジューツィンスキー(一八七九—一九五二)の歌曲《わが夢の都ウィーン》の中で繰り返される言葉。この歌は今日なお愛唱されている。

(2) ギリシャの哲学者。生没年不詳。現象の不断の変転に着目し、同じ川に二度は入ることはできない(「断片」九二)と説き、火を万物の根底にある実体とみなした。

(3) カラヤン家の祖ゲオルク・ヨーハン・カラヤン(一七四七—一八二二 Karajan)は、ギリシャ領マケドニアのコザンで生まれ、ザクセンのケムニッツに織造工場を建てた。その功績によりザクセン公から貴族の称号を与えられて以来、一族はフォン・カラヤンと名乗るようになった。

カラヤンの新しい構想とは、「何百万人もが享受できる音楽」ということであつた。同様にそれと平行して、彼はさらに別のものを創設したのである——それはエリート的なものというだけでなく、精選されたえり抜きの富裕でお洒落な人々のためのものであつた——「いやいや、我々はエリートじゃない。我々はスーパー・エリートなのだ」と、彼は語つたものだ。カラヤンはこの言葉で、彼以前にはリヒャルト・ワーグナーだけがバイロイトで完成し得たものを指していたのである。それは自分自身の、唯一無比の方法による、つまり彼の体に合わせて裁断された音楽祭であつた。

カラヤンは「万人のための芸術」と「少数者のための芸術」という二つの極を、互いに緊密に結びつけようというのを成し遂げたのだ——それは今世紀において他に例を見ない、比類なき真の芸術作品だったのである! (第7章元)

本連載中の次の箇所の語訳を改めます。

第六回(一月号三六六頁)

第一段最後から九六六頁

「十七年後ウィーン国立歌劇場でカラヤンが監督を勤めていた時、そのようなマエストロ・プロンプターの雇用をめぐり、」

第九回(四月号二六一頁)

第三段最後から三行目

「カラヤンは基本的に音のままで。」

ヘルベルト・フォン・カラヤン=ディスコグラフィ

●ディスコグラフィ制作……………佐々木 豊 [資料提供:D.C.ランボン(英), 鈴木恭司, 金井清]

[ディスコグラフィ記載方法]

- 順序は演奏者、収録年月日、収録会場、プロデューサー(P)、ディレクター(D)、レコーディング・エンジニア(E)、マトリックス番号(M)、日本盤・外国盤のレコード番号、特記事項になっている。曲目の前の(V)は映像作品を示す。
- レコード番号はS P、E P、L P(10インチを含む)、C D、L Dの順になっており、日本盤は発売順に並んでいる。
- L P期は初出のアルバムごとの配列にし、その中で最も早い録音日をもって記してある。
- アルバムのなかでは、①②③の曲番号を便宜上つけて各々のデータをわけた。また、オムニバス盤ではレコード番号のあとに曲番号を示したが、必ずしも収録順を示してはいない。
- 未発売のものについては、わかる範囲でデータをつけた。
- オペラ全曲盤よりのアリアー曲や管弦楽曲の1楽章に満たないものは(部分)としてまとめ、完全に収録できていない。
- 主な略記号は本誌巻末の一覧表を使用している。

▶1963年4月9～11日ウィーン、ゾフィ
エン・ザール

▶ジョン・カルショウ

▶ゴードン・バリ

▶ZAL 5914-5 | ARL 5914-5

▶LP: SLC 1246, SLC 1494, SLC 1731

①

LP: SLC 2021, GT 9006, SLC 6065,
GT 9126, SLC 8012, L18C 5069,
L25C 3052, K20C 8652, 360R 5
6003

CD: 230E 51003

②

LP: GT 9010, SLC 6059, GT 9130,
K15C 8032, L16C 1615, K15C 7
052

CD: 223E 1149

▶LP: SXL 6076, LXT 6067, SDD 312,
CM 9369, CS 6369, 6.35 138DX,
LXT 6284, SXL 6284, DK 11535

①

LP: VIV 6, SDD 361, 417 695-1, SN
A 25027, 6.42 714BA, 6.43 594
AD, 592 013

CD: 417 695-2

②

LP: SDD 362, VIV 55, 592 012



▲LXT 6067(モーツァルト/交響曲第41番他)

▶モーツァルト/歌劇「ドン・ジョヴァ
ンニ」

■エーベルハルト・ヴェヒター(Bs: ドン
ジョヴァンニ), レオンティン・ブラ
イス(S: ドンナ・アンナ), フリッツ
・グンダーリヒ(T: ドン・オッターヴ
イオ), ウルター・クレッセル(Bs: 騎
士長), ヒルデ・グーデン(S: ドンナ
・エルヴィーラ), ウルター・ペリー
(Br: レボレロ), ロランド・パネライ
(Br: マゼット), グラツィエル・シ
ュッティ(S: ツェルリーナ), ウィ
ーン国立歌劇場cho., ウィーン国立歌
劇場o.

▶1963年6月22日ウィーン, 国立歌劇場

▶CD: Verona 27065-7



▲Verona 27065-7(モーツァルト/「ドン・ジョヴァンニ」)

(T: ドン・ホセ), アルド・プロッ
ティ(Br: エスカミリーヨ), ヒルデ・グ
ーデン(S: ミカエラ), ヒルデ・レ
ッセル=マイダン(S: メルセデス), リ
ーゼロッテ・マイケル(S: フラスキ
タ), ルートヴィヒ・ウェルター(Bs:
スニガ), アルブレート・ベル(Br: モ
ラレス), マレー・ディッキー(T: レ
メンダート), ハルダウ・ブレイクル
ヘフ(Bs: ダンカイロ), フランツ・クロ
ス(リーリヤス・バステア), ウィ
ーン国立歌劇場cho., ウィーン国立歌
劇場o.

▶1962年12月10日ウィーン, 国立歌劇場

▶CD: HUNT 2CDKAR 201

▶ワーグナー/歌劇「ジークフリート」第
1幕終場面

■ペーター・クライン(T: ミーナ), ハ
ンス・バイラー(T: ジークフリート),
ウィーン国立歌劇場o.

▶1962年ウィーン, 国立歌劇場

▶LP: Melodram MEL 427

▶ブッチーニ/歌劇「トスカ」

■フロリアーナ・カヴァッリ(S: トス
カ), ディミテル・ドロフ・ウズノフ
(T: カヴァラドッシ), アルド・プロ
ッティ(Br: スカルピア男爵), フェル
ッチョ・マツォーリ(Bs: アンジェ
ロッティ), カール・デンヒ(Bs: 教会
の番人), エーリヒ・マイク(T: ス
ボレッタ), ハルダウ・ブレイクル
ヘフ(Bs: シャルローネ), リュボミル・バ
ンチェフ(Bs: 看守), ウィーン少年合
唱団(羊飼), ウィーン国立歌劇場cho.,
ウィーン国立歌劇場o.

▶1962年ウィーン, 国立歌劇場

▶CD: HUNT 2CDKAR 206

▶ブッチーニ/歌劇「トスカ」(部分)

■レオンティン・ブライス(S: トスカ),
フランコ・コレリ(T: カヴァラド
ッシ)

▶1962年ウィーン

▶LP: HRE Records HRE 287

※ウィーン国立歌劇場芸術監督在任中, 31作
品の26公演を行なった。このうち「ジーク
フリート」13回「トスカ」15回があるが、い
ずれも日付が特定できず62年の最後に配置す
ることとする。

▶ワーグナー/歌劇「タンホイザー」

■ハンス・バイラー(T: タンホイザー),
グレ・ブラウエンスティン(S: エリ
ーザベト), エーベルハルト・ヴェヒ
ター(Br: ヴォルフラム), クリスタ・ル
ートヴィヒ(A: ヴェーヌス), ゴッ
トロープ・フリック(Bs: ヘルマン),
ワルデマール・クメント(T: ヴァルター),
ルートヴィヒ・ウェルター(Bs: ビ
テロルフ), クルト・エクヴィルツ(T:
ハインリヒ), トゥゴミール・フラン
ツ(Bs: ラインマール), ゲンドウラ・
ヤノヴィッツ(S: 若い牧童), ウィ
ーン国立歌劇場cho., ウィーン国立歌
劇場o.

▶1963年1月8日ウィーン, 国立歌劇場

▶LP: Melodram MEL 427

CD: HUNT 3CDKAR 204, Nuova
Era 013.6307-9

▶①モーツァルト/交響曲第41番八長調
K.551「ジュピター」②ハイドン/交響
曲第103番変ホ長調「太鼓連打」

■ウィーンpo.

▶チャイコフスキー/ピアノ協奏曲第1
番変ホ長調作品23

■スヴァトلاف・リヒテル(p), ウィ
ーンso.

▶1962年9月24～26日ウィーン, ムジ
クフェライン・ザール

▶エルザ・シラー

▶オットー・エルンスト・ヴォーラート
①ギュンター・ヘルマン

▶138 822

▶LP: SKL 922-8, SLGM 1317, SMG 9
008, SMG 2061, MG 2061, MG
9450-1, MG 9609-10, MG 8565-
6, MG 8569-70, MG 8597-8, MG
X 9959-60, MGX 9983-4, 20MG
0308, 18MG 4632

CD: F28G 22005, F00G 27016

▶LP: SKL 922-8, SLPM 138 822, LPM
18 822, 2740 126, 2726 506, 419
068-1, 2726 507, SLPM 2862 0
02, 2726 506, 644 101-10, 110 1
313, 826 502, SXLP 12074, CM
04255, 33CM 0425, D 011 275,
S 0473, SM 042255, S 100 42
55000

CD: 419 068-2, 429 918-2

[第1楽章]

LP: 2721 073

CD: 429 442-2



▲SLPM 138 822(チャイコフスキー/ピアノ協奏曲第1番)

▶ベートーヴェン/交響曲第3番変ホ長
調作品55「英雄」

■ベルリンpo.

▶1962年11月11～15日ダーレム, イエ
ス・キリスト教会

▶オットー・ゲルデス/エルザ・シラー

▶オットー・エルンスト・ヴォーラート

▶ギュンター・ヘルマン

▶104 302

▶LP: SKL 101-8, SLGM 1301, SMG
9011-4, SMG 2019, MG 2019, M
G 9111-4, MG 9501-9, MG 9334
-43, MG 9444-5, MG 8557-8, M
GX 9953-4, MG 4002, 00MG 01
45-52, 20MG 0341

CD: POCG 2071

[第2楽章冒頭]

CD: F30G 20281

▶LP: SKL 101-8, KL 1-8, SLPM 138
802, LPM 18 802, 643 600-7, 27
40 172, 2720 007, 2720 104, 272
1 001, 2535 302, 2721 055, 2742
103, 2543 027, 2740 241, 2542 1
03

CD: 429 036-2, 429 037-2

[第1楽章]

LP: HL 00 211

▶ビゼー/歌劇「カルメン」

■リジャイナ・レズニック(S: カルメ
ン), ディミテル・ドロフ・ウズノフ

▶1963年11月9日ウィーン、国立歌劇場

⑧LP: Melodram MEL 414, Movimento Musica 02.020

CD: Movimento Musica 051.027, Melodram MEL 27007, ITALIANA OPERA OPI-01, Rodolphe RPC 32512, Verona 27079-80

[部分]

CD: HUNT 2CDKAR 206, Licenza Nuova Era NS Hvk 110

※CDのRodolphe盤は日付を11月30日としているが誤りである。なおこのCDは片チャンネルずつのモノラル録音で1枚のCDに全曲が収録されている。

◎ビゼー／歌劇「カルメン」

■レオンティン・プライス (S: カルメン), フランコ・コレリ (T: ドン・ホセ), ロバート・メルリ (Br: エスカミリーヨ), ミレツ・フレニ (S: ミカエラ), ベルナル・デミニホ (Br: モラレス), フランコ・シュテン (Bs: スニガ), ジュヌヴィエーヴ・マコー (Ms: メルセデス), モニク・ランヴァル (S: フラスキータ), モーリス・ブザンソン (T: レメンダード), ジャン＝クリストフ・ブノワ (Br: ダンカイロ), ウィーン国立歌劇場cho., ヴィルヘルム・ピッツ (合唱指揮), ウィーン少年cho., ヘルムート・フロッシュアウアー (合唱指揮), ウィーンpo.

▶1963年11月18～27日ウィーン, ソフィエン・ザール

⑧ジョン・カルショウ

⑧ゴードン・バリ

⑧RRRS 3207-12

⑧LP: SRA 2233-5, SRA 2052-4, SRA 2793-5, RX 2826-8

CD: R25C 1034-6

[ハイライト]

LP: SCP 3608, SRA 2099, SRA 269 9, SRA 7581-2, SX 2530, SX 27 15, SRA 7772-3, RX 2400

⑧LP: LDS 6164-6, LSC 6199, SER 56 00-2, LD 6164-6, 26.35 035EX, LS 10221, STU 70900, SER 55 07-8, LDS 86199

CD: GD 86 199QS, 421 670-2

[ハイライト]

LP: LM 2843, LSC 2843, RB 6671, S B 6671, LSC 3341, RL 42 427A, S, LSC 2841, SRRS 4004-5

[部分]

LP: SLA 25018, C10 16613

CD: GD 60190, GD 60205

1963

Bizet CARMEN

Leontyne Price
Franco Corelli
Robert Merrill
Mirella Freni
Herbert von Karajan
Vienna Philharmonic
Vienna State Opera Chorus
Vienna Boys' Choir



▲RX 2826-8(ビゼー「カルメン」)

◎ベートーヴェン／歌劇「フィデリオ」

■ヘルマン・プライ (Bs: ドン・フェルナンド), ウルター・ベリ (Bs: ドン・ビッパロ), フリッツ・ウール (T: フロレスタン), クリスタ・ルーツヴィヒ (S: レオノーレ), ゴットロープ・フ

21 002, 2721 075, 2740 242, 254 2 166, 2740 261, 72 464, 02 304 7

CD: 427 253-2, 427 602-2, 431 161-2

◎ブラームス／交響曲第4番短調作品98

■ベルリンpo.

▶1963年10月12～16日ダーレム, イエス・キリスト教会

⑧オットー・ゲルデス

⑧ハンス・ヴェーバー

⑧ギュンター・ヘルマンズ

⑧104 336

⑧LP: SKL 133-9, SLGM 1294, SMG 2 079, MG 2079, MG 9360-3, MG 8511-4, MG 8723-37, MG 8858-61, MGX 9957-8, MGX 7084, 60 MG 0153-6, 20MG 0350

CD: F26G 29032, POCG 2078

⑧LP: SKL 133-9, SLPM 138 927, KL 33-9, LPM 18 927, 2721 07 5, 2740 242, 2542 169, 2720 104, 2721 002, 618 927, 72 464, 02 1 095

CD: 423 205-2, 427 602-2

[第4楽章]

LP: HL 00 211

◎ストラヴィンスキー／バレエ「春の祭典」

■ベルリンpo.

▶1963年10月17日, 19日, 1964年2月10日
ダーレム, イエス・キリスト教会

⑧オットー・ゲルデス

⑧ハンス・ヴェーバー

⑧ギュンター・ヘルマンズ

⑧138 920

⑧LP: SLGM 1260, SMG 2056, MG 20 56, MG 9454-5, MG 8798-812, MG 9454-5, MG 4013, 20MG 03 30

CD: F26G 29027, POCG 2079

⑧LP: SLPM 138 920, LPM 18 920, 2862 001

CD: 423 214-2, 429 162-2

◎モーツァルト／レクイエム 二短調K. 626

■ウィルマ・リップ (S), ヒルデ・レッセル＝マイダン (A), フリッツ・ヴンダーリヒ (T), キース・エンゲン (Bs), ウィーン楽友協会cho., ウィーンso.

▶1963年11月3日ウィーン, ムジークフエライン・ザール

⑧CD: ANF 52

⑧CD: Melodram MEL 18003, HUNT 3CDKAR 202

※1960年夏のザルツブルク音楽祭の表記のあるメロドラマ盤CDをここに係る。リップ (S), エンゲン (Bs), ウィーンso.となる。なおハント盤CDも同一演奏でありながら63年1月2日とするのは疑問である。

◎ブッチェーニ／歌劇「ボエーム」

■ジャンニ・ライモンディ (T: ロドルフォ), ロランド・パネライ (Br: マルチェロ), ジュゼッペ・タッディ (Br: ショナル), イーヴォ・ヴィンコ (Bs: コルリネ), ベーター・クライン (T: プノア), ジークフリート・ルドルフ・フリーズ (T: アルチンドロ), ミレツ・フレニ (S: ミミ), ヒルデ・ギューデン (S: ムゼッタ), ウィーン国立歌劇場cho., ウィーン国立歌劇場o.

◎R.シュトラウス／楽劇「ばらの騎士」

■エリーザベト・シュヴァルツコップ (S: ウェルデンベルク侯爵夫人), オットー・エーデルマン (Bs: オックス男爵), セーナ・ユリナッチ (Ms: オクタヴィアン), カール・デンヒ (Br: ファニナル), アンネリーゼ・ローテンベルガー (S: ソフィー), ジュディス・ヘルグイヒ (S: マリアンネ), レナート・エルコレニ (T: ヴァルツァツキ), ヘティ・ブリュマッハー (A: アンニナ), アイロス・ベルネルストルファー (Bs: 警部), マルティン・ハウザー (T: 侯爵家の家令), ジークフリート・ルドルフ・フリーズ (T: ファニナル家の家令), ヨセフ・ナッブ (Br: 公証人), レゴロ・ロマニー (T: 歌手), フリッツ・スベルバウアー (T: 料理人), ウィーン国立歌劇場cho., ウィーンpo.

▶1963年7月31日ザルツブルク, 祝祭大劇場

⑧LP: Movimento Music 04.004

◎ブラームス／交響曲第2番長調作品73

■ベルリンpo.

▶1963年10月10～11日ダーレム, イエス・キリスト教会

⑧オットー・ゲルデス

⑧ハンス・ヴェーバー

⑧ギュンター・ヘルマンズ

⑧104 334

⑧LP: SKL 133-9, SLGM 1292, SMG 2 068, MG 2068, MG 9360-3, MG 8511-4, MG 8858-61, MGX 7082, 60MG 0153-6, 20MG 0373

CD: POCG 2077

⑧LP: SKL 133-9, SLPM 138 925, KL 33-9, LPM 18 925, 2721 075, 25 63 101, 2721 002, 2720 104, 274 0 242, 2542 167, 2721 002, 72 4 64, 02 445

CD: 429 153-2, 427 602-2

JOHANNES BRAHMS

Herbert von Karajan



▲SKL 133-9(ブラームス/交響曲第2番他)

◎ブラームス／交響曲第1番短調作品68

■ベルリンpo.

▶1963年10月11～12日ダーレム, イエス・キリスト教会

⑧オットー・ゲルデス

⑧ハンス・ヴェーバー

⑧ギュンター・ヘルマンズ

⑧104 333

⑧LP: SKL 133-9, SLGM 1291, SMG 2 065, MG 2065, MG 9334-43, MG 9360-3, MG 8511-4, MG 8723-3 7, MG 8858-61, MGX 9957-8, MGX 7081, 60MG 0153-6, 20MG 0328

CD: POCG 2076

⑧LP: SKL 133-9, SLPM 138 924, KL 33-9, LPM 18 924, 2720 104, 27



▲Orfeo C 275 921B (ヘンデル/合奏協奏曲作品6-12)

[マトリックス番号・追加]

1943年ウェーバー/「魔弾の射手」序曲
M 2489-91
1950年モーツァルト/歌劇「魔笛」
M CHAX 574-610
1951年グリーグ/ピアノ協奏曲
M CAX 11123-9
1951年ワグナー/楽劇「ニュルンベルクのマスタージンガー」
M CAX 11303-69/89
1951年ベートーヴェン/交響曲第7番
M CAX 11525-34
1954年ライマー/ピアノ協奏曲
M XAX 689-90

[訂正・削除]

1938年モーツァルト/「魔笛」序曲の④LP: 78MG 9012を9212に訂正します。なお、このLPは特典盤です。
1947年11月モーツァルト/「アダージョとフーガ」の④LP: LX 1076を④SPに。
1947年12月の「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」よりの④LP: LO 82を④SPに。
1948年11月のチャイコフスキー/交響曲第6番のM CHAX 397-410を397-400/403-10に。
1949年10月のモーツァルト/交響曲第39番のM CHAX 477-8/492-4/502を477-8/492-4/520に。
1949年11月のグノー「ファウスト」よりのM 2EA 143332を143333に。

次の該当箇所のマトリックス番号(規格記号)を訂正します。

「ドン・ジョヴァンニ」より・「魔笛」より(1947/12)、ピチカート・ポルカ(1948/12)
M CHAX → CHA
シューマン/ピアノ協奏曲(リパッティ1948/4)、ルーセル/交響曲第4番(1949/11)、バルトーク/「弦・チェレ」(1949/11)
M CHAX → CAX
バラキレフ/交響曲(1949/11)
M CHA → CHAX

次の下線部分を削除いたします。

1960年8月モーツァルト/レクイエムの④CD: ANF 52(=MEL 18003) および特記事項の「同一の独奏者で」

[おこわり]

本ディスコグラフィは初出のカップリングでの配列になっておりますが、ドイツ・グラモフォンへのベートーヴェン交響曲全集、ブラームス集、チャイコフスキー集等は発売時のアルバム分散配列といたします。ご了承ください。

④LP: SKL 133-9, SLPM 138 928-9, KL 33-9, LPM 18 928-9, 2707 018, 2726 076, 2726 505, 2726 078, 2C 10 15701 (旧ソヴィエト)

①

CD: 427 252-2
[第2楽章]
LP: 2563 632, 2535 609, 2535 669
CD: 423 774-2, 427 872-2

②

LP: LPM 18 926, SLPM 138 926, 2542 168, 2543 046, 72 464
CD: 423 205-2, 427 253-2, 427 602-2

第1期 補追・訂正

本号で第1期を終了いたしますが、連載中に以下の新しいディスクが発売され、戦中の正規の録音が確認されましたので補追いたします。また各データの追加・訂正も併せて掲載いたします。

①ベートーヴェン/交響曲第3番変ホ長調作品55「英雄」

■ベルリン国立歌劇場o.

▶1944年5月

④LP: Autron P191 00049

※上記LPは1991年になって、サンクトペテルブルク(旧レニングラード)市の統一エヴァンゲリクス・リュテランクス・ロシア教会より出された。一部には5月12日のライブ録音とする説もあるが、明らかにスタジオ録音である。編者にグリムベルク、修復者にベトロフ、スルミノフの名がある。



▲Autron P191 00049 (ベートーヴェン/交響曲第3番)

②ブルックナー/交響曲第8番より第2〜4楽章

■ベルリン国立歌劇場o.

▶1944年6月26日(第2楽章)

6月28日(第3楽章)

9月19日(第4楽章)

※第2楽章のみ昨年秋、ベルリンでラジオ放送された。第4楽章は第1回で掲載済の実験的ステレオ録音(ワルター協会盤LP、ハント盤CD)と同じものである。なお依然として第1・3楽章は確認されていない。

③①ヘンデル/合奏協奏曲作品6-12②チャイコフスキー/交響曲第4番短調作品36

■ウィーンso.

▶1954年11月17日ウィーン、ムジークフェライン・ザール

④LP: Orfeo C 275 921B

※この日の演奏会はこの2曲のあいだにオネゲルの交響曲第3番が演奏されている。

リック(Bs: ロッコ)、ハンニー・ステフェク(S: マルツェリーネ)、ゲルハルト・シュトルツェ(T: ヤキーノ)、ハインリヒ・ヴェーバー(Br: 囚人1)、ハンス=ブルーノ・エルンスト(Br: 囚人2)、バイエルン国立歌劇場cho., バイエル国立歌劇場o.

▶1963年12月1日ミュンヘン、バイエル国立歌劇場

④CD: HUNT 2CDKAR 208

④チャイコフスキー/交響曲第6番短調作品74「悲愴」

■ベルリンpo.

▶1964年2月11〜12日ダーレム、イエス・キリスト教会

④オットー・ゲルデス

④ハンス・ヴェーバー

④ギュンター・ヘルマンズ

M 104 924

④LP: SKL 922-8, SLGM 1255, SMG 2 005, MG 2005, SMG 9007-10, M G 9071-4, MG 9423-5, MG 945 0-1, MG 9334-43, MG 8515-7, MG 8563-4, MG 8565-6, MG 87 23-37, MG 4011, MGX 9959-60, 20MG 0320

CD: F26G 29024, POCG 2080

④LP: SKL 922-8, SLPM 138 921, LP M 18 921, SK 922-8, 2726 009, 2542 154, 2726 514, 2535 341, 413 484-1, 2740 126, 2726 126, 2721 242

CD: 423 223-2, 419 486-2, 427 860-2

[第3楽章]

LP: 2538 *212



▲SLPM 138 921(チャイコフスキー/交響曲第6番)

⑤ブラームス/①ドイツ・レクイエム作品45②ハイドンの主題による変奏曲作品56a

■グンドラ・ヤノヴィッツ(S・①), エーベルハルト・ヴェヒター(Br・①), ウィーン楽友協会cho. (①), ベルリンpo.

▶1964年2月13日(②), 5月16〜18日(①), ダーレム, イエス・キリスト教会(②), ウィーン・ムジークフェフェライン・ザール(①)

④オットー・ゲルデス

④ハンス・ヴェーバー

④ギュンター・ヘルマンズ

M 104 338-9

④LP: SKL 133-9, SLGM 1296-7, MG 1296-7, MG 9732-3, MG 8187-8

①

CD: POCG 2082

②

LP: SMG 2026, MGX 7083, 20MG 0 394, 20MG 0507

CD: F26G 29032, POCG 2078